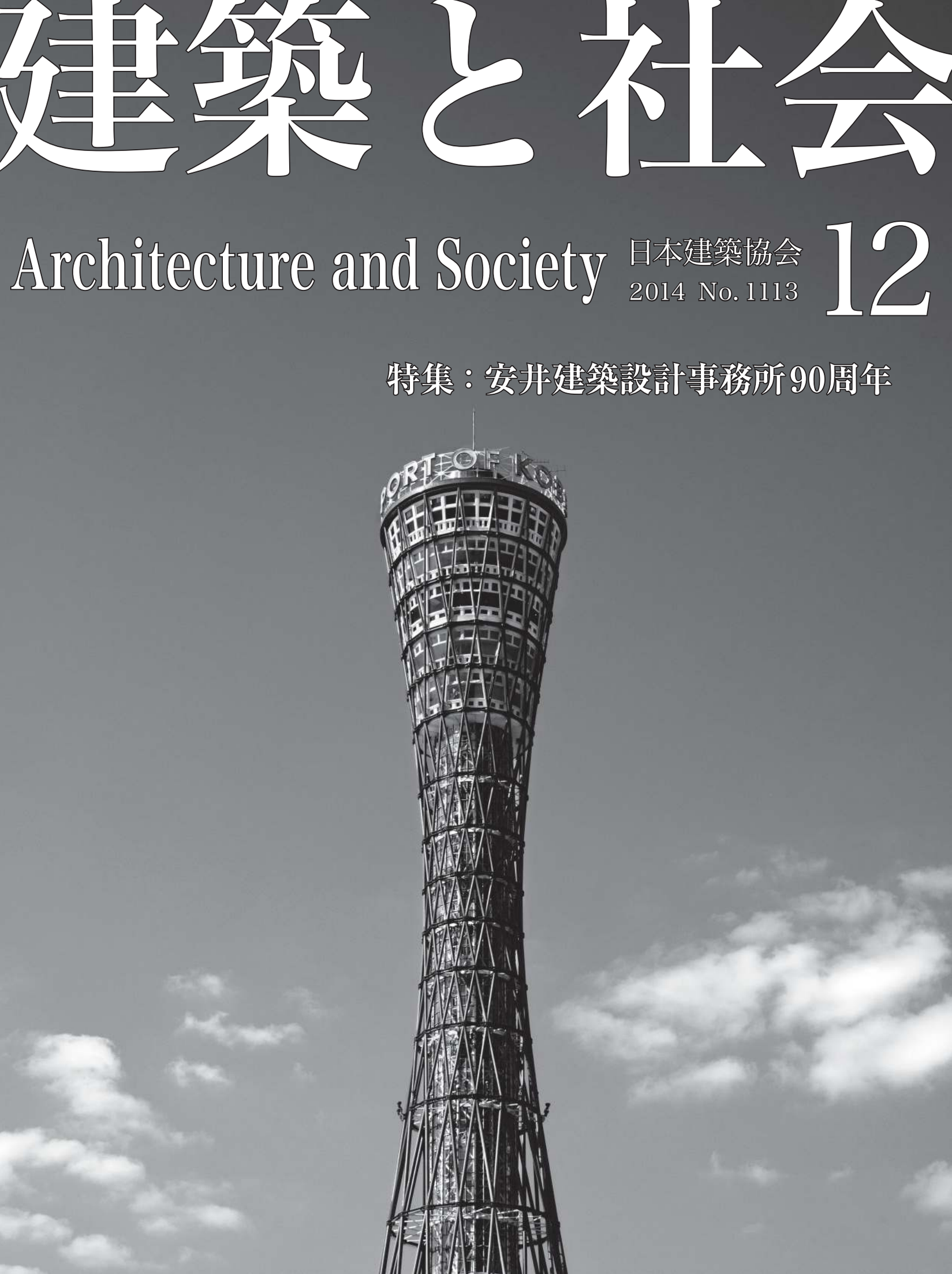
建築と社会

Architecture and Society

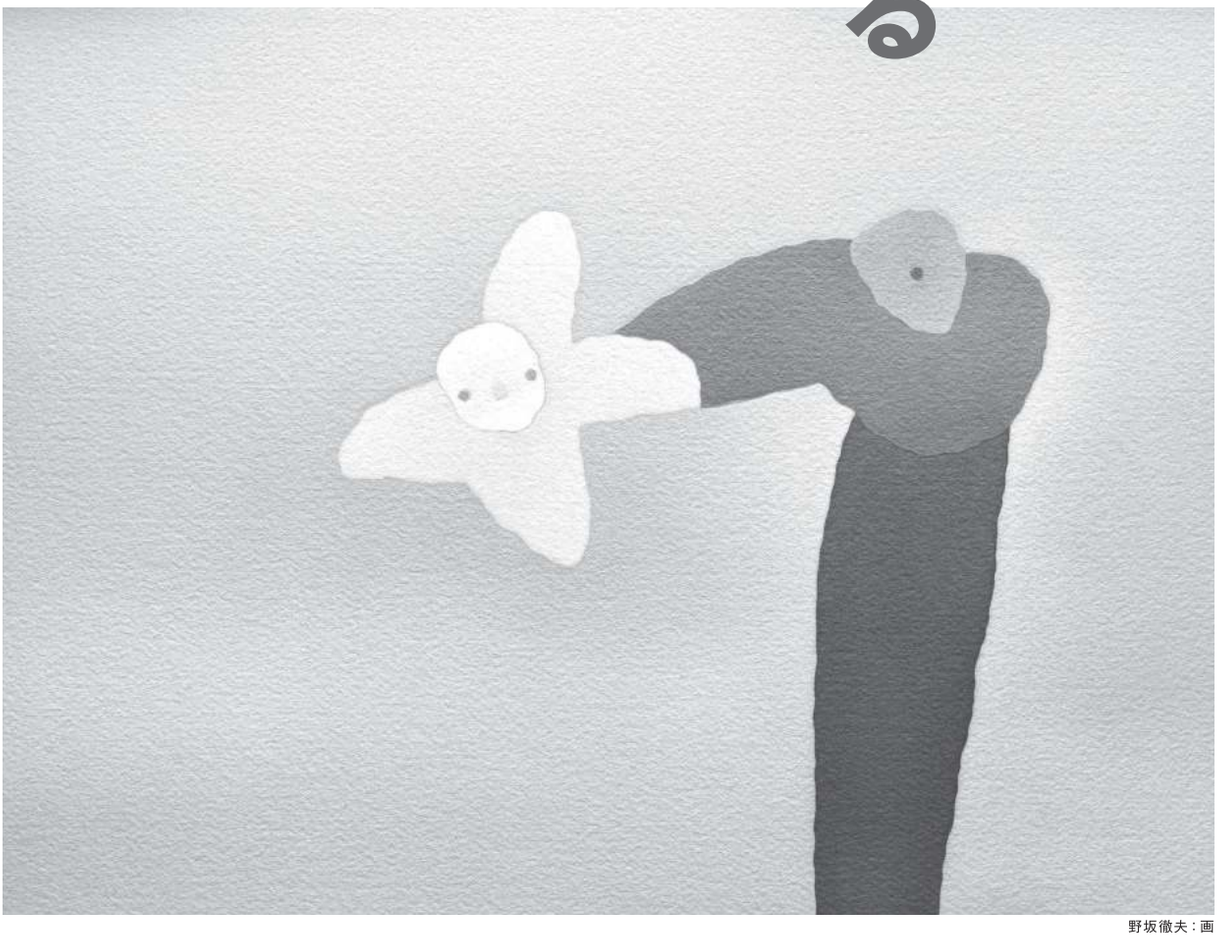
日本建築協会
2014 No. 1113
12

特集：安井建築設計事務所90周年



竹中工務店

守る、創る、思いやるビルへ。



野坂徹夫：画

災害から人々の暮らしを守る。
エネルギーを創り、分けあう。
都市を、そして地球を思いやる。
これからのビルはこうじゃないとね。

想いをかたちに 未来へつなぐ

TAKENAKA

「続ええとこ」そぞろ歩く御堂筋提案コンクール作品募集

2014 第3弾 OSAKA

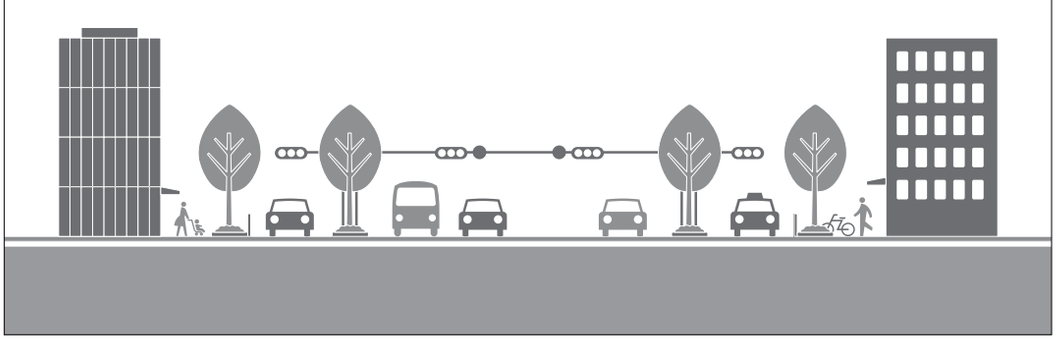
「続ええとこ」
そぞろ歩く御堂筋
提案コンクール

ビジネスマンだけでなく
若い人やカップル、家族連れなど
いろんな人たちが そぞろ歩き
「知らん間にこんなとこまで歩いてしもた」
御堂筋を楽しめるアイデアを募集します。

(一社)日本建築協会は、2017 年に創立 100 周年を迎えます。
当協会では来るべき 100 周年にむけて、2007 年よりいくつかの継続的事業を行っていますが、
そのひとつに、大阪のまちのアイデアを募る『大阪ええとこ そうせい(創生)プロジェクト(※)』
があります。今回はその第 3 弾として大阪のメインストリートである御堂筋をとりあげ、
御堂筋を「さらにええとこ」にするアイデアを募ることにしました。
実現につながるような、みなさまからの画期的なアイデアをお持ちしています。

※
『大阪ええとこ そうせい(創生)プロジェクト』
第1弾:2009、2010 年、「かくれたええとこ」再発見コンクール
第2弾:2012 年、「新ええとこ」提案コンクール

詳細はホームページで



平成26年度 建築工事実務講習会

この講習会は、建築CPD情報提供制度認定プログラムです。
㈳大阪府建築士会（7単位）
㈳日本建築家協会（6単位）



■大阪府建築健保会館
交通：地下鉄谷町線・中央線谷町四丁目駅8号出口より徒歩5分

日　時：2015年 1 月14日(水)
9：00～17：30
会　場：大阪府建築健保会館
6Fホール
大阪市中央区和泉町2-1-11
TEL：06-6942-3622
定　員：100名（先着順）
受講料：15,000円（含テキスト代）
＊テキストは、当日配布

■申込方法
FAXまたはE-mailにて、
①催し名「講習会」
②受講者氏名（年齢）
③事業所名
④受講票送付先住所
⑤担当責任者
⑥電話番号
⑦受講料支払方法
（銀行振込、郵便振替、等）
⑧CPDを申請される方は、申請先の団体名と参加者ID
をお知らせ下さい。
受講料は、前納制となっておりますので、併せて銀行振込、郵便振替等で納入して下さい。受講料入金確認後、受講票を送付します。
なお、当会HPからもお申込いただけますので、http://www.aaj.or.jpをご覧下さい。

■申込先
(一社)日本建築協会編集事業課
〒540-6591
大阪市中央区大手前1-7-31
OMMビル7F
TEL：06-6946-6981
FAX：06-6946-6984
E-mail：h-katayama@aaj.or.jp
URL：http://www.aaj.or.jp

■趣旨と内容
●本講習会は、建設業はもとより、官公庁・設計事務所・設備会社など幅広い分野の中堅以下の技術者を対象としたものです。
●現場実務の基礎である「施工計画」と「仮設見積」に重点をおき、講義します。
●都市環境の変化に伴う法令・基準の改正なども加え、技術の進歩に即応した知識の習得をはかります。

＜振込先＞
●三井住友銀行
大阪中央支店（普通№860034）
●三菱東京UFJ銀行
瓦町支店（普通№210054）
●りそな銀行
北浜支店（普通№272234）
●郵便振替口座　00910-9-39975

■科目・講師

施工計画

勝野哲博 氏
戸田建設㈱大阪支店
建築技術課課長

門野　陽 氏
㈱鴻池組大阪本店
建築部品質管理課主任

施工計画は、品質を確保し、安全で能率よく経済的に本体工事を進める鍵をにぎっています。この講習会では、仮設から地下、躯体、仕上、設備にわたり、適切な施工計画の要点をわかりやすく解説します。

仮設見積

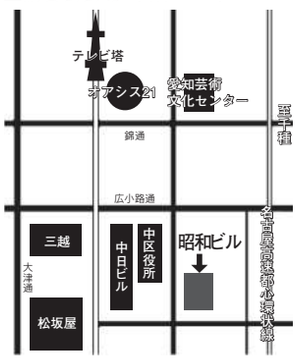
阿字地正人 氏
㈱大林組大阪本店
建築事業部生産技術部課長

仮設工事費は、非常に把握しにくい面があって、ついつい単位面積当たり、あるいは請負金比率のみで処理されがちです。施工計画に基づいた合理的で迅速な見積方法を解説します。

日本建築協会東海支部主催 建築工事実務講習会

この講習会は、建築CPD情報提供制度認定プログラムです。
(公社)愛知建築士会（6単位）
(公社)日本建築家協会（6単位）

■講習会会場〈昭和ビル〉



日　時：2015年 1 月22日(木)
9：30～17：00
会　場：昭和ビル・9階ホール
名古屋市中区栄4丁目3-26
定　員：60名（先着順）
受講料：15000円（含テキスト代 税込）
※テキスト当日配布

■申込方法
FAXまたはE-mailにて
①講習会名
②〒・住所
③受講者氏名（年齢）
④事業所名
⑤担当責任者
⑥電話番号
⑦FAX番号
⑧E-mailアドレス
⑨受講料支払方法（銀行振込等）
受講料は前払制となっていますので、併せて銀行振込等で納入して下さい。受講料入金確認後、受講番号をE-mailまたはFAXで通知します。なお、日本建築協会東海支部HPから受講申込書のダウンロードができますので、http://www.aaj-tokai.jpをご覧下さい。

■締切日　2015年1月14日(水)
但し、定員に達し次第締め切ります。

■申込先
(一社)日本建築協会　東海支部
〒460-0008
名古屋市中区栄4丁目3-26
(昭和ビル5F愛知建築士会内)
TEL　：052-261-1451
FAX　：052-261-0251
E-mail：info@aaj-tokai.jp
URL　：http://www.aaj-tokai.jp

＜振込先＞
●三菱東京UFJ銀行
栄町支店（普通　0167157）
一般社団法人日本建築協会
東海支部

■趣旨と内容
●本講習会は、官公庁・設計事務所・建設業をはじめ、設備・営繕など幅広い分野の技術者を対象としたものです。
●とくに取り付きにくい施工計画と仮設見積、現場実務の基礎である積算業務に重点をおき、講義します。
●都市環境の変化に伴う法令・基準の改正なども加え、技術の進歩に即応した知識の習得をはかります。
●積算業務では具体例より、その着工準備から完成に至るまでをわかりやすく解説します。

施工計画

日吉　智紀 氏
清水建設㈱名古屋支店
建築技術部生産計画グループ主査

適切な施工計画を立案できることが、建築現場技術者の必須条件です。
安全で､経済的な施工計画を解説します。

仮設見積

福井　浩二 氏
㈱大林組名古屋支店
建築工事部建築生産技術第二課長

仮設工事費は、非常に把握しにくい面があって、ついつい単位面積当たり、あるいは請負金比率のみで処理されがちです。施工計画に基づいた合理的で迅速な見積方法を解説します。

積算業務

時武　治 氏
㈱竹中工務店名古屋支店
見積部課長

見積業務のなかで基本となるのは、数量積算です。この手順、基準を基本に、より合理的で正確な積算業務を解説します。

建築と社会

Architecture and Society

12 | NO.1113 | 2014
日本建築協会

■特集予告
●1月号／フォーオールの時代に向けて
●2月号／場をつくる〜プログラムの挑戦〜

Journal of the Architectural Association of Japan

特集●安井建築設計事務所90周年

■最近の作品から ―― 6
1．西条市庁舎新館
2．堺地方合同庁舎
3．東海関電ビルディング
4．阿倍野A1地区第二種市街地再開発事業A2棟「あべのキューズタウン」
5．大阪ステーションシティ・サウスゲートビルディング（アクティ大阪増築）
6．九州新幹線 新鳥栖駅
7．東京国際空港（羽田）国際線旅客ターミナル増築
8．アステムOWLセンター
9．市民交流プラザふくちやま「ききょう」
10．山本能楽堂リニューアル
11．立命館大学びわこ・くさつキャンパス トリシア
12．和歌山大学観光学部校舎
13．近畿大学新食堂棟　BLOSSOM CAFÉ
14．大阪府立精神医療センター
15．兵庫県立淡路医療センター
16．JR久留米駅前第一地区第一種市街地再開発事業「ザ・ライオンズ久留米ウェリスタワー」
17．hu+gMUSEUM（ハグミュージアム）

■建築家三代の系譜
・建築と社会の関係を見つめつづけて●石田潤一郎 ―― 23
・安井武雄 事務所創設と様式創造　佐野正一 事務所継承そして発展
佐野吉彦 新たなる展開 ―― 24

■記念対談 ―― 30
人をつないで都市が変わる ―アート、建築、コミュニティ―
●佐野吉彦×森　司

■U-35の視点 ―― 36
・医療施設づくりへの想い
●山下哲郎・中原岳夫・山本善宏・新井匠・三宅伸幸・古川恵里・唐沢文茜
・新しい学校づくりのアプローチとは
●横山俊祐・影林督諭・清原健史・上野山貴嗣・原康隆・宮永賛紀・瀬崎康平
・構造デザインとは●大氏正嗣・安田拓矢・宮武慎一・尾杉友浩・渡邊祥・馬場勇輝・寺田総美・足立幸多朗・松本裕之
・20年、30年先も心地よい環境を目指す
近本智行・福谷周・三宅弘祥・石﨑紫乃・和泉光紀・北川雅大・河内悠磨

■安井流まちとの関わり方 ―― 52

会告	「続ええとこ」そぞろ歩く御堂筋提案コンクール作品募集 平成26年度建築工事実務講習会（本部・東海支部）	1 2
gallery	木造伝統建築の耐震補強●奥田辰雄	4
法令コーナー	空き家対策を総合的に推進―京都市空き家の活用、適正管理等に関する条例―●寺澤昌人	55
設備の頁	新しい水災害防護設備「neo RiSe」の紹介 ―無動力／人為操作不要の水災害防護設備―●伸保京一	56
再読 関西近代建築	都ホテル佳水園（現・ウェスティン都ホテル京都　佳水園） ●山形政昭	57
関西の建築界群像	香川貴範●駒井陽次	61
information	阪神・淡路大震災20年展 記憶の遠近術 〜篠山紀信、横尾忠則を撮る．フィオナ・タン まなざしの詩学．吉左衛門X 新兵衛の樂 吉左衛門の萩．開館20周年記念「上村松園・松篁・淳之展」〜松伯美術館20年の歩み〜．竹中大工道具館開館30周年記念巡回展「日中韓 棟梁の技と心」．東京駅開業百年記念 東京駅100年の記憶	62
第95集総目録	2014（平成26年）	64
月間の動き	平成26年10月	109

今月の表紙

神戸ポートタワー

設　　計：日建設計工務
竣　　工：1963年
所　　在：神戸市中央区



街の名を聞いて頭に浮かぶのは、朱色に塗られた東京タワーとも重なる。だが、この塔にはてっぺんに担ぐべきもの（アンテナ）がない。機能が違えば形は自由度を持つ。草花や人など自然界のシルエットが連想される。建造物として日本で初めてライトアップされ、昨年は50周年を迎えた。空に向かい凛と立ち続ける姿は復興を示す有効なシンボルとなっている。

（東畑建築事務所／大西広朗）

デザイン・撮影（表紙）
嘉村知紀（東出清彦写真事務所）
撮影（目次）
東出尚子（東出清彦写真事務所）



まち　建築　ひと

gallery

木造伝統建築の耐震補強

設計

奥田 辰雄

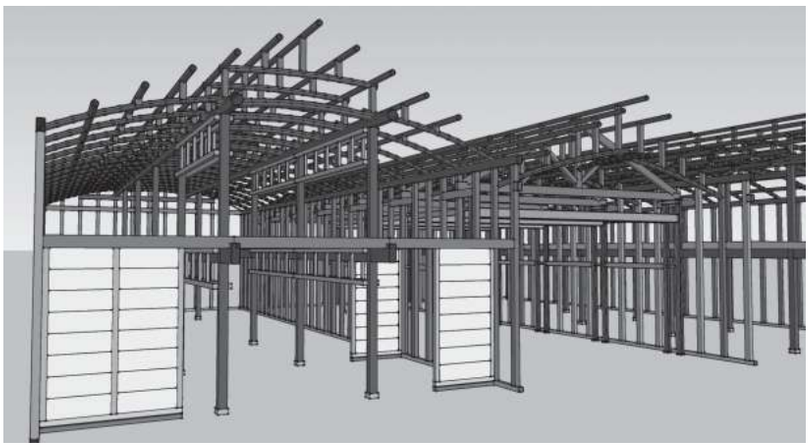
1976年　日本工業大学工学部
　　建築学科卒業
1981年　木四郎建築設計室開設

京都府木造住宅耐震診断士
京都市京町家派遣耐震診断士

「近代化産業遺産」に認定され、登録有形文化財、景観重要建築物などの指定を受けている酒蔵の耐震補強を行いました。従来季節ごとに集まり酒造りを行なってきた杜氏を、後継者の育成、技術の継承を念頭に自社で雇用し伝統的酒造りの手法を守ろうとするオーナーの意思で、同様の思想から守られてきたこの伝統的建築物を使いながら耐震性を高める、また酒造りに支障のないよう工事を行うことが求められました。

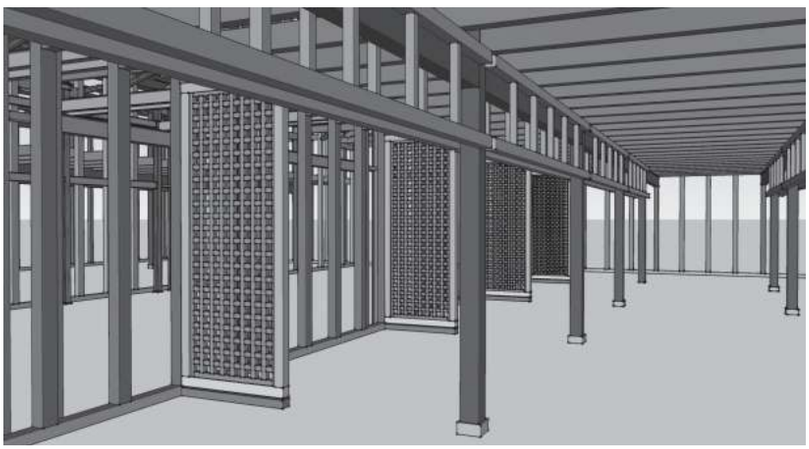
我が国の木造建築は、在来工法と呼ばれる昭和25年の建築基準法施行後に建築された木造建築と、それ以前に建築され伝統建築と呼ばれる木造建築とに大別しています。伝統建築の構造安全性については近年の研究により、接合部での木と木の摩擦やめり込み、土壁の地震時の壊れ方によって生じる減衰作用、大きく変形しても壊れにくい接合部の性能、などによるものとされており、限界耐力計算法による構造計算が可能となったため歴史的な木造建築の耐震診断・補強設計も実施できるようになりました。

限界耐力計算は実験により求めた土壁、格子パネル、はしご型フレームの性能を反映することができ、伝統建築の構造特性に適した性能を有することから、本酒蔵の耐震診断および補強設計に使用しています。また格子パネル及びはしご型フレームは工場でプレカットできるので合理的な施工が可能となり工期短縮ができました。

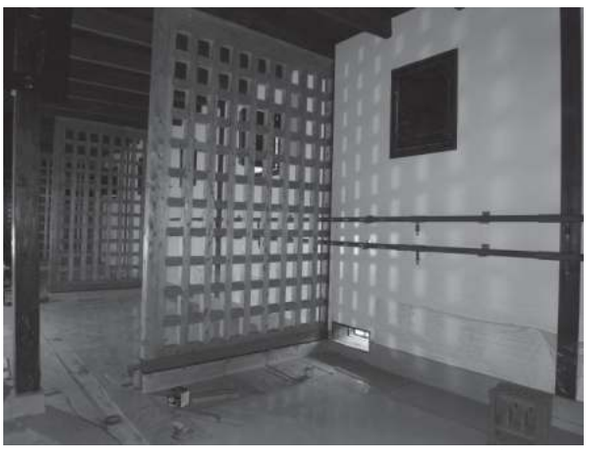




はしご型フレーム



企画編集　居内章夫（作品作風小委員会）



格子パネル

安井建築設計事務所 90 周年
YASUI STYLE 1924-2014

日本建築協会が設立されてからしばらくした１９２４年、安井建築設計事務所の歩みが始まりました。最初の作品「大阪倶楽部」を源流とするここまでの９０年とは、建築主や社会と向きあい、ひとつひとつの設計をまとめあげ、技術を積み重ねた歳月に他なりません。そのなかで、できあがった建築は社会の発展を支え、都市の日常を支える役割を担い、そして人と人とが出会うきっかけをつくりだしてきました。なんと重要で、そして素敵な仕事に携わってきたのでしょう。私たちは心の底からそう感じます。
さて、節目の年を迎えるにあたって、特集記事を通じて足跡を振り返りながら、絶えず変化する時代のなかでどのような寄与ができるかを考えてみることにしました。ぜひお楽しみいただき、これからの世界や地域のために建築の専門家には何ができるかをご一緒に考えていただければ幸いです。
創業者である安井武雄や、継承した佐野正一は「設計という仕事に誇りを感じ、一本の線を引くことに情熱を注ぎ続けよ」と申しました。今後も、着実な作業を通じて「われわれらしさ」をかたちにあらわすために旅を続けてゆきたいと考えます。どうぞよろしくお願いいたします。

株式会社 安井建築設計事務所 代表取締役社長　佐野 吉彦

地域特性を活かした建築環境の構築

西条市庁舎新館





愛媛県西条市ならではの地域特性に着目した環境配慮型庁舎である。
この地域特性とは、石鎚山のふもとに広がる森林から切り出される“木”、地面に鉄管を打ち込むだけで自噴する「うちぬき」と呼ばれる豊富な“水”、山から海へと安定した卓越風が見込まれる“風”、日照時間の長い瀬戸内海式気候の“太陽光”の４項目が挙げられる。
“木”については、地産木材の利用として、内装材だけでなく外装壁材としても利用。“水”については空調熱源水や外調機の予冷に活用し、空調利用後は雑用水や便所洗浄水として再利用。“風”は階段塔の上昇気流と卓越風による自然通風の確保。“太陽光”は木材とともに外壁や屋上に可能な限り太陽光パネルを設置。これらにより、年間200tonのCO_2排出量を削減できると考えている。
地方や地域における、都市とは異なる特性を最大限建築に採り入れることによって、“地方版”環境配慮型建築の１つのプロトタイプを提案できたのではないだろうか。

建　築　主	西条市
所　在　地	愛媛県西条市
設　　計	安井建築設計事務所
監　　理	西条市施設管理課 アール・アイ・エー
施　工　者	建築：西松・白石・弓山JV 電気：栗原工業・愛徳電工JV 機械：ダイキアクシス・東洋設備工業JV
敷地面積	5,089.55㎡
建築面積	1,483.61㎡
延床面積	9,448.74㎡
構　　造	S造（地上）
規　　模	地上７階
竣　　工	2014年２月
撮　　影	国際企画

地域と伝統を大切にした環境型庁舎

堺地方合同庁舎







堺地方合同庁舎は大阪府堺市の中心部に位置するシビックコア地区内にあり、周辺の官公庁建物との歩行者空間の調和や動線の連携を図った計画である。
建物外観は垂直性を強調したシャープなフレームを採用し、刃物に使われる精度の高い金属加工など、継承される堺の伝統産業のイメージに清新さ・先進性を表現した。
ダブルコアの平面計画で、入居官署の多様な執務レイアウトに対応した執務空間を計画している。建物四隅には室内に安定した新鮮空気を導入するエコボイド、コアには地震時に応答量を低減するオイルダンパーを設け、環境や安全性にも配慮している。

建築主	国土交通省近畿地方整備局
所在地	大阪府堺市堺区
設計	安井建築設計事務所
監理	近畿地方整備局営繕部
施工者	建築：餞高組
	電気：住友電設
	空調：新日本空調
	衛生：新日本空調
	昇降機：フジテック
敷地面積	6,198.78㎡
建築面積	1,764.59㎡
延床面積	23,125.14㎡
構造	S造（地上）、SRC造（地下）
規模	地上14階、地下２階
竣工	2013年10月
写真提供	近畿地方整備局営繕部

『埋もれない』特徴あるオフィスビル

東海関電ビルディング



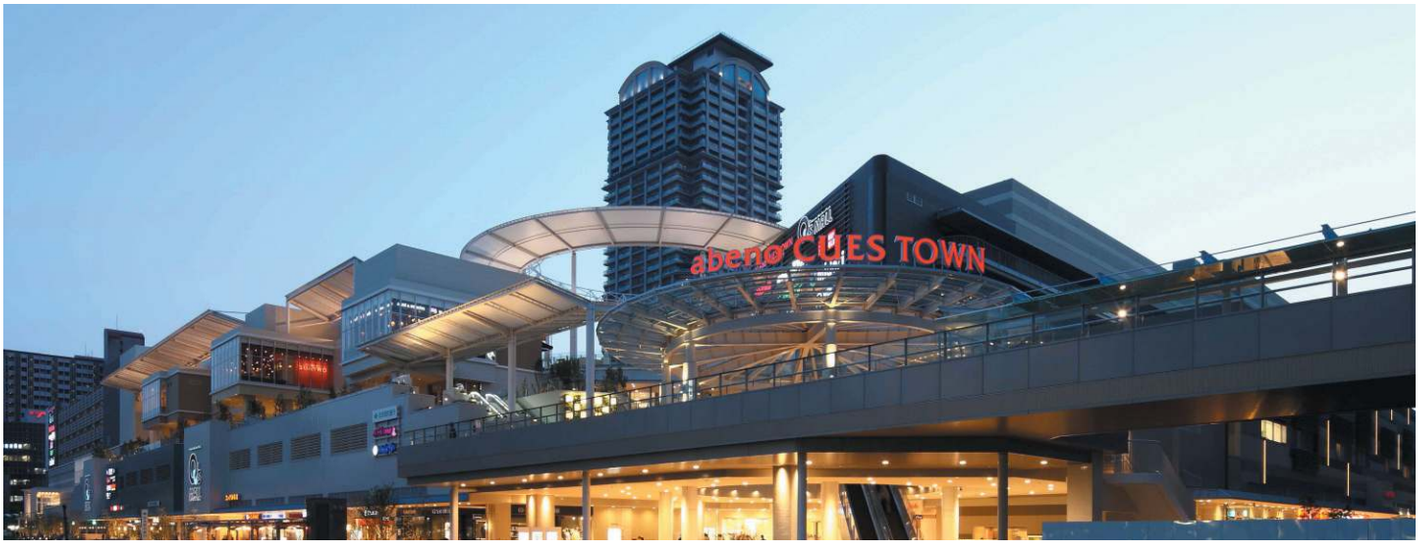


名古屋駅から東にのびるメインストリートの一つ「桜通り」と高速都心環状線の交差点に面するオフィスビルである。効率的で魅力的なオフィススペースの確保・創出と、オフィスビルが林立・競合するなかにあって『埋もれない』特徴あるビルづくりをパブリックに配慮しながらオーソドックスな手法で無理なく実現することを計画の基本的方針とした。
このため、連坦建築物制度や総合設計制度を適用して諸制度の規定に適合させながら、その効用を最大化する配置形・平面形の徹底を行い、良好な都市環境に貢献する外部空間の確保を図っている。
建物を包むスキンは、適切な採光の確保、日射や外気熱負荷のコントロール、高い遮音性・断熱性と安全・容易な自然通風・換気が可能な多機能に構成したダブルサッシュ・カーテンウォールを採用し、そのトップには太陽光発電パネルを組み入れ、西日を受ける面にはバーチカルアルミルーバーを設置するなど、一層の環境配慮を行っている。
これらは、ユニークで洗練された建物イメージを強化する意匠上のエレメントとして扱うことで、建物のアイデンティティーをビル性能そのものが生むかたちとすることを意図したもので、都市の新たな風景・景観を創出している。

建　築　主　関電不動産株式会社
所　在　地　愛知県名古屋市東区
設計・監理　安井建築設計事務所・ニュージェック設計共同企業体
施　工　者　西松建設
敷地面積　1,960.94㎡
建築面積　870.30㎡
延床面積　14,102.45㎡
構　　造　鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造
規　　模　地上15階、地下１階
竣　　工　2012年１月
撮　　影　エスエス大阪

ハイブリッド構成の多様なモール空間

阿倍野A1地区第二種市街地再開発事業A2棟
「あべのキューズタウン」







JR、近鉄、地下鉄、阪堺電車の５駅７路線の鉄道が乗り入れる南大阪の玄関口である阿倍野・天王寺地区における再開発事業による都市型商業施設。あべの筋に面する約300ｍの壁面を多様な要素で分節化し、圧迫感を軽減するとともに街ににぎわいを与えている。オープンモールやアーバンテラス等の外部空間とインナーモールのハイブリッド構成により変化に富んだ開放的な施設としている。

建　築　主　東急不動産株式会社（特定建築者）
所　在　地　大阪市阿倍野区
設計・監理　安井・東急設計コンサルタントJV
施　工　者　竹中工務店・東急建設JV
敷地面積　37,803.45㎡
建築面積　32,984.34㎡
延床面積　183,730.40㎡
構　　造　S造・一部SRC造
規　　模　地上６階、地下２階
竣　　工　2011年３月
撮　　影　伸和

駅と街との幸せな関係

大阪ステーションシティ・サウスゲートビルディング（アクティ大阪増築）







大阪駅南口の新たな顔づくり、都市機能の増進と公共的施設整備、風格ある都市景観の形成を目的としたアクティ大阪の増築計画である。駅前空間の一体性・囲繞感・存在感の創出、駅としての構えや顔づくり、駅から街への見通しの確保、既存部と増築部との一体感の創出などに配慮した。それぞれの通りから建物の特徴ある表情が見え、駅正面から街に堂々と出入する歩行者の姿は、駅と街との密接な関係ができたことを物語っている。

建　築　主	西日本旅客鉄道株式会社・大阪ターミナルビル株式会社
所　在　地	大阪府大阪市北区
設　　計	安井・ジェイアール西日本コンサルタンツ設計共同体
監　　理	安井建築設計事務所・西日本旅客鉄道
施　工　者	アクティ大阪増築工事特定建設工事共同企業体（竹中工務店・大鉄工業）
敷地面積	58,000㎡（全体）
建築面積	8,700㎡
延床面積	133,300㎡（既存部）、37,200㎡（増築部）
構　　造	S造・一部SRC造
規　　模	地上28階、地下４階（既存部）　地上16階、地下２階（増築部）
竣　　工	2011年３月
撮　　影	竹中工務店

飛翔する駅

九州新幹線　新鳥栖駅





ファサードのデザインは、鳥の翼をイメージしたやわらかな曲線と３本ラインで躍動感・スピード感のある表現とした。また色彩計画は、佐賀平野に生息する「かちがらす」の白と黒のモノトーンとし、ゆるやかなカーブとあわせて、周辺の自然との調和を図っている。在来線との接続および新幹線の西への延伸を踏まえ、交流の拠点として今後もますます発展していく街の未来への期待感を「かちがらす」のはばたきに重ね合わせている。

建　築　主　独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構九州新幹線建設局
所　在　地　佐賀県鳥栖市
設　　計　鉄道・運輸機構 九州新幹線建設局
　　安井建築設計事務所
監　　理　鉄道・運輸機構 九州新幹線建設局
施　工　者　西松・鉄建・栗山特定建設工事共同企業体
敷地面積　10,471.28㎡
建築面積　3,765.17㎡
延床面積　11,266.49㎡
構　　造　RC造（本屋）、S造（上家）
規　　模　地上３階
竣　　工　2011年１月
撮　　影　エスエス九州

地方都市と海外を結ぶハブ空港

東京国際空港（羽田）国際線旅客ターミナル 増築



北側より望む　右手前が増築で拡張された長さ500mのサテライト



既存ターミナル　3階出発ロビー（※）



3階より2階ゲートラウンジを見る



サテライト（増築部）全景

羽田空港の沖合展開事業において、第1ターミナルビルは「陸」、第2ターミナルビルは「海」をデザインテーマとしたことから、滑走路の増設とともに整備された国際線旅客ターミナルビルは、その景観と内部空間について「空」のイメージをメインテーマとしている。シンプルなゾーニングと動線計画により、アジアから世界に誇れる最新の施設としてユニバーサルデザインの徹底、環境負荷の低減、徹底した保安・防災対策を追及している。
昼間時間帯、年間700万人を1250万人対応の施設とするため、本館部分の拡張と北にサテライトを増設、トランジット客にも利用できるホテルを計画するなど、地方都市と海外を結ぶハブ空港として機能が強化された。

建　築　主	東京国際空港ターミナル株式会社（TIAT）
所　在　地	東京都大田区羽田空港
設計・監理	梓・安井・PCPJ・東京国際空港国際線旅客ターミナル設計監理共同企業体 （梓設計、安井建築設計事務所、ペリ クラーク ペリ アーキテクツ ジャパン）
施　工　者	［建築］E・F工区、D工区（その2）：大成建設　G・H工区：竹中工務店
敷地面積	1,437,515.48㎡
建築面積	25,687.47㎡（旅客ターミナルビル増築部分のみ）
延床面積	82,974.43㎡（旅客ターミナルビル増築部分のみ）
構　　造	S造、SRC造（旅客ターミナルビル増築部）
規　　模	地上6階（旅客ターミナルビル増築部）
竣　　工	2014年8月
撮　　影	エスエス東京（※写真提供：TIAT）

森の中の流通センター

アステムOWLセンター



グリーンロジスティックパーク鳥栖に計画された医療用品の物流センターである。「森の中の流通センター」をコンセプトに、周辺環境・地球環境に配慮したアステムブランドを発信する物通センターを目指した。
曲面壁やコーポレートカラーのグリーンにより長大なボリュームを分節化するとともに白とグリーンのコントラストにより、医療関連品を扱う企業として清潔感や健康的なイメージと環境をリードする企業イメージを表現している。



建　築　主　株式会社アステム
所　在　地　佐賀県鳥栖市
設計・監理　安井建築設計事務所
施　工　者　フジタ 九州支店
敷地面積　19,682.99㎡
建築面積　10,743.06㎡
延床面積　20,126.78㎡
構　　造　S造
規　　模　地上３階
竣　　工　2012年７月
撮　　影　K's Photo Works

市民の居場所「駅前リビング」

市民交流プラザふくちやま「ききょう」







JR福知山駅前に計画された図書館と生涯学習機能の複合公共施設である。城下町福知山の玄関口でまちの中心に位置するため、市民や観光客が気軽に訪れることのできる「駅前ゲート」とすること、市民のアクティビティを感じさせ・発信できる外観自体を「駅前大型モニター」とすること、さまざまな市民の居場所となる「駅前リビング」をつくることをテーマに計画を進めた。
各階で繰り広げられる市民活動を立体的に視覚化できるよう、各機能を相互に接続する吹抜やシースルーエレベーター、ガラス間仕切りを各所に設けている。リビングのような居心地のよいスペースを分散配置することで、施設利用や利用者間交流を促進し、中心市街地の活性化に寄与することを期待している。

建築主	福知山市
所在地	京都府福知山市
設計	安井建築設計事務所
監理	綜企画設計
施工者	建築：間・山寅・今井建設共同企業体 電気：池田・北陵共同企業体 機械：須賀工業・畿北冷熱共同企業体 自動化書庫：日本ファイリング 家具：J.フロント建装
敷地面積	4,879.63㎡
建築面積	2,000.44㎡
延床面積	6,426.77㎡
構造	S造一部SRC造
規模	地上４階、地下１階
竣工	2014年３月
撮影	フォトクリエイティブ ツバメヤ 近藤龍祐

ここから何かが生まれる「場」

山本能楽堂リニューアル



大阪最古の木造の能楽堂。国の初めてのモデル事業として、登録有形文化財の保存活用を行った。
舞台･客席部分は、65年前の能舞台の研ぎ澄まされた空気感を取り戻すため、耐震補強と温熱環境の改善を行いながら、余分なものを全て削ぎ落とし、再建当時の姿に近づけた。能舞台にはフルカラーLEDを採用し、舞台照明による新たな能楽鑑賞の可能性を提起している。
また、楽屋部分の屋根裏トラスの「見える化」によって、新たにOPENな空間が生まれ、ミニ公演や研修での使用が可能となり、上方伝統芸能の保存･継承や地域コミュニティでの活用の幅が広がった。
歴史の陰翳が刻まれた能舞台にモダンな空間が対峙するダイナミックなここにしかない空間が生まれ、新たな芸術の創造の場としての活用が期待される。
楽屋エリアの資料室では、落ち着いた雰囲気で伝統芸能を気軽に学ぶことができる。
歴史ある建物でありながら、最新の機能が付け加えられ、未来へ向って、ここから何かが生まれる場である。





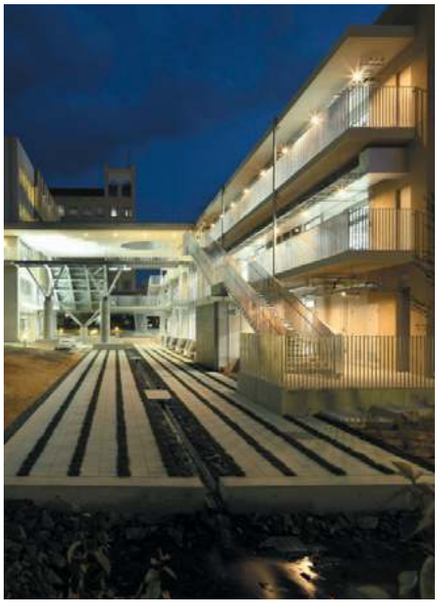
建　築　主　公益財団法人山本能楽堂
所　在　地　大阪府大阪市中央区
設計・監理　安井建築設計事務所
監　　修　graf
（デザイン）　デコラティブモードナンバースリー
施　工　者　金剛組（平成24年度）
　　田尻工務店（平成25年度）
敷地面積　424.39㎡
建築面積　368.15㎡
延床面積　588.13㎡
構　　造　木造
規　　模　地上２階（一部３階）
竣　　工　2014年３月
撮　　影　エスエス大阪

風と光と視線がとおるテラス

立命館大学びわこ・くさつキャンパス　トリシア







建築と広場が一体的につながる大学空間のあり方を模索した。加えて、そこは学生達にとって心地よい「イバショ」の空間となることが重要である。
低層棟の廊下を外部として、中庭と建築を融合させることで、囲まれながら開かれた教育棟を実現した。
建物と建物に囲まれた広場（クオードラングル）を創り、広場と建物（中心と周縁）の関係を保つという、キャンパスマスタープランのコンセプトを継承している。
さらに、低層棟と高層棟を結ぶ外部廊下を２階と３階に設け、イバショテラスと名づけられた立体的なテラスで繋ぐこととした。
そこは研究や生活の舞台であると同時に、人と建築と自然によるさまざまなコミュニケーションを誘発する心地よいスペースとなっている。

建　築　主　学校法人立命館
所　在　地　滋賀県草津市
基本計画・デザイン監修
　　学校法人立命館
　　キャンパス計画室
設計・監理　安井建築設計事務所
施　工　者　大成建設
敷地面積　590,050.78㎡
建築面積　2,169.70㎡
延床面積　6,958.41㎡
構　　造　RC造
規　　模　地上６階
竣　　工　2014年５月
撮　　影　K's photoworks

出会いと物語性をもつ校舎

和歌山大学観光学部校舎









観光学部の発足にともない、144名収容の階段教室と学生のための多目的スペースが建てられた。大きな階段教室と学生のための多目的スペースは、内部では１階から２階までひとつの空間として一体化している。それぞれの部屋がシンボルロードと呼ばれる緩やかに傾斜したスロープに沿って開かれており、学生たちがスロープを移動する風景と結びつき、内外共に視点の高さが移動する相互浸透的なキャンパスシーンを生み出している。

建築主	国立大学法人　和歌山大学
所在地	和歌山県和歌山市
設計	建築：和歌山大学 （本多友常「現摂南大学」） 安井建築設計事務所 設備：EDLエンジニアリング
監理	和歌山大学施設整備課
施工者	建築：淺川組 空調・衛生：宮川工業 電気：住友電設
敷地面積	414,588㎡
建築面積	1,044.16㎡
延床面積	1,792.12㎡
構造	木造一部RC造
規模	地上２階
竣工	2011年５月
撮影	本多環境・建築設計事務所

キャンパスの交流拠点

近畿大学新食堂棟　BLOSSOM CAFÉ





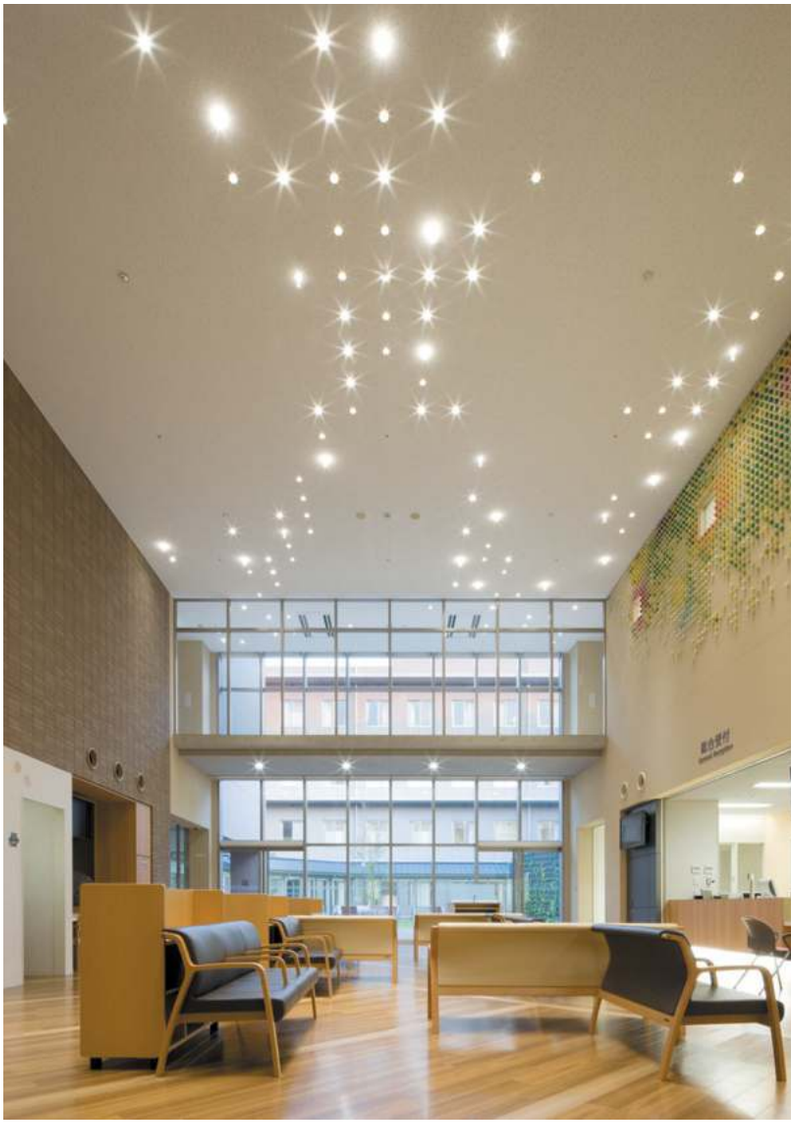


BLOSSOM CAFÉ は単なる食事の場としてあるだけでなく、様々な学部の学生が集まり活発な交流が行われるキャンパスの中心的拠点となることを目指した。
内・外を広場とみたてた床スラブは、階毎にずれながら大階段や吹抜けでつながり、コミュニケーションを誘発させる場となっている。
エントランス部分に、３階床を無柱でせり出させることで、キャンパスストリートと連続した居場所をつくり出している。
これらの仕掛けにより、学生達の活発に活動する姿が建物の内外に立体的に表れるキャンパスの交流拠点となっている。

建　築　主	学校法人近畿大学
所　在　地	大阪府東大阪市
設計・監理	安井建築設計事務所
施　工　者	建築：大林組
	電気：トーエネック
	空調・衛生：大成設備
敷地面積	46,175.05㎡
建築面積	986.00㎡
延床面積	2,377.16㎡
構　　造	RC造
規　　模	地上３階
竣　　工	2010年３月
撮　　影	エスエス大阪

自然治癒力をひきだす療養環境

大阪府立精神医療センター







大阪府域の基幹精神科医療施設の現地における全面建替計画である。
精神科の入院患者は安全確保のため、行動範囲をはじめとして、あらゆることを制限された環境で生活をおくっている。そこで、安全を確保した上で『普通のことを普通にできる環境づくり』をコンセプトとして計画を行った。成人病棟においては風や光を感じることのできるテラスを設置し、児童思春期病棟においては外遊びのできる中庭を設けるなどの環境づくりを行っている。また、臨床心理士をはじめとしたスタッフと協議を重ね、様々な年齢層・状態の患者それぞれに適したアート計画を行っている。これは環境づくりのためだけでなく、治療に寄与できることを期待して計画したものである。

建　築　主　大阪ハートケアパートナーズ（SPC）
所　在　地　大阪府枚方市
設計・監理　安井建築設計事務所
施　工　者　戸田建設
敷地面積　84,842.37㎡
建築面積　14,756.11㎡
延床面積　30,491.06㎡
構　　造　RC造一部S造
規　　模　地上４階
竣　　工　2013年12月
撮　　影　薮内正直（伸和）

地域の景観と歴史を継承する病院

兵庫県立淡路医療センター





淡路島の健康と生命を守る急性期病院の建替移転計画である。敷地周辺一体は、赤レンガの風情ある紡績工場跡の街並みが残り、魅力ある景観を形成している。
工場跡地の歴史の継承と周辺の景観と調和を図るため、外観には煉瓦やレンガ調タイルを基調とし、病院のシンボルとなる煉瓦スクリーン、低層部に地場産材の淡路瓦を設置した。内部は県産木材を活用し、暖かく患者を迎える空間を提供している。
「災害に強い、長寿命」をテーマとして、免震構造及び、大スパン化に対応するPcaPC造の採用、ヘリポートの設置等により、災害時にも有効に機能を維持できる。また、着工後発生した東日本大震災を受け、建物周辺に浸水防止壁を設置するなど地震や津波への対策の強化を図った。

建　築　主	兵庫県
所　在　地	兵庫県洲本市
設計・監理	兵庫県県土整備部住宅建築局営繕課・設備課 安井建築設計事務所
施　工　者	建築：戸田・村本・前川JV 電気：きんでん・JFE電制・谷電気JV 空調：大氣・伊丹・堀川JV 衛生：朝日・圓奈・ツダJV 受変電・自家発電：西部電工・カデックスJV ガス：洲本瓦斯 昇降機：フジテック
敷地面積	27,792.06㎡
建築面積	11,165.11㎡
延床面積	35,333.58㎡
構　　造	PcaPC造一部S造
規　　模	地上８階、塔屋２階
竣　　工	2013年３月
撮　　影	エスエス大阪　津田裕之（上段写真） YAMAGIWA（下段写真）

筑後のランドマークタワー

JR久留米駅前第一地区第一種市街地再開発事業
「ザ・ライオンズ久留米ウェリスタワー」







JR久留米駅前再開発事業として３つのテーマを掲げ、地域に貢献するまちづくりを目指した。
①都市（久留米市）の顔としての「超高層住宅」
②まちの顔としての「外向店舗」
③地区の顔としての「くるめモール」
久留米初の超高層マンション部分は、基幹ボリュームを黄金比に近づけるよう配慮し、存在感のあるデザインとしている。
住宅計画は、水廻りを廊下側に集中させ、SI（スケルトン・インフィル）の構成を達成させている。
商業部分はS造での分棟とし、将来の用途変更等に対応しやすいようにしている。
24時間開放のくるめモールには、モールの中央部にLEDと光ファイバーの電飾装置を埋め込み、地区の新しい名所となる空間を創出した。



建　築　主　JR久留米駅前第一街区市街地再開発組合
所　在　地　福岡県久留米市
設計・監理　安井建築設計事務所
施　工　者　大成建設
敷地面積　4,845.87㎡
建築面積　3,108.47㎡
延床面積　43,827.32㎡
構　　造　高強度RC造、S造
規　　模　地上35階、地下１階
竣　　工　2010年３月
撮　　影　エスエス九州

人とガスが出会う場所

hu+gMUSEUM（ハグミュージアム）





大阪ガス発祥の地での新たな情報発信拠点となる展示場計画。
「人とガスが出会うと、ぬくもりが生まれる。未来が生まれる。」をキーワードに、新しくて懐かしい、そして地球に優しい環境建築を目指した。空調負荷を抑制する建物配置、先進性を表す外装金属パネルと外壁を組合せたウォールダクト、木材を利用したルーバー、壁面緑化など意匠計画と環境計画の統合を図った。加えて、ガスコージェネによる発電の最適制御、既存熱供給施設へのコージェネ排熱融通により、この地域でのスマートエネルギーネットワーク構築の一端を担っている。更に、太陽熱の空調利用、エネルギーの見える化の導入、停電対応設備による高いエネルギーセキュリティなど、省エネと同時に安全と安心を提供する。また屋上には水田を設け、地域コミュニケーションの場として活用される。
本建物は国交省の建築物省CO_2先導事業に採択され、CASBEE大阪みらいではSランク評価を獲得している。

建　築　主　大阪ガス株式会社、大阪ガス都市開発株式会社
所　在　地　大阪府大阪市西区
設計・監理　安井建築設計事務所
施　工　者　竹中工務店
敷地面積　3,866.85㎡
建築面積　2,953.98㎡
延床面積　10,148.55㎡
構　　造　S造
規　　模　地上５階
竣　　工　2014年11月
オープン　2015年１月30日

安井建築設計事務所 継承と発展
建築家三代の系譜

建築と社会の関係を見つめつづけて

石田潤一郎

佐野吉彦に、父・正一についてインタビューしたとき、正一がずっとテーマとしていたことを一言でいえば「建築と社会」だろうと彼は語った。そのあと、佐野吉彦が 1999 年に刊行した『見えるもの　見えないもの』と題された小さな書物を久しぶりに読み返してみた。この本は、冒頭と末尾に「あなたはあなたであって、わたしはわたしでしかない」という言葉が置かれる。この認識の上に立って、佐野吉彦は、わかりえぬ他者とのネットワークの可能性を一言ずつの響きを確かめるような筆致で提示している。彼はまた、2000 年の時点で 21 世紀を展望した際にも、キーワードとして「関係性」を掲げていた。改めて思えば、佐野吉彦は安井建築設計事務所社長としての出発時点で、父とは異なった次元で、個人と組織、市民と公共の関係を自問自答していたのである。そのことと父を見る眼差しは明らかにつながっている。

開設以来、長くつづいている設計事務所は他にもある。ただ、それらは財閥の営繕組織を出自としていたり、宗教的なパトロネージを得ていたりしていたものがほとんどである。それだけに、開設当初は自分たちが誰に何を提案すべきかは明らかであり、他者とのつながり方をあえて問う必要性はなかった。

しかし、安井事務所だけは事情が違った。創設者・安井武雄は様式主義への反逆者として自他共に任じていた。「様式」は建築と社会の関係性を保証する美的制度に外ならない。石の列柱が銀行の信用を象徴するように。しかし安井武雄はその虚構性を撃った。そして自分だけの「使用目的及び構造に基づける自由様式」を生み出す。自己の「自由」な表現を、「使用目的」すなわち社会的な与条件を基盤として組み立てること、その回路を見いだすことが安井武雄の終生の課題であった。

佐野正一は二十世紀後半期の社会と建築の劇的な変化に即応すべく、より端的に「機能主義」をうたった。高度産業化社会は錯綜する要求を建築家に突きつける。その解決のためには工学的思考が何よりの武器であった。その明晰さはまた空間のイメージとして展開する。しかし、佐野正一は、その一方で人間の感情の奥底に訴えかける安らぎへの眼差しを忘れなかった。サントリーホールの成功は、音響はもとよりだが、サイトプランニングの巧緻さ――土地に溶け込みつつ祝祭性を付与する、あの構成が人々の意識下で好感を誘っていると言えるだろう。また彼は自分の代表作を問われたとき、不運な野村総合研究所をしばしば挙げた。たしかに、あの作品は明晰さが優しいたたずまいと両立しうる達成点として、もっと世に知られるべきであった。

佐野吉彦が向き合う現代。そこにおいては、建築と社会の関係は、祖父や父のように一意的には解けない問題となっている。であればこそ、彼は幾たびも「他者」を問い、ネットワークに言及する。彼が 2000 年に「癒やし」というキーワードを挙げていたのは、そこでの一つの解答であろう。サントリー山崎蒸溜所ウイスキー館が漂わせる叙情的な味わい、あるいは京都市本能特別養護老人ホーム / 京都市立堀川高等学校本能学舎における、京町家が並ぶ路地のたたずまいを写し取った構成はその早い時期の建築的解答ではなかったか。近作では、市民交流プラザふくちやまを代表とする、立面を細かく分節する傾向に彼のめざすところがうかがえる。

空間のスケールを、人間の等身大のものにしようという志向は、彼が WEB 上で連載しているエッセイ「建築から学ぶこと」とはっきり通底する。そこでは、ささやかな建築、あるいは表現行為が、むしろささやかであるがゆえに着実に空間を革新し、生活に貢献している場面をさまざまにすくいとっている。

建築は社会的行為であり、建築家はみずからの表現と社会との関係をたえず秤量しつづけねばならない。作品の向こう側に、三代の建築家の視線を追うとき、安井建築設計事務所の 90 年は、表現と社会とが応答しあう、その対話の蓄積としてたどることができる。

profile | 石田潤一郎　1952年鹿児島市生まれ。京都大学工学部建築学科卒業。
現在、京都工芸繊維大学大学院工芸学科研究科建築学部門教授（工学博士）



建築家三代の系譜

事務所創設と様式創造

安井武雄 YASUI Takeo

1884-1955

大阪倶楽部
1924



南欧風ノ様式ニ東洋風ノ手法ヲ加味セルモノ

安井武雄は、自作について多くを語っていない。独立しての第１作においても、デザインをこのような説明で済ませている。満鉄に奉職した１０年、片岡安のもとでの５年。イメージは熟するときを待っていた。独自の建築スタイルは、凡庸な言葉など置き去りにして、静かに歩きはじめる。
安井武雄、４０歳の春である。

佐野吉彦



高麗橋野村ビル
1927

東洋的な意匠を随所に、かつ大胆に使い、全体として濃厚な東洋指向でまとめている点で独特のデザインといえるだろう。
このデザインは次の日本橋野村ビルのデザインに移るステップと考えられる。
ゼセッションを基調に東洋風モチーフ等いくらかの段階的変形を加えながら、究極、ある種のローカリズムを追い求めてきたのではなかったか。

佐野正一

1884 2 月 25 日千葉県佐倉市 生まれ
1903 豊橋中学から一高へ入学
白馬会洋画研究所で藤島武二の指導を受ける
1910 東京帝国大学建築学科 卒業
南満州鉄道株式会社 入社
1919 片岡建築事務所 入社
1920 片岡建築事務所から派遣され 渡米
1924 安井武雄建築事務所 創設
1945 野村建設工業株式会社 社長 就任
1946 安井建設株式会社 社長 就任
1951 安井建築設計事務所 代表取締役 就任
1955 5 月 23 日逝去（71 歳）

早稲田大学講師 （1925 -1935）
京都大学講師 （1933 -1946）

日本建築協会 副会長



日本橋は街道のはじまりにあり、海運のたどりつくところ。その場所は商うことへの情熱で満たされている。野村徳七はこの空気に身を委ね、大きな夢を見ることにした。安井武雄は材料を対比的に用い、要素を切り詰めながら、土地の磁力をあらわし、建築主の志をかたちにする。関東大震災の復興計画が完了した昭和５年、日本橋に鮮烈なランドマークが誕生した。

佐野吉彦

日本橋野村ビル
1930

使用目的及び構造に基ける自由様式

大阪ガスビル
1933



「自由」とは過去の歴史様式からも、海外の新建築思潮からも自由という意味であろう。
つまり、この大阪ガスビルはだれの作品から形を借りたのでも思想的影響を受けたのでもなく、
安井自身が自由に発想し設計したのだという自負がこめられている。

建築史家 山口廣

「自由様式への旅 建築家安井武雄伝」



建築家三代の系譜

事務所継承そして発展

佐野正一 SANO Shoichi

1921-2014

大阪ガスビル新館
1966



南館に北館を増設して一体として安井の理念を継承しようとするのが私の願いだった。正直いって私はこの仕事に恐怖に近い圧迫を覚えた。
完成した時、井口社長から「よくやった」とねぎらわれてうれしかった。安井武雄が生きていたら何というだろうか、私はそれが、なによりも気懸りだった。

佐野正一



大阪ターミナルビル
アクティ大阪
1983

駅には駅らしい自然な大きさ、たたずまい、明快で平胆な平面計画、誰にでも出入りを拒まぬ寛容な親しみやすさが必要である。遠来の人、土地に慣れない人には駅の存在は明確でなければならない。周辺に高層ビル群が立ちふさがるような事態であっても駅だけははっきり明確でなければならない。それがこのターミナルビルコンセプトの第一条だった。

佐野正一

1921　1月10日 大阪市生まれ
1942　東京帝国大学工学部建築学科 卒業
　　鉄道省施設局 入省
　　海軍技術将校（建築部門）
1945　復員 運輸省に復帰 本省建築課 勤務
1950　日本国有鉄道施設局 勤務
1955　安井建築設計事務所 入社
1961　同社 代表取締役社長 就任
1989　同社 代表取締役会長 就任
2002　同社 代表取締役相談役 就任
2014　3月20日 逝去（93歳）

建設省建築審議会 委員
日本建築協会 会長
日本建築士事務所協会連合会 会長　他

1959　日本建築学会賞受賞
1965　日本建築学会賞受賞
1972　大阪府知事賞受賞
1983　建設大臣賞受賞
1985　藍綬褒章受章
1991　勲三等瑞宝章受章
1994　大阪市民表彰（文化功労）
2014　叙位として正五位受章



サントリーホール
1986

建築的にはそんな盛大な仕掛けがあるわけではない。だけど精神のこもった建物です。
外観はほとんど何もなくて、内観だけの建物です。それでも私はあえてライフワークというんです。それだけのことをやってきた。あれには私自身の哲学があると思っている。

佐野正一

東京国立博物館　平成館
1999

この仕事は私の最終、最高の作品である。

平成館の建築は、私の様式というべき建築主張をあますところなく織りこんだ仕事といえるものだ。細密徹底した平面計画は安井武雄以来の私の手法であり、建築素材とその表現に留意しながら、明快、端正な美しさと豊かな表情をもつ立面計画は私の手法にほかならない。これは私なりにつくりあげたローカリズムと技術主義の考え方とでもいえようか。
長い歳月をかけてどうやら私の様式に到達したように思われる。

佐野正一





建築家三代の系譜
新たなる展開

佐野吉彦 SANO Yoshihiko

1954-





サントリー蒸溜所

サントリーは、山崎や白州といった生産拠点に在って、土地と気候を読み、ブドウや麦を発酵させる技術を磨き、売るための知恵を練る。この地の建築に手を加え続けることは、企業の成熟・成長そのものだ。

佐野吉彦

山崎蒸溜所
1958 〜

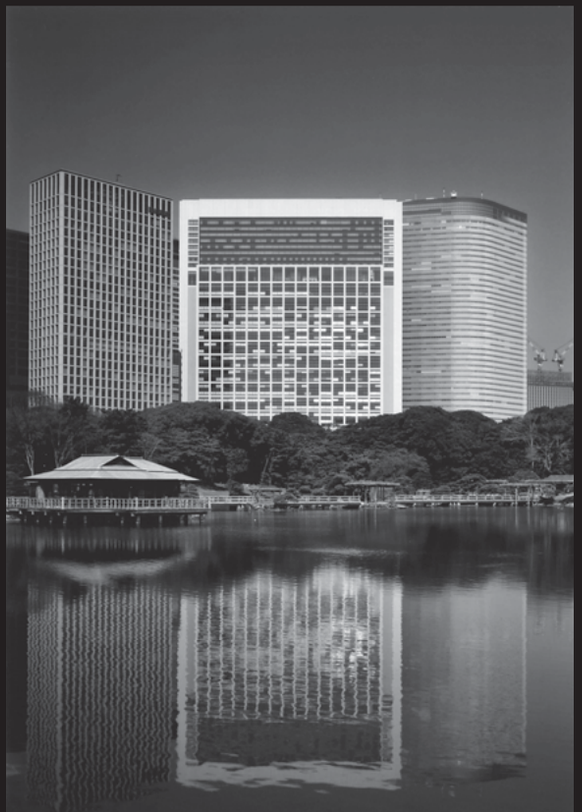


ウイスキー館
2000



白州蒸溜所
1973 〜

サントリー天然水南アルプス白州工場
2009



東京汐留ビルディング
2005

建築を世に送り出すにあたっては、建築に関わる者が、その先にある豊かなみのりを確信できたほうがいい。大切なのは想像力だ。

佐野吉彦

1954　10 月 12 日 神奈川県 生まれ
1981　東京理科大学大学院工学研究科（建築学専攻）修了
1981　竹中工務店 入社
1986　安井建築設計事務所 取締役社長室長 就任
1989　同社 常務取締役 東京事務所長 就任
1992　同社 専務取締役 就任
1997　同社 代表取締役社長 就任

大阪府建築士事務所協会 会長
日本建築士事務所協会連合会 副会長
日本建築協会 理事・会長を歴任
日本建築家協会 会員・登録建築家 副会長、国際委員長を歴任
UIA2011 東京大会（第 24 回世界建築会議）日本組織委員会運営部会長を歴任
関西経済同友会 幹事
京都工芸繊維大学大学院客員教授を歴任
大連理工大学建築学部客員教授
瀋陽建築大学客員教授
釜山仁済大学特別招聘教授
東京理科大学客員教授



大阪ステーションシティ・サウスゲートビルディング

2011　大阪ターミナルビル アクティ大阪 1983 増築

第一印象がすがすがしいのは大事なことだ。
都市の顔がいつも生き生きとしていれば、
その街に幸せな空気が満たされる。

佐野吉彦



カトリック夙川教会 聖堂改修

聖堂落成 1932　**2012**

宗教建築の個性とは信仰のかたちの違いである。この教会の改修はそれを確実に継承するためになされた。そうした建築の持つしぶとさは、地域にも厚みを与えている。

佐野吉彦



hu+gMUSEUM

大阪ガス岩崎南地区新 PR 拠点

2014

建築の機能も都市のマスタープランも、建築と人との間に起こるドラマによって変化する。それはきっと、社会の意思なのであろう。

佐野吉彦

記念対談

人をつないで都市が変わる

── アート、建築、コミュニティ ──



佐野吉彦

1954年神奈川県生まれ、兵庫県西宮に育つ。
東京理科大学工学部建築学科卒業、同大学大学院工学研究科建築学専攻修了。建築家、株式会社安井建築設計事務所代表取締役社長。
現在、「NPO法人取手アートプロジェクトオフィス」や「美術館にアートを贈る会」の理事長を務めるなど、アート関連の活動にも積極的に参画している。



取手アートプロジェクト
(2013-2014年活動から)

団地の空き部屋を利用した宿泊型アートイベント「サンセルフホテル」。太陽の光を宿泊客とホテルマン（団地や近隣住民）が一緒に集めて発電し、その電気を使って一夜を過ごす試み。

取手アートプロジェクト
www.toride-ap.gr.jp

写真提供：NPO法人取手アートプロジェクトオフィス
撮　　影：伊藤友二

人が都市の活力を生み出し、都市が人を育てあげる。今、向き合っている時代のどこに兆しがあり、どこに可能性を見出すか。対談はアートを巡る話題からゆるやかに始まった。

地域を活性化する触媒としてのアート

佐野：この10年ほどで、アートプロジェクトは地域を活性化する触媒的なものという認識が進み、地域は変わってきました。まちを更新するという視点で見ると、アーティストはどんな役割を担ってきたと、森さんは考えていますか。

森　：僕の出発点は現代美術なので、アーティストと付き合うことから仕事は始まります。アーティストはまちなかの、不動産業に乗らないような場所を活動拠点にして、コミュニティをつくっていくので、僕は彼らに引っ張られるかたちで、美術館の外に出ました。そして同じような問題意識を持つ人たちと一緒に、まちづくりに関わっています。

佐野：取手アートプロジェクト[1)]（以下、TAP）のケースを見ていますと、美術館という枠の中で、アクティビティを続けることには、ある意味、限界もあるのでしょうか。あるいは美術館では達成できなかった成果を得たのでしょうか。

森　：アートプロジェクトはアクティビティ＝行為なんです。行為を主にすると、まちに出やすくなるし、時間という要素が入ってくるので、美術館という場に居続ける必要はなくなります。アーティストにとっては継続して何かをつくっている、そのプロセスが楽しいわけです。

佐野：そういう話を聞くと、美術館で現代美術を扱おうとしたときに、どこかミスマッチな感じがする理由がわかる気がします。

森　：でも、現代美術も再編集・回収されて、美術館に入っていく必要はあるんです。現代美術の若手作家は、５年、10年でどんどん変わっていきますが、彼らの勢いがある時代の作品は、一部のコレクターが持っているだけで、時系列で作品を鑑賞・経験することがなかなかできません。その反省もあって、最近コレクションが始まったという状況です。

佐野：そうなると、拠点としての美術館はやはり必要ですよね。

森　：たしかに今も地縁や血縁が残っている地域では、まちはそれなりに機能しているけれど、急速に開発され、外から人が流入した土地では、まちの匂いは急速に褪せていきます。地域にどう関わり、どう住まうか。海外を例に挙げると、美術館の教育普及の現場は、日本の有閑層へのサービスとは違い、少数民族の人々に対する言語教育の場となっています。言葉を共有しなければ、相手に好意があるか、敵意があるかもわからないので、子どもたちへの言語と文化教育を通じて、大人たちにも住まい方を伝えていくわけです。

佐野：戦略的ですね。私たちは、東京国立近代美術館フィルムセンター相模原分館の映画保存棟の増築を手がけました。今後、こうしたアートにおけるアーカイブは、市民にもアーティストにも必要になるでしょう。

森　：日本では、産業振興、見本市として美術館が始まっているので、展覧会はするけれど、欧米などと比べてアーカイブは置き去りにしてきたという感は否めません。ここ10年くらいですね、アーカイブの重要さがいわれ始めたのは。

佐野：建築の分野でも、2013年に国立近現代建築資料館が開館して、図面だけでなく模型やスケッチなどの収集が始まったところですが、研究や活用も徐々に進んでゆきそうです。

森　：残して伝えてゆくことと、それを開示することは別の機能です。建築でいえば、ビル・ゲイツは、海外の著名建築家の図面を巨額で購入して、デジタル化していますね。日本でもICT環境が整うことによって、コレクションは私蔵されるものから開示されるものになっています。そうやって開かれることで、文化の理解者は増えてゆくのだと思います。

佐野：文化が地域に共有されるというのは素晴らしいことですね。一方で、もっと広く、世界に向けてということも必要でしょう。

森　：行政のエリア、たとえば水戸芸術館は水戸、東京の美術館は東京のために、と閉じる必要はないのですが、敢えて開く必要もないと思います。まずはその土地のために丁寧な仕事をすること。いたずらにイン

ターナショナル化するよりも、スタンダードのクオリティを上げ、日常のデフォルト部分を向上してゆくことで、信頼や関係性が生まれ、結果的に世界に開かれるのではないでしょうか。

佐野：兵庫県の芦屋市立美術博物館は「具体美術」[2]の本丸で、ここで「具体美術」の展覧会をすると、海外からも視察や調査が来ます。その価値が地域にどれほど共有されているかはわかりませんが、芦屋に行けば、「具体美術」を見ることができるというのは、美術館が持つ大きな発信力ではないかと思います。

森　：それがよい意味でのシチズン・プライドの醸成につながればいいのですが、そこがなかなか難しくて。閉じるけれど、開くというバランスをどうするかは大きな課題です。

佐野：その辺りをつなぐ人がいることが大事なのでしょう。経験のない人が担うと、手づくり感はよいのですが、プロジェクトをマネージメントすることは、そう簡単ではありません。

森　：上野の東京都美術館では、東京藝大教授であり、アーティストの日比野克彦さんの監修で、社会とアートと美術館をつなぐ「とびらプロジェクト」というチームの活動が始まっています。美術館を拠点に、オープンで実践的なコミュニティの形成を目指す画期的な取り組みとして注目を集めていますが、成果が出てくるのはこれからだと思います。

人材育成は、教える以前に、環境づくりから始まる

佐野：まちづくりにおいて、それを担う人材育成は大きな課題だと思いますが、森さんはどんなふうに人を育てているのでしょうか。

森　：教育の力は間違いなくあると思っていますが、TAPの現場で僕がやったことは、何かを教えるというよりは環境づくりですね。人が育つときは、グループで育ち合います。人間は言語を使う生き物なので、ある世界をつくるプロセスと言語を共有する仲間がいれば、悩みながら話し合うことができるんです。役割は、敢えていうなら、彼らに少しストレスをかけるというか、そのアイディアはダメだよ、と、ダメ出しをしたことでしょうか。その中で、彼らも踏ん張る。こういうことには時間を要するのですが、行政は、今日の明日という感じで結果を求めてくるんです。

佐野：人はあるきっかけでぐんと伸びることがあります。それを気長に期待することは大事ですね。

森　：TAPの場合でも、活動の２年目に入って、２年生と１年生＝先輩、後輩ができると、２年生は１年生に教えることを通じて自信をつけていくし、異なる意見も交わされるようになります。そうやって３年目くらいから成果が出てくるのですが、教育という時間のかかることに対して、行政の発想は少し合理的過ぎるというか。あと、TAPでいうと、OJT（オン・ザ・ジョブ・トレーニング）の現場があまりに少ない。人は経験しない限り、成長することはないのに、経験の前の机上の議論も不十分な、足踏み状態という感じです。

佐野：TAPでかつて活動に加わったアーティスト、ヤノベケンジさんや椿 昇さんたちは強烈な個性を持っていて―そういう人はだいたい関西人が多いのですが（笑）―強い球を投げられると、強い打球が飛ぶ。これが優しいアーティストが来ると、若者もこじんまりしてしまうかもしれない。誰がどう育つかは、予測し難いところですが。

森　：ヤノベさん、椿さんだけでなく、基本的に関西のアーティストはわかりやすい（笑）。人との絡み方がはっきりしています。

佐野：よくわかります（笑）。そのパターンに取り込まれないようにがんばってほしいですね。

森　：東京藝大先端芸術表現科の拠点である取手で、よそ者として手伝ってほしいといわれたとき、僕は芸大エリートのスクエアなところに関西パワーを入れたいと思いました。今、十和田市現代美術館の館長を務める「かえっこ」[3]の大将、藤 浩志さんは、「まちいじり」についてはプロ中のプロなのですが、彼らを呼んで、刺激を与えようと。最初は“どうして芸大出身のアーティストじゃないの”といわれたりしましたけど。

佐野：建築でも学派という根強い世界が前に出ることがあります。私は芸大が保守的だとは思わないけれど、学の権威が往々にして、



森　司

1960年愛知県生まれ。公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化発信プロジェクト室 地域文化交流推進担当課長。東京アートポイントディレクター、取手アートプロジェクト実施本部長。水戸芸術館現代美術センター主任学芸員を経て東京アートポイント計画の計画に携わり、NPO等と協働したアートプロジェクトの企画運営、人材育成プログラムを手がける。



東京国立近代美術館フィルムセンター
相模原分館 映画保存棟Ⅱ（2011年竣工）

日本で唯一の映画フィルム専用の保存施設として1986年に開館したが、近年のコレクション急増と保存環境向上のために増築。安井建築設計事務所が増築の設計に携わる。
フィルム保存庫は低温で恒温恒湿を必要とするため地下２層に設置し、外周に空気層がある「六面魔法びん構造」としている。

撮影：川澄・小林研二写真事務所

守りの方向に流れることはわかります。

森　：権威は継承されてゆくもので、芸大的な思考や問題へのアプローチの仕方などは、教育の現場で連綿と伝わっていきます。でも、そこに反発する才能豊かな人間がスピンアウトすることで、新しい地平を切り開いてゆくのではないでしょうか。

佐野：都市自体がまさしくそういう類似で表現できると思います。まちの伝統があって、それを受け継ぎながらも新しいことをしていかないと、まちは更新されていきませんから。

設計プロセスを共有することで生まれる“自分たちの建物”という意識

佐野：建築家は、誰でも自分の表現を究めたい気持ちがあります。その成果に対して誰かが意味を解き明かし、位置づけをするのは効果的です。そういう議論が活発な環境はもっと整備されてほしいですね。それがまちづくりの基盤になるでしょう。

森　：建築家の青木淳さんは、前提となる概念、やりかたをそもそものところから検証し、大胆に更新していくという振る舞いをされる方です。青木さんは、越後妻有トリエンナーレの開催地である十日町市で、公民館など3つの施設を建築するに当たって、設計事務所の分室を置き、設計の段階から現場に若いスタッフを入れました。設計は東京、施工は現場というのが通例の中で、分室をオープンアトリエにして、地域の人と交流し、情報を得ながら、仕事を進めています。これはとても青木さんらしいと思いました。

佐野：設計プロセスの問い直しをしているわけですね。建築は、写真を撮れば、どこもきれいな装いをしていますが、プロセスにある生々しいドラマもそれ以上に魅力です。一般には見えにくいプロセスを、まちの人と空気を共有しながら運営し、かつ公開することは非常におもしろい試みですね。

森　：設計段階から気にかけていれば、地元の人にとっても“どこかから降ってきた”建物ではなく、自分たちの建物という意識になるはずですから、その後の関心も変わるはずです。

佐野：たとえば大学の施設を設計する際に、建築学科の学生とワークショップをすることがありますが、議論と具体的に出来上がった建築の両方を共有できるのは、おもしろい経験です。

森　：そういえば僕がいた水戸芸術館の設計は磯崎新さんですが、担当したのは青木さんだったんですよ。

佐野：水戸の場合、形態的にかなり上から降ってきた感がありますね（笑）。

森　：勝手な想像ですが、たぶんそういうことやいろいろなことを経験されて、青木さんは、十日町市ではチャレンジに踏み切ったのではないかという気がします。

佐野：よい面をいえば、それまでシンボル的なものがなかった土地なので、あのタワーは水戸のイメージを大きく変えたことは事実でしょう。

森　：結果的に磯崎さんは、水戸芸術館の中身である美術館でも劇場でもなく、タワーという無用の長物にメモリアルな役割を象徴させました。その割り切りによって、モニュメント的なアート作品になった、といえるかもしれません。

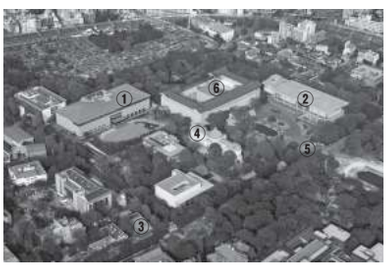
佐野：あのタワーは記憶に残りますから、質の高いデザインだった、ということなのだと思います。一方で設計する側と運営する側に設計時点から、完成後の段階にわたる連携がないと、建築は飽きられてしまいますが、水戸の場合、ずっとアクティブな活動が続いているので、飽きるという問題はないでしょう。

森　：たしかにブランドショップは、何年かごとに更新することを前提に、エッジの効いたファサードをつくり、インパクトを出すことで、ブランドをアピールするわけですし。

佐野：建築は、ある目的や機能に即してつくられるものです。それでもまちとともに、最初に設定した機能とは別の展開が起こることも多い。いい換えれば、その建築がまちと建築に新たな展開を生んだわけで、まちの変化と建築は連動するという側面があります。

森　：おもしろいですね。

佐野：東京国立博物館の建築群は、一つひとつ丁寧につくられています。時代のニーズに合わせて耐震改修したり、ミュージアムショップやシアター、カフェができたように、改修や増築によって新しい世界が広がります。



安井建築設計事務所が手がける
東京国立博物館の施設群

①平成館（新築1999年、改修2015年完成予定）
②東洋館改修（2013年）
③黒田記念館改修（2013年）
④表慶館改修（2013年）
⑤正門プラザ（2014年）
⑥本館改修（2006年、2014年）

写真提供：東京国立博物館

森　：なるほど堅牢な建物には、意匠とは異なる意味でのインパクトがあります。堅牢、重厚な建物が醸し出すものは、人々の拠り所にもなる。昔の学校は、どの地域でも“子どもの教育のため”という意識があって、しっかりしたものをつくっていましたよね。時代の空気は軽妙なものへと志向を傾けていますけど、人間を包み込むような建築に、パブリックな場所で日常的に出会えるとおもしろいのに、と思います。

佐野：建築は容易に壊せないものだからこそ、使いこなすために、知恵を入れ込むことができるんです。廃校を美術館やコミュニティセンターにするなど、残したことで新たな活動の器として、役割を果たすこともあります。

森　：ロンドンのテムズ川向こうの再開発で、発電所だった建物を改修したテート・モダンができたことで、まちの付加価値が更新されたように、建築は風景を変えますよね。あとソフト面の話をすると、興味深い例では、阪神・淡路大震災の被災地に復興住宅を建てる際、東京藝大教授で造形作家のたほ・りつこさん[4]は、そこに農園をつくりました。住宅というハードにソフトを入れるとき、ソフトをオペレーションするシステムを入れることは、社会と建築をつなぐ上で重要だと思います。

佐野：設計の段階からオペレーションを提案することはできますが、設計者、発注者、住まい手が上手にパスを受け合うと、いろいろなことができそうですね。

“私”と“公共”のあいだに、ゆるやかに開かれた場を新たにつくる

佐野：ソフトのオペレーションという点を含めて、やはり、求められるのはまちの活性化をリードできる人材です。

森　：会いに行く建物があるように、そこに会いに行く顔があると、敷居が下がってくると思います。

古いまちでは代々続く地方の商家の中に、５人衆のような人たちがいて、次の世代が跡目を継いで……と、まちのいろいろなことが丁寧に引き継がれていきますね。

佐野：彼らが上手く機能するようにしなければいけないですね。そこからまちの人々をいかに動かすか、いろいろなやり方があります。

森　：まちは土地の人だけでも、よそ者だけでも立ちゆきません。そこに入って行きやすいのがアーティストですが、彼らも忙しい旅鳥なので、地域のニーズを引き受けつつ、アーティストの活動へと橋渡しするマネージメント・チームとして期待しているのが、地域におけるNPOです。彼らが地域のクッションバッファになっていくと、おもしろいのでは、と思っています。

佐野：地域の教育システムとしての役割を担っているのが祭りでしょう。若いうちは現場で動いて、ある年齢になったらまとめる役目に変わってゆく。よい意味でのマンネリズムを含んだシステムですね。だんじり祭りで有名な、大阪の岸和田は、先輩から後輩へ、祭りのノウハウがきちんと継承されています。

森　：その話で思い出したのは、祭りは数年途絶えると、その作法があっという間に風化してしまうことです。祭りは文献ではなく、当事者たちの記憶によって継承されます。実際、東日本大震災後の東北で、祭りが数年間、途絶えただけでも、その継承が危ぶまれています。特に東北の場合、作法を知っている人や全体の人口も減っていて、外から応援を連れて行けば再興できるものではありません。地域社会で育まれた知恵やネットワークが機能する場所、維持するシステムをどう用意するか。今後、多くのまちで課題になるでしょう。

佐野：それは、地域における安定したシステムが崩壊しつつあることに対して、まちにも危機感がある、ということでしょうか。

森　：だと思います。商店街などは、間違いなく危機感を持っています。

佐野：昔のあんないい祭りがなくなってしまったと懐かしむのではなく、郷土愛につながる芯のようなものを、意識的に育てておくべきでしょうね。

森　：祭りが継承されている地域にある強制力を嫌って、新興地に移り住んだ人たちもいます。彼らが新しい関係を持つことができる開かれた場をつくる上で、アートプログラムは一定以上の機能を果たすのではないでしょうか。藤 浩志は、共同作業＝プロセ



アーツ千代田 3331で行われた
TAPのシンポジウム

アーツ千代田 3331は旧練成中学校がコンバージョンされ、2010年に誕生したアートセンター。アートギャラリー、オフィス、カフェなどが入居し、展覧会だけでなくワークショップや講演会といった文化的活動の拠点に。無料のフリースペースも充実し、アート関係者と地域の人々との交流の場としても活用されている。
写真は2014年２月に取手アートプロジェクトのシンポジウムが開催され、森氏もパネラーとして登壇した。

アーツ千代田 3331
www.3331.jp

写真提供：NPO法人取手アートプロジェクトオフィス
撮　　影：伊藤友二

スを共有する場があることで、記憶が蓄積されてゆくといい、それを「部活・部室」という言葉で表現しています。まちなかの空家を部室にして、手芸でも何でもやりたいことを、グループ＝仲間内でやるのに大きなお金はいりません。自分たちの部活・部室をつくってネットワークをつくっていこうと、彼は提唱しています。

佐野：それが、私＝プライベートと公共＝パブリックのあいだをつなぐ「新しい公共」になるとよいかもしれませんね。

森　：興味があったら入ればいいというゆるい閉じ方の部活・部室がまちなかにできれば、新たな展開が起こりそうです。

佐野：新しい場所には、いろいろな知識を持っている人がたくさん集まってきています。一方、新住民と古くからの住民の両方いる取手を見ると、現代アートのように、どこからも等距離のものが、結果的にTAPを活性化したのでしょう。

森　：TAPはアートという言葉を更新するためにアクションを起こすという前提で始めましたが、どのカードを切るか、方法論はたくさんありました。市民活動は補助金頼みで何か始めてはやめてを繰り返していると、アクションが根づいていかない。無駄に見えるはじめの３年をどう共有して、価値化していくか。そこが問われているのだと思います。

限界集落としての適正規模を考え、行動する、神山プロジェクト

森　：今、話題になっている神山プロジェクトでは、NPO法人グリーンバレーの理事長の大南信也さんを中心に25年がかりで現在に至っています。

神山町[5]は1955年に21000人いた人口が、今は1/3の6500人になって、５つあった学校も２つに統合された中で、神山町は最終的に、限界集落としての適正な規模をどうするかを考えたんです。２つの学校を維持するために子どもが何人必要か。年に５組夫婦が移住して、子どもを２人産む環境があればいい、というのがその答えでした。

佐野：それは、人口減少の中では意欲的かつ現実的な提案ですね。居住人口が増えないと、集落は維持できません。課題は雇用創出でしょう。

森　：地場産業のない神山町は、アーティスト・イン・レジデンスとワーク・イン・レジデンスを考え、手に職のある人を町に呼び入れました。地方でＩターンなどを呼びかけるとき、行政主導の空家バンクは、なかなか上手く行かないのですが、ここはウェイティング・リストが200人。それは、町からマッチングを受託したNPOが、この町でどう暮らしたいか、移住を希望する人に聞いた上で、町として来てほしい人を優先して招いたからなんです。その延長線上にサテライト・オフィスがあって、交流人口が増えると、今度は食への意識も高まって、オーガニックフードを……と新たな動きが始まって。こう聞くと、どこでも成功しそうな話なのに、他の自治体は、“神山だからできたけど、自分のところでは無理だ”と考えてしまう。成功例を見て、自分のところでも工夫して発展させればいいのにと、そのことが本当に不思議。

佐野：行政でも民間でも、誰かがリーダーシップを発揮してこそ変革が起こるわけですから、楽なことではありません。先行事例のよい面を取り入れて、発展させることは、元来、日本人は得意なはずなので、具体化するにはどういう知恵があったかなど、素直に聞けばいいですね。そのプロセスを、第３者が評価・整理して、成功例を共有することも大事でしょう。

森　：それが経験を客観化する、ということですね。

佐野：私たちは事務所のある北大江地区（大阪市中央区）で、地域活動に関わっています。もともとは10年前に発足した「北大江地区まちづくり実行委員会」で、地区内の自転車の不法駐車をなくそうという動きから始まって、公園の清掃活動へとつながり、公園で野外コンサートを開催したら、これがなかなか評判よくて継続しました。当初の１日から、今は「北大江たそがれコンサート週間」となって、音楽祭というべきイベントになりました。

森　：自然に人の動きがつながり、広がっていますね。羨ましい話です。

佐野：楽器店が多いまちで、楽器店やカフェ、レ



神山プロジェクト～「イン神山」
1999年にスタートした神山アーティスト・イン・レジデンス（KAIR）で、毎年招聘されるアーティストや展覧会の情報などをWEBで発信している。
写真はオープンアトリエツアーの様子

www.in-kamiyama.jp

写真提供：NPO法人グリーンバレー

ストランをライブハウスとして、その週はどこかの店でライブ演奏をしているというスタイルになりました。このイベントのポイントは、そもそも音楽祭の開催が目的ではなく、活動の中で、ここが音楽に関わるまちであることを発見したことです。

森　：イベントがそうやって育っていったのは無理がなかったからなのでしょう。

佐野：この辺りは近年、マンションが建ち始めて居住エリアになっているのですが、住民もまちづくり活動に参加しているので、コンサートもいい感じで定着しています。私たちは1970年からここに事務所を構えているので、地域の人たちと幸せな関係でつながっているという気がします。また、設計事務所とはどんなことをするところかも同時に知ってもらうのもいいのではないかと、この期間、会社もオープンハウスをして、スタディ模型や作品写真などを展示してみています。

森　：ロンドンでも、オープンハウス・ロンドンという建築公開イベントが、毎年秋に２日間、行われていますね。

佐野：実は、それに倣って大阪市でも11月の２日間に、近代建築を紹介する「生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪」が実施されました。これが定着すると、大阪は近代建築をひとつのブランド化できておもしろいのではと、思います。大阪市民自身が、“大阪には文化遺産は何もないから”といったりしないよう、その認識は改めてもらいたいですね。「北大江たそがれコンサート週間」も、継続していると、人が自然に集まってきます。

今後、まちづくりに活かしたい建築家のまちの読み取り能力

佐野：建築が手がかりとなって、いろいろな活動がまちで始まります。建築の持つハードとしての可能性や磁力は、今後、日本が人口減少に向き合う今だからこそ、大きな役割を果たすと、私自身は楽観的にそう信じています。設計とは、顧客と対話しながら情報を図面に統合し、結び合わせるプロセスをコントロールする作業です。北大江の例からもわかるように、それはまちの活性化に利用できる能力ですから、設計者はまちの将来に対して、さらに貢献してゆかねばならないでしょう。

森　：東北の復興支援の現場やその様子を見ていても、建築家はアーティストに負けず劣らず、社会的に振る舞うことのできるフィールドが多いと感じています。こうした専門の能力を持つ人たちが、その能力を出していく場が増えると、まちは変わると思います。たとえば、まち歩きをするとき、建築家やカメラマンと一緒に歩くと、すごくおもしろいんです。建築家は位置関係を把握しながらまちを読み取っているし、カメラマンは光でまちを把握している。山の中を音楽家と歩くと、“ここ、ステレオで音が聞こえるよね”とか、サウンドポイントとして、場を把握している。プロフェッショナルな人たちと場を共にすることで、新しいものの見方を学び、共有できること。それが豊かなライフスタイルにつながっていくと、僕は思っています。

佐野：多様な専門家がまちにいて、一緒に活動することで、地域だけでなく、市民の力も高まる、ということでしょうか。

森　：つまり、多様な人がいるまちに住むことがシチズン・プライドになるのではないかと。高い専門性を持つ人たちとの開かれたネットワークがある場所に住むことの方が、最終的には豊に生きることにつながるのではないかと、そう思います。

1）取手アートプロジェクト：郊外都市・取手で、新たな芸術文化を育て、ここにしかないアートプロジェクトを実践することを趣旨として1999年にスタートした。
2）具体美術：戦前から関西で活躍していた画家の吉原治良らを中心に、1954年に兵庫県芦屋を活動の基盤としたグループによる前衛的な作品や志向。
3）「かえっこ」：かえるポイントと呼ばれる世界共通のこども通貨で、使わなくなったおもちゃなどを子ども同士で循環させる買い物遊び。現代美術家の藤 浩志が発案。
4）たほ・りつこ：東京藝術大学美術学部教授。自然と調和し、住民とともに作品をつくるコミュニティアートを手がける。主な作品に「八月の光」「虹のラクーン」など。
5）神山町：徳島県の北東部に位置する町。高齢化率46%と典型的な日本の過疎地ながら、ITベンチャーがサテライト・オフィスを移転し、若者の移住が進んでいて、人口縮小社会の新たな可能性を実践している町として全国の注目を集めている。戦前、アメリカから各地に贈られ、神山の学校に残っていた「青い目の人形」を贈り主に里帰りさせたのを機に神山町国際交流協会が発足。その後、県の政策で芸術村をつくるという話になったとき、“人につくってもらうなら、自分たちでつくろう”という方向に話が転がり、プロジェクトが始まった。

（構成／塚田恭子）



2014年11月１日（土）、２日（日）の２日間、大阪市主催の「生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪2014」が実施され、安井武雄作品ツアーを開催。ガイド役を佐野が務め、高麗橋野村ビル、大阪倶楽部、大阪ガスビルを見学。写真は大阪ガスビルにて。



安井建築設計事務所東京事務所にて

U-35の視点

医療施設づくりへの想い

工学院大学建築学部の山下教授を交え、U-35若手医療施設設計者が設計への取り組みやエピソード、そして医療施設設計への熱い想いを語り合った。日頃、心の奥にある情熱を言葉にすることで自らの想いを整理し、U-35が今後めざす設計スタンスについて考える。

対話から生まれる信頼関係の構築

中原　最初に、病院設計を行うにあたってクライアントとの関わり方やプロジェクトの進め方等、皆さんが大切にしていることを聞きたいと思います。

山本　病院のスタッフは新病院に対して様々な想いや意見があって、それを設計者にぶつけてこられます。私はそれが無理難題であっても一旦は受け止めようと心がけています。意見を出しやすく、対話できる環境をつくることが重要だと考えています。

中原　山下先生とは、ある病院の設計で10数年前に協働させていただきました。先生が学識経験者の立場で淡々とプレゼンされると、スタッフは先生のファンになっちゃうんですね。きちんと納得いく説明があると信頼関係が生まれる。いかにクライアントとの心の距離を縮め、パートナーとしてベクトルを合わせ進めるか。一番やりがいのある部分であり、同時に一番難しいところでもありますね。先生は数々の病院設計の監修をされていますが、クライアントとの関わり方で意識されていることはありますか。

山下　特に意識していることはないですが、『意見や要望は、きちんとエビデンスと合わせて言ってくれ』と言いますね。

山本　設計者がそれを言っても、受け入れられない場合が多々あります。その点、先生のような立場で発言していただければ、スムーズに進むのかもしれません。ただ、そこは設計者が努力すべきことかもしれませんが。

山下　共同建築設計事務所にいた時は『ちょっと来てや』とクライアントに呼ばれて、『あれしてや、これしてや』と言われたけど、大学の教授になったら、先生扱いですからね。それは仕方ないですよ。

三宅　エビデンスの話ですが、看護部長さんの発言にはすごい説得力を感じます。先生方もそれをよくわかっています。リアリティが全然違うわけですよ。それが病院設計に携わって感じた大きな衝撃でした。これはすごく建設的な打ち合わせだと思いました。

山下　設計時に看護師さんと医師と、どちらの話を聞きますか？

新井　私は医師の意見は絶対に聞かなければならないと考えていますが、使い勝手等、細かな話については看護師さんにお聞きすることが多いかもしれません。

中原　次にプロジェクトの進め方については、いかがですか。

古川　私は、設計の内容をよりわかりやすく説明し、それを理解していただくことが重要だと考えています。

私たちはRevitというBIMソフトを使って図面を作成しています。図面は3次元データで出来ていますので、私はそのデータを用いて設計している空間をウォークスルーでお見せしています。パースとは違って、自分で行きたいところに行き、見たい方向を自由に見せることができます。病院スタッフとの打合せ時にお見せすると、わかりやすく、楽しい打ち合わせになります。『じゃあ、ここからあそこに歩いてみて』と反応が出てきたりします。



ウォークスルー画像（福岡みらい病院）

唐沢　これはクライアントとの意思疎通にすごく効果があると思います。古川さんは、打ち合わせ用に手書きパースも作られていましたが、どう使い分けているのですか。

古川　今ちょうど工事中の福岡みらい病院というプロジェクトで内装のプレゼンを行っています。最後までなかなか方針が決まらない箇所やディテールなど全てをRevitで入力しているわけではありません。空間の雰囲気や質感を強調して伝えたい時に、Revitと手描き合わせてスケッチパースを作成しています。

三宅　空間の広さ等、うまく説明できないことがありますが、ウォークスルーによるイメージの共有は効果的だと思いますね。

古川　例えばその場で天井高を三次元で変えて見せることができるので、イメージの共有ができ、スタッフの意思決定の手助けとなります。

新井　病院設計では、病院側は各部門による面積の取り合いがあって、設計者側はいかにいい空間にするかを考えています。例えばある空間に必要だと考えている吹き抜けを残したい時、平面図だけだと無駄なスペースだと思われがちですが、三次元のイメージで説明すれば、その吹き抜けの必要性を理解してもらえるかもしれません。下呂温泉病院の外来部門の吹き抜けをどれだけ奪われそうになったか（笑）。

FMによるクライアントとの末永いおつきあい

唐沢　少し話が変わるかもしれませんが、プロジェクトの進め方とクライアントとの関わり方にも関係する事例をご紹介します。現在設計を担当しているプロジェクトは、当初FM業務としてスタートしました。最初は、主に設備の不具合等についての相談でした。まずは現状調査を行い、長期修繕計画を立案しました。次に計画的な問題点をお聞きし、用途変更や改修による解決案を提案していく中で一部増築する話になりました。この増築についてもマスタープ

ゲスト



山下　哲郎

1956年生まれ
工学院大学建築学部
建築学科　教授

東京都立大学（現：首都大学東京）工学部建築工学科卒業、同大学院工学研究科博士課程単位取得退学。東京都立大学非常勤講師、共同建築設計事務所、東京大学大学院助手、名古屋大学大学院工学研究科准教授を経て、2008年より現職。

U-35メンバー



山本　善宏

1982年生まれ
大阪事務所 設計部主任

主要実績：阪南病院、玉島中央病院他



兵庫県立
淡路医療センター



新井　匠

1982年生まれ
名古屋事務所 設計部主任

主要実績：T病院（設計中）他



岐阜県立
下呂温泉病院



三宅　伸幸

1982年生まれ
名古屋事務所 設計部主任

主要実績：T病院（設計中）他



あいち小児保健医療総合センター救急棟増築（工事中）



古川　恵里

1984年生まれ
大阪事務所 設計部担当

主要実績：杉岡記念病院（二期棟、三期棟）他



医療法人相生会
福岡みらい病院（工事中）



唐沢　文茜

1987年生まれ
大阪事務所 設計部担当

主要実績：あいち小児保健医療総合センター救急棟増築（工事中）他



医療法人慈和会 大口病院
（工事中）

コーディネーター



中原　岳夫

1972年生まれ
大阪事務所 設計部主幹

主要実績：博愛病院、友愛会病院、幸町記念病院、国立病院機構長崎医療センター、済生会千里病院、球磨郡公立多良木病院、阪南病院、大阪府立精神医療センター他

ランを作成し、計画を決定しました。このプロジェクトの形は、クライアントと設計者の関係が建物が建つ前から建った後も太く長く継続するという意味で新しい形だと思います。常に更新、修繕、改修、増築を繰り返す病院建築において、特に小規模な民間病院だと顧問建築士のような役割が重要なのではないかと思います。

山下　実は以前はそうだったんですよ。それがプロポーザルでないといけないということになり、仁義なき戦いになったんですよね。

唐沢　このクライアントからは、これまでは施工者や設備会社から言われるままに更新、修繕を行ってきたが、体系的に物事が整理できてよかったとの感想をいただいています。全てを抱え込もうとまでは思っていません。相談窓口的な立場で長くお付き合いできる関係のクライアントが少しでも多くできればいいなと考えています。その結果として、設計の仕事に繋がれば、もちろんベストです。

山下　FMの観点から20年で更新ですねというと、まだ使えるのにと、しぶられますね。

唐沢　病院においては絶対に壊れてはいけない機能があります。事前に劣化度を調査し、その結果を示して納得していただいた上で更新・修繕を行う必要があると思います。逆に壊れても1，2週間は何とかなるものもありますから、機能に合わせて判断しています。

山下　これからマスタープラン作成から始めるプロジェクトが増えるのではないでしょうか。施設担当の方はマスタープランをどうやって描いたらいいのかわからない。

唐沢　是非、そのようなプロジェクトに参画していきたいです。

医療施設の設計は魅力満載!?

中原　皆さんそれぞれ病院設計をやっていて、やりがいを感じたり楽しいと感じるのはどんな時ですか。

新井　ヒアリングなどでスタッフと情報を共有し、議論を繰り返す中で同じ方向に向き始める時にやりがいを感じますね。また建物ができた時にクライアントや地域の方々にいい病院が出来たと喜んでいただけた時もそうです。下呂温泉病院の竣工式の時には町をあげてお祭りをしていただきました。喜びの声を聞き、地域に受け入れられたことを実感できた時、この上ない達成感を味わうことができました。



下呂温泉病院竣工式

山本　プランニングをしているときは楽しいですね。コツコツ考えて自分なりに答えが出たり、綺麗なプランニングができた時は爽快な気持ちですね。

古川　私はヒアリングの時などに、スタッフの方に『やりたいことは、こういうことですよね。』と案を提示した時に『そう。そう。』と言ってもらえた時は、心がつながったようで嬉しいです。福岡みらい病院では、内装仕上の提案を持って行った時に『今までの提案が良かったから、もうお任せするよ』って言われた時なんて、もう嬉しくて嬉しくて。

中原　病院スタッフの方々がここは私がやったんだ（設計したんだ）と話されているのを耳にした時、私は一番嬉しいですね。このプロジェクトはある意味成功したと感じる瞬間です。一緒に設計をしたというそのプロセスが病院設計の場合、クライアントの満足度であったり、竣工後何十年と大事に使っていただけることに繋がる重要な要素と思います。

医療施設の設計はやりたくない？

山下　病院設計は格好よくないからやりたくないという人がいますよね（笑）。皆さん、そういうストレスはないですか。

山本　デザインする上で制約が多いことは確かですが、その中で格好いいものを創りたいと思っているのでストレスは感じません。

中原　当社の場合、医療施設の設計の比率が高いわけではありません。あらゆる種類の施設の設計を行っていますので、医療施設グループのメンバーも病院以外の設計も多く携わっています。医療に特化するよりも、その方がいいのかもしれませんね。

山本　病院以外の設計を担当した後に病院を設計すると、違う視点でものを見ることができます。また、その逆もあると思います。

新井　私は病院こそデザイン要素がたくさんあって面白いなと思います。病室は住まいの要素だし、外来は小さな町のような要素だし。

三宅　私は、全体を統合する建物がどういう原理で出来ているかという部分で設計しようとすると要素が多すぎて造形的には複雑になってくると思うんです。造形化する時にその原理の簡略化と平面・断面構成との整合性を自分の中でどうつけていくのかをずっと悩んでいます。

新井　デザインの意味を説明するのはすごく難しいです。山下先生はその辺について、どのように学生に教えていらっしゃいますか。

山下　まずは機能を無視して構成原理そのものを教えますね。でも仕事を始めた時に苦労するんですよね。「あー、機能ちゅうもんがあったのか！」ってね（笑）。

中原　デザインのしどころはたくさんありますが、その前提として機能が成り立ってないといけないので、難易度が高いのかもしれませんね。

山下　病院のスタッフは基本的にそれぞれの部門の責任者ばかりだから、部門のことしかわからない。病院全体の方向性がわからない。それは設計者がやらないといけないですね。ボロ

クソに言われるんですけど、私は医療者ではありませんって言い切るしかない。医療は知らないけど、病院は知っているってことですよね。プロポーザルの時に必ずいうのは廊下と縦動線ですよね。それがきちんとできているか。そして私はその上で建築がきれいでないとダメだと思っています。

新たな全室個室プランへの挑戦

中原　急性期病院において、7：1看護が導入された頃から病棟規模が小さくなり、個室率の高い病院や全室個室の病院が増えてきたように思います。そのような流れの中で生まれた新たな病棟計画といいますか、個室群の提案をご紹介します。

最初に、今年竣工した全室個室の岐阜県立下呂温泉病院について、新たな計画を実現するまでのエピソードを新井さんよりお話しください。

新井　下呂温泉病院（以下、下呂）は、プロポーザルの時点で全室個室が条件でした。当社は、個室５室ワンユニットで共用のトイレ１か所の『多床室的個室群』を提案しました。各室の扉を開けたままにすると５床室のように、扉を閉めると個室５室になるのが特徴です。スタッフは５室それぞれの患者を見守りながら、ユニットホールにおいて記録作業等を行うことが可能で、効率的に看護できるとともに患者にとっては見守られているという安心感を得ることができます。院長先生は、『個室的多床室ではダメ。音が筒抜けで見舞客にも患者さんにもいい環境ではない。これからは全室個室だ。』とおっしゃいました。ただ下呂は高齢者が多く、個室にすると患者によっては寂しがられるので、何か計画で解決したいと考え、この多床室のような個室群を提案しました。設計当初からスタッフの方々に『多床室的個室群』のコンセプトを受け入れていただいたので、ほぼプロポーザル案のままで計画を進めることができました。

山下　病棟の１床あたりの床面積はどの程度でしょうか。

新井　約36㎡/床です。個室率の低い病棟に比べると面積は大きめですが、全室個室の病棟としては非常にコンパクトにまとまっています。看護単位の一辺が約20ｍなので、廊下の長さがかなり短く計画できています。１室８㎡強とコンパクトですが、コーナーウインドを用いることで空間には広がりを与え、看護に必要なスペースを効率的に確保しました。また院長先生の方針で、ほとんどの個室において差額室料はいただいていません。

中原　前例のない計画なので、妥当性をどのように検証したのでしょうか。

新井　設計時はBIMを用いて寸法や空間のイメージを共有し、施工時はモデルルームによりベッドの出し入れがスムーズにできるか、ユニットホールから観察できるかなどを確認しました。その際のスタッフのアイデアを細かな点までデザインに反映し、使い勝手のよいものを創り上げることができました。

山本　現在、大阪で計画中の地域包括ケア病棟をメインとする病院を計画しておりまして、そちらも全室個室で設計が進んでいます。このクライアントも『地域包括ケアや療養病棟でも、これからは全室個室だ。』という強い意志を当初から持たれています。

山下　今後は特に急性期の場合は、全室個室でないとダメでしょう。全室個室だと男女の問題がなくなり、ベッドコントロールがしやすいので病床稼働率が上がるんですよ。数字は多少間違えているかもしれませんが、確か１ベッドで年間２千万程度稼ぐんです。病床稼働率を上げることのできる全室個室の方が、経営的には断然いいでしょう。

中原　全室個室は感染予防上もかなりメリットがあるし、見舞い家族にとってのアメニティも高まる。デメリットとしては、スタッフの観察のしにくさでしょうか。特に７：１看護の一般病棟に比べ、地域包括ケア病棟や療養病棟は看護師数がかなり少ないので、全室個室にする場合は、より効率的に看護ができるプランニングが必須となってくると思います。

山下先生は足利赤十字病院の基本計画において、全室個室を提案されていましたが、どのような流れで実現されたのですか？

山下　まさに先ほどの病床稼働率を上げることができ、収益が上がるというメリットを説明しました。そうすると、すんなりと受け入れていただきました。

中原　もうひとつ、現在設計中の某自治体のT病院の個室ユニットの計画について、三宅さんよりご紹介ください。

三宅　その自治体に同自治体立のS病院があります。個室の並び方、面積、プロポーションは似ていますが、病室への入り方が違います。S病院の場合は出入口の位置の関係で、ベッドの足元側が狭くて移動しにくいとのことでした。それをT病院では下呂と同じようにアルコーブから全ての個室にアプローチする形式としました。ベッドサイドについては最適かつ必要最小限のスペースを確保した上で、できるだけベッドをまっすぐ搬送できるように計画しています。スタッフから『ICU的でいい！』という話が出ました。きっと足元に正対して病室に入ってきて、自分で自由に展開できるということなんだと理解しています。

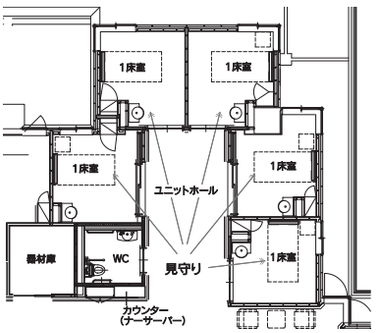
古川　下呂とは違って、重症個室以外は各室にシャワーつきトイレが設置されていますが、これはクライアントからの要望ですか？

三宅　はい、基本設計時にいただいた条件でした。

山本　通常、住宅のトイレはベッドの横にはないですが、病院において全室個室となった時にトイレはどうあるべきでしょうか。病室の近くにあれば共用の方がよいのか、やはり病室内にあった方がよいのか。



下呂温泉病院



多床室的個室群の平面イメージ



モデルルームによる検証（下呂温泉病院）

山下　患者の容態によりますね。外のトイレを使えるけど、朦朧としているときに扉を開けて行くとなると転倒するリスクが高くなる。安全性を考えると病室内にあった方がよいのではないでしょうか。ホスピスなんかは最後まで排泄は自分でやりたいという患者さんが多いので、扉なしで横に設置することがありますよね。個室だったらポータブルでいいじゃないかという話もありますが、臭いの問題が出てきます。

山本　スペース、コストの問題などありますが、患者の尊厳の問題もありますよね。

新井　スタッフによってトイレについては色々意見がありますね。トイレ内で倒れられた時の発見が遅くなるなどのリスクの問題とか。そういう意味では、総合的にどちらがよいかはケースバイケースなのかもしれません。

中原　山下先生は、20年ほど前に西神戸医療センターで『個室的４床室』を、いわば発明されました。当時の既存の多床室は６床室がまだ多かったのかもしれませんが、そのような時代に『個室的４床室』を計画されたわけです。しかも、民間でなく神戸市立ですよね。実際にどのようにクライアントに説明し、実現されたんでしょうか。

山下　神戸市は当時、株式会社神戸といわれるくらいお金を持っていました。それと当時の中央市民病院の病棟プランが四つ葉のクローバーじゃないですか。『西神戸は二つ葉にしましょう』なんていいまして、そんなころから話を進めていきました。それから二つ葉に、もうちょっとこういう事しないとダメですよとか言いながら、すーっと進めていった感じです。実際、竣工してみると廊下側のベッドの方が人気がある。

山本　廊下側の方が囲われた感があるからですかね。

中原　当初は個室的４床室ですけど、将来は病床数を減らさずに全室個室に改修できるプランを以前提案したら、『その面積を確保するなら、最初から全室個室でいいんじゃないか。』といわれました。これからは下呂やT病院のような形でいわゆる看護の形、スタッフの数に合わせて極力動線を短くして全室個室にすることが主流になってくるんではないかなと思います。

山下　全部個室にすると、『差額室料を取りにくくなるね。』という考えが出てくるんですが、どうしてそう考えるのかなと思いますね。

U-35の今後への熱い想い

中原　最後にU-35の皆さんから、今後の病院設計への抱負をお聞きしたいと思います。

唐沢　病院は閉鎖的な施設だなと設計をしていて感じます。地域に開放できる計画としても、実際には運用されていない場合が多く見られます。もっと地域に溶け込んだ計画があってもいいのではないかと思います。特に地方などは地域住民に愛されてこそ永く存在し続けられると思うので、病院に行くことをネガティブに捉えずに常に通える、見守られる状況があっていいかなと思います。私はまだ病院設計の経験が少ないからこそ言えるのかもしれませんが、知らないからこそ客観的に提案できることもあると思うので、そのような気持ちを持ち続けていきたいです。

古川　病院は患者やスタッフみんなの空間でもあるし、公共の場でもあるので、それに応えるものでなければならないと思います。患者さん、そこで働くスタッフみんなが元気になれるような病院をつくりたいと思います。安井建築設計事務所のキーワードに『誇りと情熱』『対話力は設計力』『フロンティアマインド』がありますが、まさにそこに病院設計に必要なことが集約されていると思います。これから設計を続けていく上で、このキーワードを大切にしていきたいと思います。

新井　諸先輩方が積み上げられてきた実績に感服しています。ただ初心に戻って考えると、人を癒す場所として現在の病院は正しい場所なのか、あるべき姿なのか。ホスピタリティ、我々がそこに滞在する場所として考え直すべきデザイン要素が多い施設だと思います。機能性と芸術性を兼ね備えた楽しく優しい世界に誇れる病院づくりをめざしていきたいと思います。

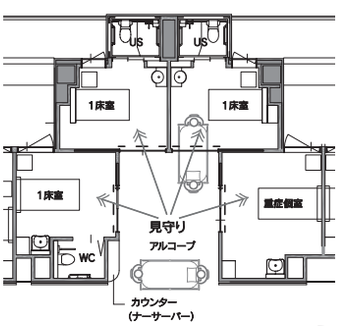
三宅　T病院の位置づけは、下呂を展開させた形式と考えています。T病院の計画をさらにブラッシュアップさせ、当社としての病院建築実績の一連のオリジナリティへと結び付けられるようにしたいというのが一番身近な目標です。

山本　自分が例えば患者の立場だったら、ドクターの立場だったらという、当たり前のことですがそれぞれの立場になりきって考えるスタンスを持ち続けたいと思っています。病院以外の用途の設計にも携わりながら、その経験を活かして新たな病院を考えていけたらなと思います。

山下　みなさんすごく意欲的にやっておられて敬服しました。こじつけですけどデザインのデはデコンのデですよね。サイン（記号＝ステレオタイプ）の再構築ですよね。だから本当に正しい姿が仮にあったとしても、それを再構築するのがデザインじゃないですか。その姿勢は大事だなと思います。きっとこれからも新しいものが生まれてくると思います。

中原　皆さんが日頃、心の奥に持っている想いを声に出して話をするのはいい事だと思いました。自分の想いを整理でき、次へのステップにつながる。こういうディスカッションは時々やった方がいいのかなと思います。U-35メンバーの今後の活躍を期待して、トークセッションを終わりたいと思います。ありがとうございました。

2014年９月９日
安井建築事務所大阪事務所にて



T病院個室ユニットのイメージ



U-35の視点

新しい学校づくりのアプローチとは

大阪市立大学大学院教授の横山俊裕先生をお迎えし、U-35若手教育施設設計者と教育施設のこれからについて語り合った。自己紹介を兼ねて自らの作品をプレゼンした後、設計に対する日々の想いを語り、次の世代に向けていかに取り組むべきか先生にアドバイスを頂いた。

設計者は学校環境を変えられるか

影林　テーマは「新しい学校づくりのアプローチとは」ですが、先生と活発に議論させて頂いてこれから進むべき方向性やあるべき姿を見つけていきたいと思います。

横山　年代的な違いかな、僕らは今の教育はどうあるべきか、教育をどうしようか、プログラムをどう作っていくか、子供たちのアクティビティや学習活動を、学校生活の中でどのように多様化していくのか、弾力化していくのかを第一の目標にして、そのなかでどのような空間を作っていくのかをアプローチしていたんですね。従来の定型化した学校に対して定型化してはいけないと考えていたんですけど、今日の話を聞いて面白いと思ったのはそういう教育のプログラムの中身の話というよりはむしろたとえば既存の校舎とどういう風に整合性を付けていくのかとか周辺環境とどう関係を付けていくのか、わりに教育そのものをどう考えるかというよりも少し違うアプローチで描こう、解いてみようということが面白いなと思ったんですね。そこでみなさんに子供たちの活動が「どう変わっていくのか」「どう豊かにしていこうと考えているのか」お聞きしたいなと思います。

清原　設計を行う際、プログラムを考えるうえでジレンマがあります。社会と学校のつなげ方には、安全性という話と相反する部分がある。プログラムという話では社会とどうつながるかが問われているアプローチの一つだと思います。もっと人と人とがつながればいいなと思いますが安全性を考慮したオープンとはガラスで仕切られていて、人とのつながりはそこまでであるジレンマを感じています。

横山　皆さんはやさしい世代なのかな。人とか環境とか空間に対してナイーブで優しさがある。それが建築を豊かにしていく可能性があるのではないかと。いろいろなものに気配りがちゃんとあって、そこからプログラムなり計画なりを作っていくというスタイルになっているのかなと思います。例えばどんな学校を創りたいと思って設計に臨まれているんですか。

上野山　自分が通った学校の記憶が基本にありますが、自分が通いたい学校をイメージします。授業と授業の間の時間を豊かにしてあげる空間をつくりたいですね。

横山　教育活動をどう充実させる学校をつくるかという方向と、それを前提にしながら楽しい人間関係が作れるか。隙間の部分、ある種のゆとり感覚が学校に入っていくのかと思いますね。先ほどのみなさんのお話の中に共通キーワードとして「つながる」があったように思いますが、そういうところに「周辺環境とつながる」「既存校舎とどうつながる」ということろに人と人がつながったり、先生とつながって面白くなってゆく。子供ならではの発展につながっていくように感じますね。

宮永　私が設計した中野中学校の場合、プログラムの提案よりも、ハード面においてどのようなつながりを作れるかを結構考えて、建築が街とどうつながるかを考えました。

横山　学校は依然として教室中心で一斉形式がほとんどです。オープンスペースを持っている学校も増えていますが、そのスペースをうまく使っているかというとそうでもないと。現場の先生や教育委員会がこれからの教育をどうするか一生懸命考えながら新しい学習の仕方、しつらえ方を考えなければいけない。けれど、なかなか変わる力を持っていないんですね。そう変わる力のない相手に対して我々はアプローチをとりながら問題と思われる学習環境や進め方を変えていくような力のある提案が重要だと思うんですね。僕らの世代はすぐ「戦う」ような感じでやるんですけど、もうちょっと環境そのものを変えるというアプローチを僕らのような正面突破型ではなくて、周りから絡みとるようにしてうまく相手を説得して気が付いたら面白い学校になっていたというようなアプローチを考えられたらいいなと思うんですけど、何かいいヒントはないですかね。

影林　突破口の一つはコンペを取ることでしょうか。取ったら道が拓けるというか。けれどなかなかプログラムを変えるところまで行けてないのが多々ありますね。

オープンスペース活用の手法とは

横山　プロポの審査をやっていてオープンスペースの提案があった時に、このスペースはどのような使い方をするのかとか、なかなか使われないオープンスペースはどこにどのような問題がありましたかと聞いてもなかなか答えられない事務所があるんですね。それは僕は驚きなんです。あんまり勉強していないのか意識が向いてないのかなと思いますね。どこに問題があってどういう風に改善していけばいいのかなどを自分たちで本来身に着けておいたうえで相手を説得していくとか理解してもらうベースが少し不足してるんではないかと思うんです。

影林　中高の使い方と大学でのオープンスペースの使い方は全く違いますからね。

横山　大阪国際大学ではいろんな家具を使って多様な使われ方ができるという話がありましたが、そこまで説得力があるとお施主さんが理解してくれると思うんですけど。オープンスペースつくっただけで「はい、これが新しい学校です」と言われても使われないでしょうね。

影林　学校の方も使い方を模索中です。我々設計者が使い方を提案し、仕掛けていく思いで取り組む。そうしてまず１回実現させて頂いて、どういう結果になるのか実験的に見ていく姿勢が大事なのかなと思いますね。

清原　先生の経験の中でオープンスペースが使われているのと使われていない違いは何で

ゲスト



横山　俊祐

1954年生まれ
大阪市立大学大学院工学研究科都市系専攻/建築計画・教授

1985－ 東京大学大学院工学系研究科 建築学専攻博士課程修了、同年－ 熊本大学工学部建築学科助手、2004年 大阪市立大学大学院工学研究科 都市系専攻助教授、2005－ 同大学大学院教授　現在に至る

U-35メンバー



清原　健史

1979年生まれ
大阪事務所 設計部主任
主要実績：市民交流プラザふくちやま、近畿大学G館、大阪総合保育大学他



近畿大学BLOSSOM CAFÉ



上野山貴嗣

1980年生まれ
大阪事務所 設計部主任
主要実績：東海関電ビルディング、山辺広域行政事務組合消防本部 天理消防署他



甲南小学校新本館



原　康隆

1985年生まれ
大阪事務所 設計部担当
主要実績：淀之水学院昇陽高等学校新校舎（工事中）、三宝電機本社ビル（工事中）他



西条市庁舎新館



瀬崎　康平

1986年生まれ
東京事務所 設計部担当
主要実績：東京国立博物館正門プラザ他



渋谷区渋谷1丁目共同ビル
（全国婦人会館・ちふれ化粧品共同ビル）



宮永　賛紀

1984年生まれ
東京事務所 設計部担当
主要実績：中之条町立中之条小学校改築・群馬県立榛名養護学校吾妻分校（仮称）新築他



中野区立中野中学校

コーディネーター



影林　督諭

1974年生まれ
大阪事務所 設計部主任
主要実績：東海関電ビルディング、雲雀丘学園中学校・高等学校、・大阪国際大学・短期大学部食堂棟、金蘭会高等学校・中学校、金蘭千里中学校・高等学校、大阪国際大学新1号館（工事中）他

しょうか。

横山　スペースを作っただけで終わっている場合、オープンスペースは使われていませんね。さらに家具がない学校は使われないですね。新しい学校ができた時に先生方でこのスペースを何でもいいから使ってみようかと思うか、私たちは望んでもいなかったのに勝手に作られたと思うか。この場所は別になくていいと思うかですね。設計者とスペースの使われ方の話が出来ていないということですね。

清原　使い方を提案することが大事ですね。

横山　それは是非やっていく必要があると思いますね。学生がよく「コモンスペース」と一言書いて、ここでみんなで交流しますって書くでしょう。あれはよくなくて、どうやったらそこがコモンになるか。そこでどんなアクティビティが生まれるか。それを生み出すにはどのような設えが必要か、見え方とか空間ボリュームが充分か、ちゃんと考えていく。丹念に考えていく作業というのが必要だと思うんですよ。

影林　仕掛けるための熱意は非常に大事で時間もかかるんですけど、仕掛けるにはお金も必要ですし、そんなジレンマの中で挑戦していかなければならないわけですよね。

原　仕掛けた誰が喜ぶかと考えた時、生徒が喜んでくれることが一番大切ではないでしょうか。そして、それが魅力となり、学校の特徴が出来ていく中で、生徒も増えていく。それらが学校の価値やブランドとなって最終的には学校にとっても喜ばしいこととなる。結果として学校にどういうメリットがあるかということまでを踏まえて提案するべきではないでしょうか。

横山　なかなか大人の意見ですね。上野山さんから「対話と納得」という話がありましたが、そこらへんにヒントがあるんじゃないですか。対話と納得でうまく折り合いをつけていくという。

上野山　したたかに相手のメリットに入り込んでいくというか、相手のメリットになることをプレゼンしていかないとやはり動いて頂けないですよね。判断するのは学校なので、生徒にとって良い空間を作ることが良い学校であるということを語っていくということですかね。

横山　口で言うのは簡単ですが、先生たちを説得するのは一筋縄ではいかないですよね。やさしい世代はどうやってそこのところを乗り切っていくのかな。やりたいことはたくさんあるのにね。それに先ほど話に出ていたプログラムはすでに用意されているとありましたが、その用意されたプログラムを疑ってかかることも必要だと思うんですが。

宮永　たとえばオープンスペースに椅子はいらないのではないかと言われたときに、あれば座れちゃうかもしれない棚を置いたり。ちょっと姑息かもしれないけど、正面突破ではないやり方もあるのかな。

横山　今のようにやさしい世代が戦わずにうまく折り合いをつけてくれたらすごく楽しみなんですけど。中野中学はすごく面白いですね。あれは早稲田通りに直に面していたんですか。

宮永　直に面してますね。

横山　すごく面白い形なんですけど、あれは説得する必要はなかったんですか。

宮永　ロジックとしては早稲田通りを挟んで大きいスケールの都市空間と、密集した小さなスケールの都市空間をつなぐもので、小さい街並みに対して小さいボリュームで構成しましょうと。ルーバーは向かいにマンションがあるので生徒の視線をカットするために必要である説明をしました。やりたいことに論理をつけ納得のゆく説得をしたかなと思います。

横山　そうやって、自分のやりたいことを説得する方法をたくさん身に着けていくと面白いかなと思いますね。自分の望ましい学校ってありますよね。

瀬崎　ありますね。最初に仕事を始めて学校をやるときに考えたことというのが、自分が学校に行っていた頃をベースに考えていたんですね。自分が学校へ行っていた頃にはオープンスペースってなかったんですね。中学校、高校あたりだと、設計者がオープンスペースを用意してあげなくてもどんな場所でもそうなると思ったんですよ。現在設計中の某高校では、オープンスペースよりも図書館とカフェテリアとアリーナに力を入れているんですが、上の教室に関しても部室ひとつとっても写真部の部室には暗室を設けたり茶道部華道部には本物のお茶ができるようなしつらえと屋上に庭園をつくってあげたりという、ただの教室でないちょっと色のついたものを作ってあげた。

横山　図書館とエントランスとか面白かったんですけどね。

瀬崎　そういうところに力を入れてあげて本物のしつらえを用意することが学校にとって大切な話なのかなということを考えています。

横山　オープンスペースはどこでもなりえるという話は面白いですね。そういった発想が実は有効なのかなと思います。要するに教室は教室としてあって、その周りに隙間がちりばめられていて、その延長に部室もその一つになるだろうし、エントランスもあったして、教室は教室としてあっていいか、その周りをどれくらい面白い空間にするか頑張るということもありかと。

横山　清原さんの作品のコモンスペースがうまい具合におかれていましたが、あれは教室の周りにうまく配置しているけど、瀬崎さんと同じことなのかなという印象があるんですけど。

清原　図書館とカフェテリアがつながる空間、人が集まれそうなところがあればそれはコモンスペースということでは一緒だと思いますね。重要なのは位置をどこに置くか。これはスペースをどこに作るかと同じくらい重要なので、使われるスペースになるのかならないのか采配的なことじゃないかなと。

横山　さりげない空間を設計者としては意図的に作るかってそれが重要ですね。

清原　逆にもっと難しいのは小物系を置くというのは管理の面で嫌われるんです。モノを置くとお茶が飲めたりとか本を読めたりとかできますし。よく学校が認めてくれましたね。

瀬崎　もう少し補足をさせていただくと図書室は上にありまして、階段のところにおいているのは就職や進学情報の資料になります。安全面は学校も気にされており、上段に本は置かないということで説明をさせていただきました。

影林　本当はさらにもっと違うものを置きたいという思いがあるのでは？

瀬崎　もちろん

影林　熱意をもってプログラムを変えていくような空間を持っているのは楽しみですね。もっと学生が読みたいような本を置くよう説得するといいのかもしれないですね。管理面で学校は厳しいし説得に時間がかかるかもしれないけど、すでに仕掛けているんだからいいですね。

横山　豊かな場所をたくさん作って学校全体が学びの場であったり生活の場になっていくという考え方で作っていくということなんですよね。これは学校全体をそういう場所にするアイデアがたくさんあるよね。

今後ますます求められる木造建築

横山　最近学校建築に限らず公共建築を木造化していくという動きが出ていて、都心部は防火の問題もありますので難しいんですけど、皆さんは木造の学校建築は設計経験がありますか。

清原　以前和歌山大学の木造校舎を設計している方のサポートをした経験があって、音の問題とか苦労しましたがやはり、木造は手触りとかが違うので挑戦したいです。

横山　木をふんだんに使ってやっていこうという気はありますか。

宮永　中野では教室のフローリングなど積極的に使ったりしましたね。

横山　エコロジー世代でしょう。こうくくってしまうのはいけないのかな。けどフェラーリーよりプリウスの世代でしょう。違うのかな？

上野山　本物でやるというのが一つキーワードでありますね。今はちょっと離れたら本物かどうかわからないものがいっぱいありますけどね。不燃化とかクリアできるのであればふんだんに使っていきたいというのはなくもないかな。

横山　エコ世代はわりと木に対する嗜好性はあまりないんですかね。

影林　用途的に促進化されて12年ですか。僕自身実績がないのが大きな要因かなと思うんですけど、やれるならやりたいなと思うんですが、乗り遅れているんでしょうね。時代的にはそういう流れに動いていますか。

横山　動いていますね。
いろいろな自治体で作り替えたり、作っていくのに何を木造化するのかと方針を策定している自治体が結構あるんですね。木促法が出来ていてそれが今までになく力を持っていて木を使うのがこれから相当広がるのかなとの思いがあるんですね。
宮崎の綾町に見学に行ったら、平米20万くらいで出来ているんですよ。驚異的な安さですよ。２階建ての校舎なんですけど。

影林　それは市街地ですか。

横山　山の中ですね。町有林を持っていてそこの木を学校に使っているんですが。だから工夫すればローコストで出来そうですし、設計者から見ると面白い空間ができるのが魅力ですし、是非やっていただきたいなと思います。

原　西条市の場合は、庁舎自体は鉄骨なんですが、内装、外装は木なんです。外装はルーバーを全部木にしています。市の方が積極的な姿勢があったうえで実現したものです。

横山　こういう木質化はあると思うんですよね。必ずしもすべて木である必要はなくてハイブリッド的にやっていく。内装を徹底して木でやる。

清原　大阪木材会館のように耐火工法をちゃんと技研で研究し作っていくという方法がありますね。われわれ組織事務所は立場は違うんですが、少し時間はかかるかもしれないんですが、どうやったら法に組み込んでいけるか挑戦し続けることが大切だと思うんですよね。

横山　僕らの世代はエコとか口では言っているんですが、エコロジーが身体にしみついていない世代なんですよ。U-35の世代はそれがしみついている世代ではないかと思うんですね。ですので、作る木造って内から出るものがあるような気がするんですよね。ちなみに木造３階建ての学校が法整備で出来るようになるんですよ。エコ世代が木造を作るとかっこいいなと思うんですがね。改修の問題もありますね。
リノベーションもこれから増えますね。今、川崎市はパイロット的に取り組んでいるし堺市や奈良の橿原市もモデル的にやっているのでもうすぐ本格化すると思います。ちなみにリノベーションの経験はどうですか。

清原　改修はありますけど大々的にプログラムを変えてというのはないですね。

影林　学校も建て替える資金も体力もないとかという場合、廃校になったところを改修して使っていこうという動きはありますね。それを実現させるためどのような提案をしていくかというのは大事かなと思います。

ワークショップで住民との心をつなぐ

横山　ワークショップって学校やるときやるじゃあないですか、他はどうですか。

原　庁舎はあるんではないですかね。

横山　某高校はどうでしたか

瀬崎　我々の方から先生方や生徒さんの話を聞かせてほしいとお願いしまして、トップの方と現場の先生方と打ち合わせる場を別途やって



大阪国際大学守口キャンパス1号館



大阪総合保育大学

いただきました。現場の先生方から言われる要望は切なるものが多くて、我々としては聞かせて頂いて設計に反映さしていただきました。

清原　利用者のニーズをとことん掘り下げてそこから新しい形を生み出していくというのもいいのかなと思います。利用者にヒアリングを行うと、ときどきこれちょっと違うかなと思うものもあるんですが、声の大きい方に引っ張られるときがありますが、先生の場合ワークショップも多いと思います。どのようにされていらっしゃるんですか。

横山　昔熊本県の山の中の小学校を設計したときは先生とも地域の人とも生徒たちともディスカッションをしながらつくっていったんですが、小さな地域なので意見が大体まとまってくるんですね。だから変な意見に引っ張られることはなかったですね。清原さんの話はよく聞きますよね。無視するわけにはいかないしその人が納得するような話をしながらこちらの話に持っていく。その時は徹底的に戦うしかないんではないかなと思うんですね。変な意味の戦いではなくてね。ワークショップの基本はみんなが同じ立場なので、向こうが言ったことに従うことではなくて、こちらの意見もちゃんと言って議論してみんなでどうするかと方向性を定めていけばいいと思うんですね。ワークショップで設計事務所はいつも腰が低いですがあれはちょっと違うのではないかと思いますね。対等な立場で議論する。言いなりになる必要はない。ただしこちらのごり押しはよくない。みんなで話し合って納得するようなところまで議論することですね。それとね、回数が重要だと思うんですよ。それから工事中のときに生徒と共に見学会をやるとかね、工事中から工事が終わった後にもつなげていくといろいろなものがほぐれていくように思うんですね。

清原　みんながプロジェクトを進めていく一員として参加すれば、じっくり練られた建物ができそうですね。それも設計の一つの手段として今後取り組んでいきたいと思いますね。

横山　集合住宅の建て替えをやるときに住んでいる人と何度も話し合いをやったんですが、いろんな意見が出ていてもまとまりますね。最後に住民の方々から「あんたの銅像建ててやる」っていわれたんですけど、建たなかったですね。(笑)

僕らはあなたたちと一緒にいい学校を作ろうと一生懸命にやる、ということが相手に伝われば変な話は出てこないですね。とりあえず3回ぐらいやってお茶を濁そうとか、プロポの条件に書いてあるからとりあえずやろうとするとすごい意見に翻弄されたりするんでしょうけどね。

清原　僕らの世代は変に器用で近道をしてしまっているような気がしてます。時間を時にはかえりみずに熱意を持ってやっていったら次のステップの設計ができるのではないかと思っています。

横山　3，4回のワークショップだったら説明会でいいんではないかな。本当にやるんだったら腰を据えて徹底的にやらないといい学校づくりまではつながっていかないと思いますね。ワークショップは市民の力と共にやっていくことなので、そのワークショップを上手にしっかりとやる方法を身につけておくというのはとっても重要だと思いますけどね。そのワークショップで得た経験を設計にどう生かすか計画にどう生かすかとか提案にどう跳ね返していくかとかトレーニングすることが本当に面白いと思いますけどね。これから市民と共にどう作っていくか、特に公共建築を扱ううえで重要なことだと思いますね。計画も変わると思うしデザインも変わると思うしね。変えないといけない世代ですからね僕ら。

全員　出た。(笑)

横山　あまり世の中変えようという発想はないですか。間違えました、よくしたいですね。

影林　よくはしたいですね。

横山　建築をしていてよかったなと思うのは小さなことですが、社会を変えられるんじゃあないかな、世の中を変えれるんじゃあないかなという思いですよね。社会とどうかかわっていきながら社会をどうよくしていけるかということに少しでも携われることですよね。
そういう実感ってありますか。

宮永　中野が開校した時に子供たちが来て、この先何年もこの子たちが卒業した学校として心に残ると考えた時に、社会を変えるところまでではないけども一人の人生にかかわったということは幸せに感じましたね。

横山　学校にはこれがありますよね。学校に通った記憶って一生消えませんよね。僕が竣工式で泣いたのは一回だけなんですけどね、熊本の小学校に行って、子供たちが70人くらいしかいな学校なんですけど、全員がステージに上がって「こんな素敵な学校をつくってくれてありがとう。私たちはこれを大切に使います」って言われたときに涙が出てきましたね。それぐらい学校って、子供たちの大きな世界を作ってあげられる面白さがあるように思いますね。こういう面白さの中で木造とかリノベーションとか問題が出てきてそれを複合的に考えていくと新しい学校がこれからどんどん出てくるような気がしますね。

影林　今日はオープンスペースづくりのアプローチの仕方だったり、木材料の話、話が飛んでワークショップの話など、幅広い話となりました。最初は空間デザイン側に話が片寄っていたんですけども、教育環境は今、変革の時期にあり、そのなかでその動きを積極的にとらえていって勉強して答えていくという姿勢が一番大事なのかなと思いました。僕ももちろんできていませんし、若い世代もそれなりにアンテナを張って吸収して取り組んでいってほしいし、僕は彼らよりたくさんやってきた経験もあると思います。それを活かしトライしていきたい。特に木材利用とか。間違いなく機会が多い環境にいますから、積極的にトライして作ってまた先生とお話をさせていただけたらと思います。
本日はありがとうございました。

2014年9月30日
城南学園にて



U-35の視点

構造デザインとは

雑誌などで『構造デザイン』という言葉をよく見かけるが、その意味するところは必ずしも定まったものではない。しかし『構造デザイン』とは、より豊饒な建築空間を創り出すために、『構造設計』より高みにあるものだとすれば、構造設計者はそれを意識せざるを得ない。U-35『構造』では、学術的だけでなく、さまざまな『構造デザイン』を実践されている富山大学大氏先生を迎え、あえてこの捉えどころのない『構造デザインとは』というテーマで若手の構造技術者とトークセッションを行う。また、建築における構造デザインの実現には、意匠設計者とのかかわりが欠かせないため、若手の意匠設計者にも参加してもらった。セッションはまず、『自分の仕事』『好きな建築』を語ってもらい、それぞれについてその時の考えや、苦労した点などをクロストークする。そのあとに、各々が『構造デザインとは』『構造デザインのために』を考えていく。セッションで何らかの方向性を導くものではなかったが、これから自分なりの設計観を構築していく若い設計者が、富山の地でそれぞれ真剣に向き合った時間自体が、意義深いものであったと考える。

自分の好きな建築、建築家

安田　自分の好きな建築、もしくは自分が目指す建築をそれぞれに発表してもらいます。意匠の宮武さんからお願いします。

宮武　好きな建築家は吉阪隆正さんです。建築の荒々しさや力強さを示している吉阪さんの強い意志を持った形が好きです。いろいろな形がばらばらとある中で、吉阪さんは「不連続統一体」という言葉で表現しています。結果として、それらがいい統一体となっているのが素敵だなと思います。それから内藤廣。彼の建物を見学に行くと建物周辺の街の人を幸せな気持ちにしているんだろうなと実感できます。海外ではレンゾ・ピアノです。作品を一見すると同じ建築家がやったのかなと思わせるほど違う形が多いのですが、特定のスタイルがなく、常にその場その場で環境と構造を合わせながらやっているのがいいなと思います。

尾杉　ぼくはスイスの建築家ピーター・ズントーが好きです。彼は71歳になりますが、建築を作るときにインスピレーションから入るんですね。敷地に入って感じるインスピレーションをそのままピュアな形で建築に落としこむ、71歳の今もこの発言ができるのはすごいなと、講演会を聞いて思いました。

寺田　私は恩師である早稲田大学の新谷眞人先生です。構造事務所を持っておられるので意匠設計の方々が研究室によく来られていて、先生は持ってきた模型に対してダメ出しをされるんです。学生の頃構造設計者は構造のアドバイスだけをするものだと思っていましたが、構造だけどほかの分野を取り入れて膨らませ、みんなで一緒になって作っていく構造設計者だと感じました。

渡邊　好きな建築家を一人挙げるとなるとノーマン・フォスターですね。構造体が表れている建築が多く、僕はそういうのが好きです。訪れた街に彼の建築が多くあったので特に印象に残っています。香港上海銀行·香港本店ビルのハイテク建築からハースト・タワーのようなシンプルだけど異彩を放った外観がとても好きです。

馬場　谷口吉生です。東京国立博物館法隆寺宝物館は大きなスケールですが、部材を構成する要素が少なくすっきりしていて、構造を見せながら見えていないように感じさせるところが好きです。

松本　好きな構造家は満田衛資です。紹介したい建物は中川政七商店旧社屋増築棟で、短辺方向スパンが極端に短くファサード側の柱を極力細く見せたいという制約条件の中、２種類の柱を使うことによりうまく処理している。ブレース、耐震壁等を利用せず非常にシンプルな架構で敷地条件や意匠設計者の設計意図にあったものを実現できていますし、他のプロジェクトでも合理的に当初のコンセプトを損なわない設計をされています。

足立　学生の時、構造家を目指すきっかけとなった建築家サンティアゴ・カラトラバです。彼の作品は特徴的な構造体を力強く表現していて、それが不自然ではなく自然なフォルムできれいだと感じています。

構造デザインとは

安田　まず好きな建築家や建物を紹介してもらいましたが、ここからは本日の本題である「構造デザインとは」について話を進めていきたいと思います。「構造デザインとは」と「構造デザインをするためにわれわれはどういう関わりを持ったらいいのか」について事前にアンケートを取り、そのキーワードだけを挙げています。

■寺田絵美
構造に特化しない様々な要素のバランスのとれた解を導くこと
■足立幸多朗
設計により創造されたものはすべてデザイン。形状を特徴つける、自然に隠すなど手法の違いはある。論理的説明性が重要
■馬場勇輝
建物に意志を与えるため、構造設計者に与えられた特権であるが、構造設計者だけでできるものではない。
よりよいものをつくりだすため、他分野と融合・衝突する行為。
■渡邊 祥
建築デザインの一部
建築設計＝(意匠＋構造＋環境＋コスト…)/0.8
■松本裕之
造形だけでない、設計コンセプトの具現化の最適解
■宮武慎一（意匠設計）
建築に強い意志をもったカタチを与える。
合理的に美しく空間を成立させる意思、非合理でも町や人に正しいものをやりきる意思
■尾杉友浩（意匠設計）
目的をもった建築デザインに向かって意匠、構造デザインが継ぎ目なく凝縮された姿が最終形。構造的側面だけでなく多面的な役割を明確に与えることが構造デザイン。

出席者のアンケート回答

寺田さんはアンケートで「構造デザインとは構造に特化しないさまざまな要素のバランスを取る解」と書いていますが。

寺田　構造設計というのは力学に基づいて建物の安全性を守るものだと思っていて、構造デ

ゲスト



大氏　正嗣

1965年生まれ
富山大学芸術文化学部教授

神戸大学工学部建築学科卒業、建設省入省（官公庁の設計に従事）。退職し㈱デザイン・構造研究所設立。現在に至る。

U-35メンバー



渡邊　祥

1987年生まれ
大阪事務所 構造部担当

主要実績：淀之水学院昇陽高等学校新校舎（工事中）他



タリーズコーヒー宝塚店（伊丹産業）



馬場　勇輝

1986年生まれ
東京事務所 構造部担当

主要実績：東京国立博物館正門プラザ他



前橋地方合同庁舎（工事中）



寺田　絵美

1986年生まれ
東京事務所 構造部担当

主要実績：タカラスタンダード東北物流センター、東京国立博物館本館改修他



タカラスタンダード宇都宮支店



足立　幸多朗

1984年生まれ
東京事務所 構造部担当

主要実績：岐阜県立下呂温泉病院、北本市新庁舎・児童館他



ANA長崎コールセンター



松本　裕之

1985年生まれ
大阪事務所 構造部担当

主要実績：大阪府立精神医療センター、新大阪センイシティー他



チュチュアンナグループ本社ビル（工事中）



宮武　慎一

1982年生まれ
大阪事務所 設計部主任

主要実績：堺地方合同庁舎、神戸大学工学部先端膜工学拠点（工事中）他



hu+gMUSEUM



尾杉　友浩

1982年生まれ
東京事務所 設計部主任

主要実績：国際医療福祉大学三田病院、加賀電子本社ビル他



北本市新庁舎・児童館

コーディネーター



安田　拓矢

1969年生まれ
東京事務所 構造部主幹

主要実績：東大阪市総合庁舎、神戸大学医学部附属病院第一病棟、六甲道駅南地区再開発事業、大阪大学中之島センター、東京国際空港新管制塔他

ザインとは、安全にガチガチに建物を建てるのではなく、いろいろな人のいろいろな分野の意見を取り入れてバランスがとれたものだと思っています。

安田　構造設計としていろいろな人の意見を聞いて完結するということですか。

寺田　いろいろ聞き入れて、最後に構造を決めるのは構造設計という意味です。

馬場　建物の構造に意思を与えるというのは、構造設計者だけだと思います。構造デザインとは、いいものを作り出すために、時にはコラボをする行為なのかなと思います。

安田　他分野の設計者とコラボレーションしながら作り上げていくプロセス全体が構造デザインということでしょうか。では意匠設計者から見た構造デザインとはどういうものでしょうか。

尾杉　われわれが設計するのは規模の大きい建物が主ですが、小さい建物、個人住宅などは構造設計者の力を借りなくても、意匠的には面白いものができるのかもしれません。鉄、RC、木など使わずにガラスや紙を構造体とした建築などがあります。大規模な建物になればなるほど専門性を帯びてくるので、構造設計者の力を借りなければならない。例えば刀を作るように鉄を叩いて不純物を除くように、互いに戦うプロセスの中で意見を重ね合わせるのが、構造デザインであったり、意匠デザインというのかなと思います。

安田　十分に意見を重ね合わせて生まれたものが構造デザインではないかと。構造設計と構造デザインの違いという点では、足立君どう思いますか。

足立　実際やっている作業的なところは、どちらかというと構造設計的なところかなと。構造デザインとは、たとえばちょっとした庇の先端の半先の鉄骨をそろえるとか意図をもって見え方を気にしたりして、自分的に満足できるのものであればデザインと認めていいのかなと思います。

安田　自分が満足できるかどうかが構造デザインのポイントということですか。

足立　人に説明するのに自分がまず満足できないといけないなと思っています。中途半端なものを出して説明するのではなくて。

安田　構造デザインというと構造設計とは違いがあるように思います。みんなから出された好きな建築作品をみていると、構造材でありながら外装材であったり、柱は柱としてのみ存在するのではなく空間に融合している。そういうものが好まれていたような気がします。構造設計と構造デザインの違いについて意匠の宮武君はどう思いますか。

宮武　むずかしいですね。ちょっとしたアイデアや変化でよくなるということがありますが、そういうものを一生懸命考える行為がデザインなのかな。ひとひねりして豊かな空間を作ろうとする意思だったり行為がデザインなのかなと思います。

松本　安全性を担保するための力学的な構造計算が構造設計で、構造デザインは空間の質を下げずにいるにはどうすればいいかを考えることだと思っています。

安田　「空間の質」を具体的に言うと、どういうことでしょうか

松本　具体的にとなると説明が難しいんですが、ボリューム感とか透明感のある建築とか、１枚のパースといった抽象的なこともそうです。

大氏　構造設計は構造目的のためだけに設計するのかという話があって、おそらくみなさんそうではないと思っていらっしゃる。完成物に対しても構造に求められるものがいろいろあって、もしかしたらデザインではなく徹底的に合理的に作ってほしいということがあるかもしれない。こうした目的に対応することが構造設計、構造デザインであると思います。昔は構造デザインという言葉はあまり使われなくて、最近構造デザインという言葉が頻繁に飛び交うようになっている。意匠設計側も一つのアイテムとして頼りたくなる面もあるのかなと個人的には思っています。ただそもそもデザインが意匠と構造が分かれて議論されているのはあまり面白くない。空間に対してどのような価値を与えられるかということに対して、使う人が最も快適な状態で使ってもらうために意思を形にするのがデザインだと思います。ここで構造が役割を果たすことができることがあれば、どのような形であってもそれは構造デザインであって、事例としては時に構造が隠れることが果たす役割なのかもしれないし、あるいは安くあげることがそれかもしれない。

話が変わりますが学生にデザインに関して話をする時に、１つは感性、もう１つは知性が作用することがあります。構造でデザインに関与する機会があると、実は知性に訴えかける部分を一生懸命考え出すんですよ。だけど、長い時間存在し続ける建築は感性と知性が寄り添っているものだと思います。言い過ぎかもしれないけど知性は主に経済性、合理性、歴史。感性は直観なんだと思います。その両方を備えるべきが建築ではないかなと。建築を設計するときにも常にこの２つが寄り添うようにするところが基本にあるのかなと思っています。

大氏　でも多くの場合、意匠側から感性面が提案され知性面は構造側は重視するんですよね。両者は戦うものではなくて、おそらくはいかに一致させるか。一致させる過程において、議論を戦わせることはあるとは思いますが。最終的に両立させるための時間とプロセスを準備できるかが、設計事務所としては大事なのでは。

安田　構造設計者が感性寄りの場合もあるかもしれませんが、その場合はどうでしょうか。

大氏　目的とする完成物によりますが、至る過程は一つではなくてよいと思います。少なくとも与えられた状況下で最適なものをどう出すかということです。

安田　構造デザインの定義とは、もとより明確なものではないかもしれませんが、知性だけではなく、感性や意志が入っているものがそうなのかもしれません。はたして意匠設計者は構造設計者が強い感性や意志を持っていることを

望んでいるんでしょうか。

尾杉　建築の中で、人間で言えば構造は骨で、肉とか皮膚は建築で設備は血液みたいなものにたとえられるんですけど、三者のクオリティが高ければ高いほど、お客さんの要望に応えられるし、さらに要望を越えることができると思います。そこで何が必要かというと、感性・感覚的なものを共有することだと思います。

大氏　昔、構造事務所が受託者になって設計ができるかを試みたことがあって、建築家に形式的に下請けに入ってもらってやったことがあるんですよ。最後にわかったことは、皆さんに設計料を支払うと僕のところにお金が残らなかったってことですね。(笑)

話がそれましたが大事なのは、最終商品として建築物を建築主にお渡しすることであって、中で意匠だ、構造だ、設備だと縄張り争いをやっても仕方ない。外に向かって商品を提供するという発想からすれば、それをどうやって中でいいものにしていくかということなんです。なかなか時間がないので、合理化しないといけないんですけどね。

馬場　構造設計をやっていると、顧客と接することがあまりないため、顧客が本当に求めているものが何か知らないうちに終わってしまうことがあります。そういうのが共有できれば、もう少し違うものができるのかなと思います。

尾杉　うちの事務所では、意匠が構造も設備もまとめるところがあるので、直にクライアントに会うことがあまりないんですけど、先生がおっしゃったように構造も設備も自分がこのプロジェクトをまとめるんだみたいな気概を持つような人間が増えていけば建築の純度があがるのかなと思います。

大氏　社会が求めてきた経済性重視で、合理性を追求するとどうしても分業してスピードをあげなければならない。けどこれまでの資本主義が今若干揺らぎ始めてる。違うことを模索できるチャンスではないかと思うんですが。

大氏　大手設計事務所では構造設計の人が顧客と直接接することはないんでしょうか？

宮武　ありますよ。構造だからコンセプトを共有しづらいということはなくて、あるとしたらそれは人の問題なのかな。構造設計者でも打合せに出ていなくても意匠のこともお客さんのことも理解してくれている人はいます。自分がどう責任をもってプロジェクトを進めるかなんでしょうね。構造デザインが最初にでてきましたが、どこかで意匠と構造の境界線を省きたいというところがあって、いったん同じ土俵に何人かの人間が上がって一つのことを考えていく中で、この部分はだれだれが得意だからやるというスタンスで、それがたまたま構造部の人間は基本的には構造計算ができるからその部分を受け持ちしましょうということであって、いったん同じ土俵に上がった以上はプランの部分に口を出すことがあってもいいでしょうし。

構造デザインというあいまいな言葉が出てきたのは、境界線を取り払いたいという願望が大きいからなのかな。もちろんそれに向かって努力をしないといけなんですけど。

構造デザインのために

安田　構造デザインは構造だけでできるものではなく、意匠との関わりが重要になります。これからは、構造デザインのための構造と意匠にかかわり方について話していきたいと思います。設計プロセスを時系列でみたとき、構造デザインがどういう時に生まれやすいだろうか。設計のかなり初期の段階か、煮詰まってきて知恵を貸してほしいときか。意匠としては、構造にどの段階で入ってほしいと思いますか。

尾杉　建物のボリュームを決めるときですね。いろんな構造方式が可能性としてあるでしょうから、意匠が考えている以上の可能性をひろげてほしいですね。最初のボリュームが決まった時点で相談することによって、より豊かな空間性を目指して伸びしろをどんどん増やしてほしい。それが僕の構造設計者への要望です。

安田　実際には、コンペやプロポを除いて、建物のボリュームを考えている段階で構造と意匠のやりとりは少ないかもしれません。構造設計者もこのあたりに関わりたいと思っているのではないでしょうか。

足立　今のように基本設計から入っていくと形も決まっていて、融通も利かないので、もっと早い段階でやってみるという経験もしてみたいです。

渡辺　僕は３年目なので担当した物件はまだ少ないというのもあるのですが、関わった時点でシングルラインの図面が出てきたことはないですね。あとになってこんなものできないと言う方も言われた方も困りますし、コンセプトの段階で一緒に作っていくのが一番いいのかなと思います。基本計画の前から設計者のひとりとしてかかわりたいですね。

馬場　構造には平面図ができた段階で持ってこられるので、もっと前の段階で柱割の提案などもやっていきたいと思います。

安田　試しにかなり早い段階でお互い関わってみるというのはあるかもしれないですね。

宮武　意匠からすると遅い段階で来ても何か提案してほしいという思いはありますね。スパン替えてもそれでいいものができることもあるし。

安田　構造も待っているのではなくて、自分からやらせてと言ってみるくらいでもいいのかもしれません。それではその関わり方について、意匠から『こんなのできる？』と問いかけがあったときのシチュエーションを単純化したA〜Cのケーススタディでみてみます。

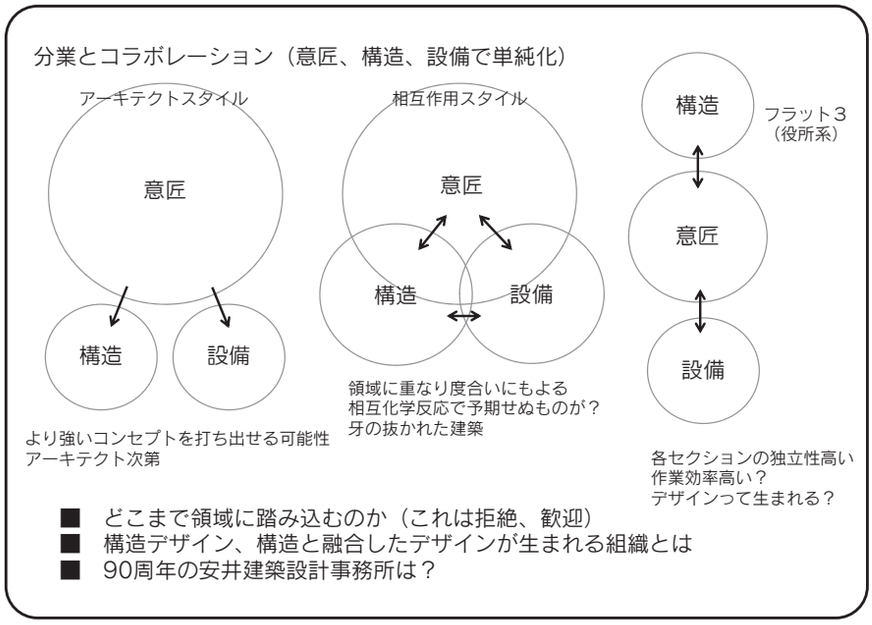
みなさんはどの対応に近いですか。また望ましいと思いますか。



トークセッションには、富山大学の学生も参加

A.『もちろんできるよ』
　合理性はともかく、意匠設計者の思う通り忠実に実現
B.『こうゆうやり方もあるよ』
　意匠設計者の意図を考慮しつつより合理的な案を提示
C.『むしろこうしないか』
　意匠設計者の案を参考に更なる展開を提案
　（もしかしたらコンセプト変わってるかも。でもけっこういい）

シチュエーションパターン



組織のスタイル

足立　僕はむしろこうしないかと言うほうですね。

尾杉　言われているのは僕なんですけど。
（全員笑い）

宮武　「むしろこうしないか」を望みます。より良くなるなら変えてもいいんじゃないかな。ものすごく大事な核心は変えないところはあるのですけど。

大氏　実務者レベルでいうと、「むしろこうしたら」というアイデアは数多くあるんですけど、言ったらかなり大変なんですよ。多くの場合において自分で自分の首を絞めることになりますからね。

宮武　組織設計事務所なので構造設計者がどんどん提案したいと思える意匠設計者にならなければならないなと思いますね。

寺田　私も３年目なので実施設計から関わっているんですけど、プランを見ていてたまにこっちの方がいいと持っていくと、時間もないしといわれてしまいます。

安田　それは構造の上司から言われるのですか

寺田　そうではなく意匠の方に言われるんですけど（笑）。お客様に説明したからこのまま進めないとだめだからと。

安田　現実的に難しい局面はあるけど、みんなCでいきたいし、Cのようにあってほしいという意見が多いように思います。実現するには初めに議論したその関わり方の適切な時期というのも強く関連しているようです。

最後に分業とコラボレーションの形について少し考えてみます。意匠、構造、設備の専門的な設計分野を考え、組織のスタイルをいくつか想定してみます。もちろんほかにもあると思いますがみなさんはどう考えますか。

尾杉　建築家、構造家という立場の人と我々組織設計の場合、設計部、構造部の違いで、どちらかというとアーキテクトスタイルが建築家、構造家のスタイルのものかと思います。我々はどちらかというと、相互作用スタイルなのかなと思います。仕事が受注できた段階で各部署が動けるんですよね。構造が設備の話をし、意匠の話をするけど、設備は絶対意匠や構造に負けてはいけない。万能になりつつも、自分の専門分野を強くしていかなければいけないという意識があるんではないでしょうか。

安田　それでないと組織の意味がないですよね。

尾杉　組織だからこそ、他の分野も一般のレベル以上に知っていないといけないとも思います。

宮武　アーキテクトスタイルってもっとお互いに重なり合っているのではないでしょうか。有名建築家は構造の意見をよく聞いて融合して自分の形を実現しているんだろうし、実はもっと重なっているのかな。組織設計事務所はむしろ重なりがうすいのではないかと言う気がして。

松本　それぞれの領域が重なっているようで実はあまり重なっていないのではないかと思います。もっとかぶる必要があるのかなと思います。

渡辺　絶対的なリーダーのアーキテクトの人が、構造と設備の専門的な意見を聞きつつ、最終的なかじ取りは全部おれだと覆いかぶさっているイメージなのかと思います。

宮武　本当にアーキテクトは絶対的なリーダーなのかな。アーキテクトほど実は構造や設計の意見をよく聞いていい建物を建てているように思うんだけど。

大氏　どちらでもいいと思うんです。それよりも、僕の場合は先に構造模型を作って提案するんですよ。こんなのどうですかと。まあ、提案してもダメなときもよくあるんですけどね。それは関わり方だと思うんですよ。建築家の方でも構造担当者の話を聞かない人、聞く人いろいろですからね。体制もその時その時で良ければ形にこだわらなくてもいいんではないかな。

安田　「構造デザインとは」というテーマについては、もとより何らかの結論を導くようなものではないのだと思います。富山の地で大氏先生にご参加いただき、若手の設計者が構造デザインについてじっくり考えてみたということ自体が、今後のみなさんの構造デザインのために有意義なことであったのではないかと思います。

2014年10月９日
富山大学にて



U-35の視点

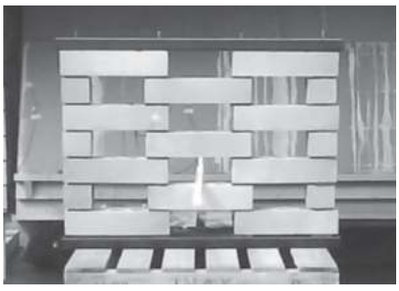
20年、30年先も心地よい環境を目指す

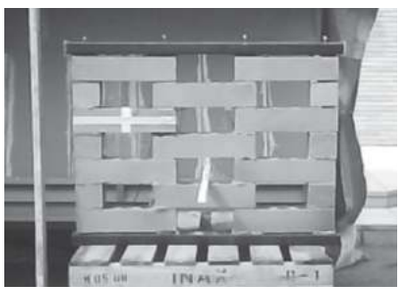
立命館大学理工学部建築都市デザイン学科の近本智行教授と弊社環境・設備部のU35社員によるトークセッションです。近本先生は、設計事務所で約10年間設備の設計に携わられた後、大学にて環境と共生可能な建築や都市のデザインなど、低炭素社会構築に向けた研究を展開されています。
セッションは、自己紹介代わりにU35社員たちの設計事例と取り組みを紹介し、はじまりました。近本先生からは事務所時代の設備設計者としての貴重な経験と、現在の研究者・教育者という立場から、若手に向けての貴重なアドバイスとメッセージを頂いたセッションとなりました。

アイデアの実現に奮闘する

近本　私は大学に入るときは航空工学科に行きたいと思っていました。それが３年生から建築に入り、気がついたら博士号までどっぷりとつかっていました。その後、10年間設計事務所で、設備設計をやっていました。一方で大学と共同研究したり、また国際共同研究で海外に行ったりなども多く、その時のネットワークが今も生かされているように思います。ところで設計ではなにかしら面白いことを思い浮かべても、実際に導入することは簡単ではないですね。採用したはいいがその効果が発揮されない。設計と同じ労力を竣工後にも使っていたように思います。毎月のように竣工後の物件へ行き、エネルギーの状態、不具合箇所を確認しながら施工者と一緒にどうやって直すか考えていたように思います。クライアントは使いやすいものを作ってほしいと思っているのに、使いづらいものになってしまうことだってあります。いいものを作るとは別に、クライアントの求めているものが他に存在している。それに気づくのに結構時間がかかったなと思います。苦労していろいろなことをやりながら、一方で後から実証しつつ、「あー、こういう風につくればよかったんだな」といつも思い返していましたね。
みなさんの作品の説明を聞きながら技術開発テーマを持って、それを実証されながら設計をされているのはいい心がけだと思いますし、感心しました。







某庁舎レンガ蒸散冷却モックアップ実験

fig7.　左：通水可視化試験モデル
　　上：可視化試験状況
fig8.　右：1ユニットの実大モックアップ
　　（上：乾燥、下：湿潤）

福谷　昔はなかなかCFD（流体の数値解析・シミュレーション）に手間もかかるし、時間もかかる。まともなメッシュを切ると納期のタイムリミットが来てしまうなどハード側の問題も抱えながらやっていたんですけど、近ごろはわりと力技で出来てしまうというところがあるかもしれませんね。

河内　400万メッシュが普通にありますね。

近本　それはみなさん自身が自分でやられるんですか？誰かに依頼されるんですか？

河内　どちらかというとやれとお願いされます。

（全員笑い）

近本　それはいいですね（笑）。研究室でももちろんCFDを使ったり、その他シミュレーションをするんですが、結果を判断する能力を身につけることが重要だと学生には言っています。こんな結果が出ましたと、すっごく落胆したり嬉しがったりして私のところに来るんですが、どう考えてもおかしいだろうと。じゃあなくて手計算ではどうだと。われわれの時代は意匠の設計者との打ち合わせの時には、その場で電卓ではじいて、ここはこうやった方がいい、ここは無理だ、というような会話をしていました。その場で答えを出さないと大体は流れてしまうところがあったので、ある程度の数字は頭にいれておいてその場ではじいていました。CFDを動かすのは全部形が決まった後からの方が多かったです。一方で１日かけてアクリル模型でドライアイスを用いて、風がどう流れるかを実験して、「これはだめだ、じゃあ、ここに壁をつけたらどうだ」などやって、その結果をビデオに撮って、こうしてくださいと言ったこともあります。それはその瞬間で納得してもらえた。これをCFDでやったら３，４週間かかったろうなと思います。

和泉　風のシミュレーションくらいだったら一晩あれば十分ですね。

近本　時間の感覚がわれわれの時代と違いま

ゲスト



近本　智行

1966年生まれ
立命館大学理工学部建築都市デザイン学科教授
立命館サステイナビリティ学研究センター

1994年　東京大学工学系研究科博士課程修了。博士（工学）。1994年日建設計、2003年 東京大学生産技術研究所研究員（兼任）、2004年 立命館大学理工学部助教授、2009年 同教授、現在に至る。

U-35メンバー



三宅　弘祥

1983年生まれ
大阪事務所 環境・設備部主任

主要実績：堺地方合同庁舎、八尾市立八尾図書館・青少年センター他



市民交流プラザ
ふくちやま



河内　悠磨

1986年生まれ
東京事務所 環境・設備部担当

主要実績：東京国立博物館正門プラザ他



アースサポート株式会社
本社ビル



和泉　光紀

1984年生まれ
大阪事務所 環境・設備部担当

主要実績：大阪府立北河内地域支援学校、精華聖マリア幼稚園他



伊丹産業カーズ ボルボ・カー神戸



石﨑　紫乃

1986年生まれ
大阪事務所 環境・設備部担当

主要実績：パナソニック㈱エコソリューションズ社京都ビル他



hu+gMUSEUM



北川　雅大

1983年生まれ
東京事務所 環境・設備部主任

主要実績：和歌山地方・家庭・簡易裁判所庁舎、福島県庁北庁舎（工事中）他



中野区立中野中学校

コーディネーター



福谷　周

1972年生まれ
大阪事務所 環境・設備部主幹

主要実績：岡山県立図書館、鹿児島中央駅ビルアミュプラザ鹿児島、熊本地方合同庁舎A棟、東海関電ビルディング、大阪ステーションシティ・サウスゲートビルディング他

すね。

福谷　建築自体が３次元で作られてやってくるので、それに境界条件を与えるくらいであればですね。以前は与えられた形が設備環境的にうまくいくかどうかの検証でしか使ったことがなかったんですが、今のハード・ソフトならこちらからこうあるべきだという形を意匠に投げかけることも出来ますね。

近本　CADからBIMにかわって、それがずいぶんと滑らかになってきたなと思いますね。出てきた結果をどう判断するかということは大事ですが、我々が電卓で勝負をしていた時よりははるかに有効な勝負ができると思います。意匠のデザイナーが一緒に考えてその場その場で答えを出していく。次の日には形が変わっているというのはよくある話ですので、それにうまくタイムスケールを合わせて検討するなど、今は選択肢があって面白いですね。

福谷　河内君が説明してくれた庁舎の煉瓦のアイデア（煉瓦ブロックによる蒸散冷却）はどこからですか？

河内　似た発想の環境ファサードの設計・施工に携った経験のある技術者らと共同で開発しました。以前にも検討したことがあったんですが、その時は実現しなかったのですが、今回はそのリベンジとしてこれを考えました。最近ファサードに水を流すというのは多いですね。外に対する効果はあるのですが、内側に対する空調エネルギー削減効果が少ないのが、少しジレンマですね。

近本　そんなことはないですよ。表面温度がそのままダイレクトに室内負荷を下げる構造になっていれば、うまく室内負荷を下げることができます。BKCのトリシアという建物の緑化壁（信楽焼タイルの製造技術による外壁冷却タイル）も純粋に外壁として使うイメージで、緑化が終わってしまえば水を撒く必要もないですからね。水を撒くのが最初の１年か２年で終われば、くらいの感じですね。

河内　企画中もその量の水をドライミストに使った方が、効果があるのではないかという話がありました。

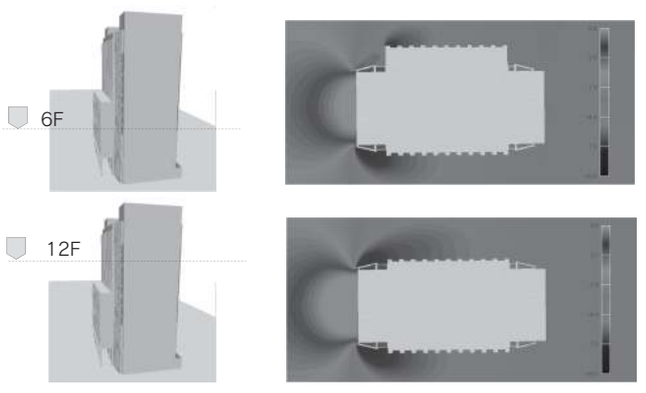
近本　答えは一つではないと思います。その建築がこれからどのような姿を見せていくのかというところでいろいろな表情が生まれていくと思います。そういう意味では、建築は寿命が長いのに対し、われわれの考える設備の寿命は一瞬というところもあります。どういうタイムスパンでその建物が都市に対して表情を見せていくのか、そのなかで生活される方がその建物をどう感じられるかと考えると難しい気がしますね。建物の寿命が、建てる前にわかればいいんですけど、建てた後に変わることもあるのでさらに難しいですね。

三宅　私が発表しました庁舎の自然換気換気システムは、昨年の春に竣工したんですが、竣工後の運用結果を評価をするために、棟内に風速計を入れてはいたんです。だけど、その風速計のレンジでは測りきれない時間帯がありました。これは実際運用してから分かったことなんですが、このとき検証の難しさを実感しました。

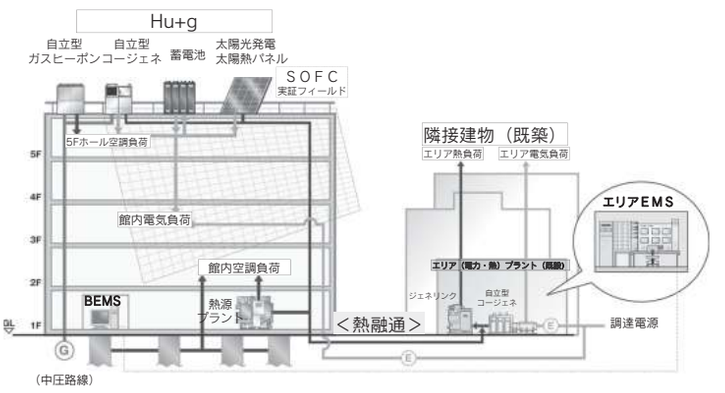
近本　私も自然換気の設計をしていた時に思ったんですけど、運用者が使ってくれない場合、どうやったら使ってくれるんだろうと思ったりしませんか。

三宅　強制的に中間期の外気条件がいい時に使うと言われていたんですが、確かに中におられる方が参加して、一緒にできればよかったなと思いました。

近本　換気口を見せた方がいいのか、それとも隠した方がいいのかと悩んだことがあります。隠した方が自動制御で動かしていて違和感がないんですけど、見せた方が環境負荷を減らしているという意識づけになりそうです。窓があいているとそのことのよって室内環境が多少劣っていても、それを許容しようという「アダプティブ」という概念がでてきます。許容しようという意識が働くのを利用するというのも一つ



某庁舎エコボイド風圧力CFD



某ミュージアムのスマートエネルギーネットワーク

ですね。

石崎　先ほど建物に対する付加価値をつけていくところと凝れば凝るほど、運用を始めた後で不具合が起こりやすくなるとおっしゃっていたんですが、全くその通りで、そこの落としどころを毎回見つけに行くところがなかなか難しいなと感じています。

近本　どのようなことをやりたいのですか？

石崎　そこのところも悩みどころで。便利に使ってもらうことを考えると新しい技術を取り入れるのは難しいですね。お客さんの財布事情もありますし、突飛なことをするのもかなり恐怖で。どうすれば次のステップに飛び込めるのかなと思いながら毎日います。

近本　仕事も増えます。けどそういうことにチャレンジされることはすごくいいことだと思いますよ。うまくいけばもう一回使えると思うじゃないですか。でも使わないんですよ（笑）。建築やっている人ってどうしてこうも大量生産に向かない頭をしているのか、わからないですね。前の経験を活かしながらも、また新たなことをやるんです。

河内　一つやったら次を思いつき発展していく。そういうのもまた面白いですよね。

近本　量販モデルをつくるという思想があればいいんでしょうけど。

河内　それがうまく行ったら量販されるんでしょうけども、それがなかなかうまくいかない。

福谷　右倣えにはならないですね、だから毎回毎回なんか悩み事は出てきます。お客さんが違うというのもありますしね。

和泉　私も悩み相談になってしまうんですが（笑）。情報が世の中たくさん出ていて、お客さんの方もいろいろな情報を持っておられて。あれもある、これもあるってことで、新しい技術を、既存の技術と比較検証して検討していくのですが、お金や実績がないということになり、結局汎用品を使った同じようなもので終わってしまうんです。そういう新しい事へのチャレンジの難しさを感じています。先生が設計されていた時、新しいものを入れるときなんかは、どのようなやり方だったのですか？。

近本　早いタイミングでやっていかないとね。基本設計が固まった段階では何もできないですね、基本計画の段階でコンセプトの中に盛り込んでもらう。コンセプトの中に盛り込んでもらうには意匠の方にどれだけその気になってもらうかが大事です。

意匠設計との協働について

近本　そういう意味で是非お聞きしたいのですが、今の若い方々は意匠設計の方とどういうふうに接しておられるのですか？

和泉　残念ながらある程度意匠の形が出来ていて、「じゃあ、設備こんな形ね」って、いきなりポンと見せられることも多いですね。プロポーザルなどは構想段階から入ったりしますが。、意匠設計者とは絶対数が違いますから、設備設計者は、構想段階でかけられる時間がなかなかとれないというのが、実際あるような気がします。

近本　意匠の設計者も、みんながみんなスーパーマンにはなれなくて、アイデアに枯渇している部分があるので。そういったところで気軽に声をかけられるような関係を持つと「面白いこと言ってたよね、ちょっとやってみない」とか、「何かネタない？」といった関係に発展することはあるかなと思います。

福谷　普段の中でちょっと飲みに行くとか、そういう関係を持っていると話しやすいかもしれませんね。

近本　基本的には設計者は、面白いアイデアと思ってくれれば一生懸命時間をかけてくれます。一方で夜中呼び出される。例えば、８時９時、ありませんか？

河内　８．９．10時までは定時ですので。（笑）

和泉　終電間際に言われたらどうしようかなと思いますね。（笑）

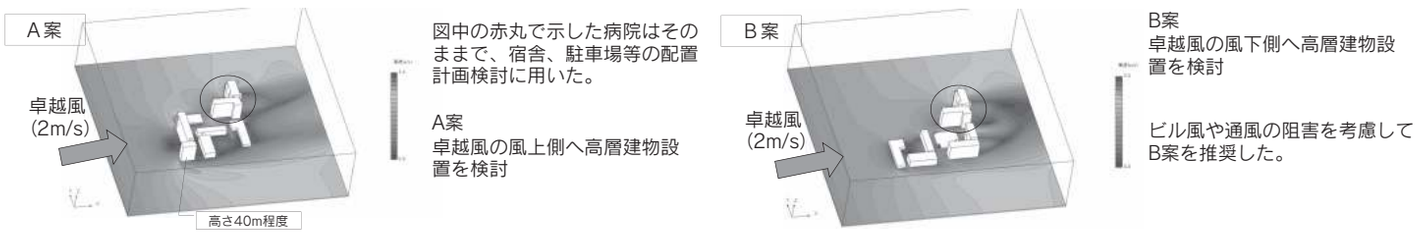
近本　意識を共有されているところが一番のきっかけかなと思います。

福谷　新しいものをお客さんに提案しようと思うんであれば、まずは社内を説得しなければいけないとう事ですね。

北川　学校は建築学科の設備だったんですけど、会社に入社してからは電気設備をやっています。電気設備は移り変わりが激しくて、新しいシステムがいろいろ出てくるのでそれを把握していくことが楽しいかなと思っています。ただ、環境や省エネ対策というと結構決まったパターンが多くて太陽光であったり照明制御であったりとか・・・。そのあたりが自分的にはいろいろ考えて提案したいんですけどなかなかそこまで出来ていないですね。

近本　先ほどおっしゃっていたんですけども、使いやすいものを使ってもらうというと、電気設備設計者が一番ユーザーの真近に来ていると思うんです。電気製品を作るわけではなく少し勝手が違うかもしれませんが、運用側に立って考える電気設備設計は非常に重要に感じますし、建築学科から電気設備設計者を輩出するというのは大事だと思っています。私の研究室からも電気設備設計をやっているという卒業生が何人か出始めました。電気設備設計者にも一級建築士の資格と取らせるためには、建築学科を卒業した学生を採用するのが、学力的にも受験資格的にもはるかに有利であることがわかってきました。企業に聞いてみると建築出身の電気設備設計者を採用したいという意見が出始めてきたので、立命館大学でも電気設備の科目を建築学科の中にいれました。この流れは非常に強いですよ。建築を知っている電気設備設計だと意匠設計とで建築談義が今までよりスムーズに出来るということですから、期待出来ますね。

北川　私は２年目の時に電気にコンバートされたんですが、引く手あまたということですね（笑）。



某病院宿舎等の形状によるビル風検証

福谷　電気も建築的なデザインセンスというか、そこが強いというのはいいですよね。

近本　天井伏せは最初は電気からおこしませんか？

北川　そうですね。以前、食堂で照明器具をまだらに並べた天井伏せを電気側で提案したんですよ。その時建築やってる実感がありましたね。達成感がありました。会話が成り立って。

環境教育は早くから始めるのががよい

河内　環境対策を採用してくれないという話があったんですが、そのソリューションの一つが環境教育なんだろうなと感じています。子供たちに環境対策をするということがいいことなんだ、という価値観を持ってもらうというのが大きな意味があると。環境対策に対して、地球を思うという価値観では採用してもらえないことも多々あるのですが、子供のころから地球を守るとはいいことなんだという価値観を育てることが大切なんだと。これは我々の務めで、大切なことだと感じますね。

近本　我慢の省エネは絶対に成り立たないと思っていて、さっき換気口を見せるのか、見せないのかという話をしましたが、見せないでただ単に温度が少し上がった、湿度が少し上がったというときに、空調してるのかな、してないのかなと思うよりは、開口があいていて、外の空気が入っているんだと思わせることで、28℃、29℃でもそんな不快ではないと思わせるくらいの方が良いのかなと思いますね。実際統計データとしても開口があいていると感じ方が少し違うと結果があります。われわれも人体がどのように生理反応をおこしているのか、心理反応との違いを研究していますが、周辺環境が一定というよりはちょっと変えてあげる方がいい場合もありますね。そういうこともあるから、夏に26℃湿度50％にしないといけないということはないと思っています。それが意識的に自発的に動いてくれるくらいが本当はいいんではないかと思いますね。頭ごなしに教えてもだめなんですね。環境にやさしくやっているというリストと環境の知識のリストと両方アンケートをとっても関係性がないんです。環境の知識が高まっても実施するという項目とは全くリンクしないんですね。

福谷　家でも嫁に電気消せ消せと言われていますね。嫁はこまめに消すけど僕は一切消さない。

（全員笑い）

近本　そこが何か自発的に行動を起こすようなことを建築中に入れる。なかなか難しいとは思うんですけども。

北川　見える化はどうですか？

近本　見える化もそうですね、同じメニューが延々と続くようでは継続性がないですね。数日で飽きてしまう。データすら見なくなってしまう。

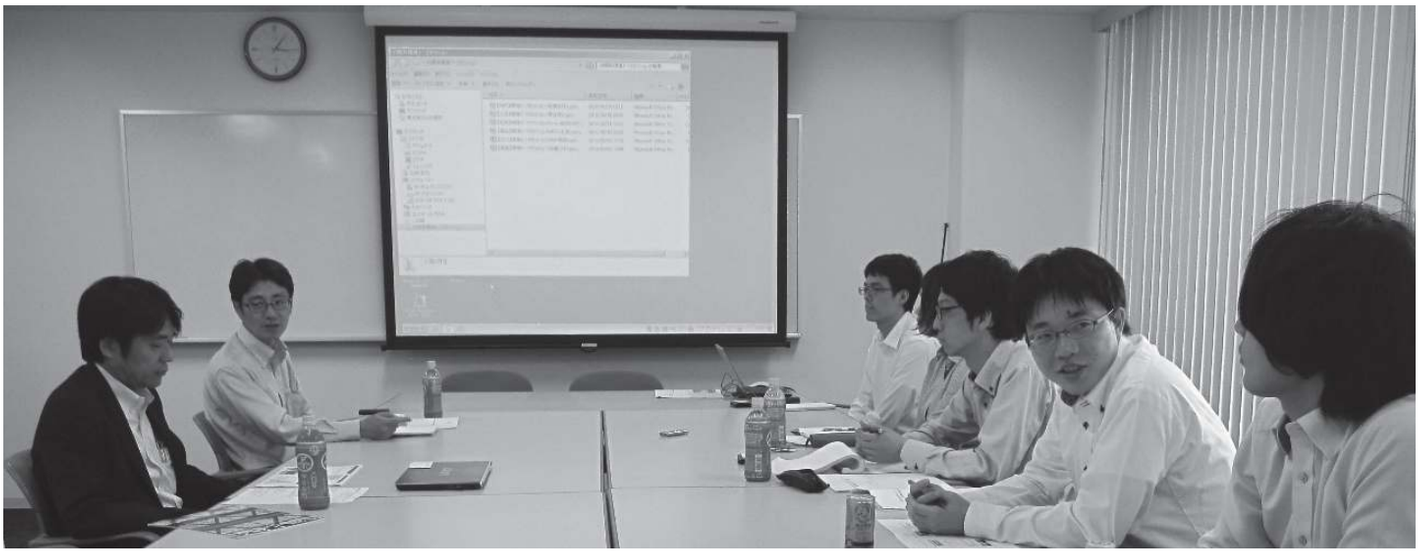
福谷　先生と話しているといろいろなアイデアがわいてきそうな気がしますね。５，６年働くとだんだんと保守的になってくるものね。クレームの数だけ保守的になる。

（全員笑い）

福谷　それでは最後に先生からU-35の設計者に求めるものがあればお願いしたいんですが。

近本　昔、ある先生に言われたんですけど、設計者は独裁者だと。私自身は設計の立場から退いていますが、設計は面白かったなと思います。自分の好きなことを仕事としてやらせていただき、モノづくりが形として見えるじゃないですか。中で暮らしている人に気持ち良さを与えるとか、美しさを与えるとか、あるいは街並みを作るとか、見えるじゃないですか。今はどちらかというと人を育てる仕事に従事していて、形として見えてくるまでには長いスパンがかかりますが、改めて感じるとモノづくりの世界はとっても面白くてわくわくして、そのモノづくりに対していろんな人が共感してくれる素晴らしい仕事だなと思いますね。一方で、自分の独りよがりになってしまうのはいけないことなので、自分のためにその建物を建てるのではなくて、中で仕事されている方や、暮らされる方々が、今、それから将来にわたって気持よく過ごしていくためにはどうするのかということを感じながら、20年後30年後のことも感じながら設計をしないといけないという、非常に難しい仕事だと思います。今、みなさん35くらいですよね、何でもできると考えていらっしゃると思いますが、本当にそうだと思います。是非みなさんアイデアをどんどん膨らませて楽しい仕事をして世の中に作品を残していただければと思います。

2014年９月27日
立命館大学びわこ・くさつキャンパスにて





安井武雄の作品をめぐるまち歩きツアーの様子
2014 年 11 月開催

安井流 まちとの関わり方

愛着を持って、活き活き暮らせるまちづくり

安井武雄が事務所を創設して以来、変わらない理念がある。
それは、顧客や社会に信頼される建築、そして、地域の人々に愛着をもって長く使いつづけてもらえる建築を丹念につくること。
その伝統は、事務所が所在する地域との関わりにも継承されている。地域の一員として、地域とともに、人々が活き活きと暮らせる地域づくり。まちづくりへの参加。
安井建築設計事務所は、地域・社会との関わりを大切にしながら、まちづくりに関する知恵の集約と新たな知恵の創出に意欲を注いでいる。







北大江地区まちづくり実行委員会



本社・大阪事務所がある北大江地区（大阪市中央区）では、「住み、働き、学び、遊ぶ、全てが快適な都心づくり」を目指し、住民や企業、行政、学校などの事業所、従業員等が協力し、さまざまなまちづくり活動が展開されている。
安井建築設計事務所もまちや公園の緑化清掃活動「花と緑のまちづくり」「人にやさしいまちづくり」などに参画している他、まち全体が音楽に包まれる秋のイベント「北大江たそがれコンサート WEEK」、大阪国際女子マラソンにあわせ地域の人との交流を深める真冬のあたたかいイベント「あったか北大江まち祭り」などに関わり、住民や企業の方々とともに地域の魅力向上にむけて活動している。





安井建築設計事務所オープンハウス



秋の「北大江たそがれコンサート WEEK」にあわせ、毎年「安井建築設計事務所オープンハウス」を開催している。地域住民や関係する企業の方々に、都市や建築を創造する過程での思いや眼差しの一端を披露し、設計事務所への理解を深めていただいている。時にはコンサートも開催。地域の方々との交流の機会になっている。７回目となる今年（2014）は『安井建築設計事務所の９０年』と題し、創業者・安井武雄、その事務所を継承し発展させた佐野正一（2014 年 3 月逝去）、さらに、新たなる展開を進める佐野吉彦の系譜を作品の写真やスケッチ、模型などで紹介した。



安井武雄の作品をめぐる。まち歩きツアー

[生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪 2014]

「生きた建築」を通して、一味違った大阪を感じていただく大阪市主催イベント。その一プログラムとして社長の佐野がガイド役を務め、高麗橋野村ビル、大阪倶楽部、大阪ガスビルの３つの建築を巡るツアーを開催した。
懐徳堂の碑や適塾にも立ち寄り、江戸期の大坂に集まるさまざまな情報が知恵となり発酵した街の土壌が、近代大阪の建築文化を支えていることなど、たくさんのエピソードとともにまち歩きを楽しんだ。





平河町ミュージックス



東京事務所（千代田区平河町）ビル 1 階、2008 年、ガソリンスタンドだった部分がインテリアショップ「ロゴバ」に生まれ変わった。
「明るく開放的な空間を生かし、地域に何か新しい価値を提供したい」そんな思いから、2010 年春、旧知の音楽好きと「平河町ミュージックス実行委員会」を組織して始めたクラシックを中心とした音楽会。公演後は演奏者とお客様との交流の時間もあり、リラックスして楽しめる。
「音楽文化の醸成」「会場を生かした前例にとらわれない演奏形態の模索」「まち・住民との連携」などを目的に、春と秋で年６回開催、今年 30 回を数える。地域の祭「山王祭」では神輿を展示、地域の歴史や文化を感じる機会にもなっている。
2011 年には活動が認められ「千代田まちづくりサポート（トライアル部門）※」の認定団体となった。

※（財）まちみらい千代田が公開審査

YASUI STYLE と社会とのつながり ～広報発信～



「YASUI STYLE」～安井建築設計事務所の歴史と将来にわたる “あるべき姿” を重ね、言語化し、社員としてマインド共有するための活動概念 / キーワードであり、ビジネスガイドライン（2012 年制作）のタイトルでもある。2013 年には、WEB に「YASUI STYLE」や「TODAY!」というコーナーを開設し、作品や社会との関わり “安井の今” を発信している。
このような発信も含めた広報活動は、設計業務と同様に重要な位置づけとし、積極的に取り組んでいる。企業が「社会と良好な関係を築いていくこと」は、社員が心得る意識として欠かすことのできない時代になっている。特に建築が社会基盤の１つとして重要な存在であることを認識しながら、これからも事務所の「理念」として継承されるものである。

謝辞

安井建築設計事務所９０周年特集がまとまりました。諸般の事情により、特集企画のスタートが遅れ、この盛夏からようやく企画を開始することとなったため、わずか４カ月あまりの企画・編集作業でした。タイトな日程ゆえに、ご協力願った方々には大変ご迷惑をおかけすることとなりました。
「建築家三代の系譜」の扉の言葉として格調高い論文を書いていただいた石田潤一郎先生。社長の佐野と対談していただき、アートとまちづくりに関して熱く語っていただいた森 司様。当社U‐35 世代社員とのトークセッションに参加いただき、将来を担う若手社員に有益なアドバイスを数々頂戴した、山下哲郎先生、横山俊祐先生、大氏正嗣先生、近本智行先生の４人の先生方。
どなたも、それぞれにご多忙な日程を調整し、各企画に参加していただいただけでなく、最終の原稿の校正に至るまで、詰まった日程の中、ご無理を申し上げたにもかかわらず、快く協力していただきました。この場を借りて心より御礼申し上げます。
また、この特集を協賛の形で支えていただいた、各企業の皆様にも御礼を申し上げねばなりません。どちらの企業も広告宣伝費の緊縮化が図られている昨今にもかかわらず、協賛のお願いに応じていただき、本当にありがとうございました。
そして、社内のスタッフの努力にも感謝します。通常業務の間に特集企画の立案から実施、原稿執筆、校正と数多くの時間を割くことになっても、積極的に取り組んでもらったことに感謝と敬意を表します。本当にご苦労様でした。
最後になりましたが、編集作業にあたった方々に御礼を申し上げます。対談の編集を引き受けていただいた塚田恭子様。編集全般を担当した建築協会事務局の皆さん、とりわけ片山和代さんには、通常の編集作業の上に、トークセッションの原稿起こしが４つも集中して、過重な作業を強いてしまうことになってしまいました。感謝と同時に大変申し訳なく思っています。
おかげさまで、無事発刊できますのも、上記皆様方のご尽力の結果です。重ねて御礼申し上げます。

設楽 貞樹
株式会社 安井建築設計事務所　常務取締役執行役員
一般社団法人 日本建築協会　副会長

編集に携わったスタッフ

足立幸多朗	栗山純子	松本　猛
新井　匠	小林陽一	松本裕之
石﨑紫乃	近藤良彦	三宅伸幸
和泉光紀	瀬崎康平	三宅弘祥
上野山貴嗣	高田英治	宮武慎一
荻窪伸彦	田村千春	宮永賛紀
奥　貴人	寺岡宏治	森　雅章
尾杉友浩	寺田絵美	安田拓矢
影林督論	中原岳夫	山浦晋弘
唐沢文茜	馬場勇輝	山本勝彦
河内悠磨	原　康隆	山本善宏
菊池浩輔	福谷　周	吉田正行
北川雅大	藤田昌宏	渡邊　祥
清原健史	古川恵里	
楠　敦士	間渕一博	

安井建築設計事務所
www.yasui-archi.co.jp
本社・大阪事務所
〒540-0034 大阪市中央区島町 2-4-7
Tel.06-6943-1371
東京事務所
〒102-0093 東京都千代田区平河町 1-3-14
Tel.03-3261-5101
名古屋事務所
〒461-0001 名古屋市東区泉 1-10-23
Tel.052-961-1861
広島事務所
〒730-0051 広島市中区大手町 2-1-1
Tel.082-243-8056
九州事務所
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前 3-2-1
Tel.092-451-2651

528

法令コーナー

空き家対策を総合的に推進

ー京都市空き家の活用、適正管理等に関する条例ー

寺澤昌人

京都市都市計画局まち再生・創造推進室空き家対策課長

平成26年７月、総務省は平成25年住宅・土地統計調査結果（以下「平成25年調査結果」という。）の速報集計を発表した。全国の空き家は820万戸に上り、空き家率は13.5%で過去最高となった。

空き家の増加は、地域の防災や防犯、生活環境、景観などに悪影響を及ぼし、さらには、まちの活力の低下につながるなど、まちづくりを進めるうえで大きな課題となることから、全国的に社会問題化している。

京都市でも近年、空き家の増加は顕著であり、平成25年12月、「京都市空き家の活用、適正管理等に関する条例」を制定し、平成26年４月の条例施行に併せ、具体的な対策に取り組んでいる。

7軒に1軒が空き家

平成25年調査結果によると、京都市内の住宅総数は81万戸。うち11万戸が空き家で、北区と上京区の住宅総数に匹敵する。空き家率は、14.0%と全国平均をわずかに上回り、およそ７軒に１軒が空き家である。

現時点では、平成25年調査結果の詳細が明らかでないため、平成20年住宅・土地統計調査結果でみてみると、空き家率が最も高いのは東山区の20.3%、次いで北区16.8%、下京区の16.0%と続いている。

種類別では、別荘等の二次的住宅が6.5%、賃貸用52.1%、売却用6.6%という結果であった。親からの相続や転勤などによる「その他空き家」は、34.8%、3.8万戸である。

こうした不動産市場に出ていない「その他空き家」の割合が主な政令市の中では京都市が最も高く、７割以上を戸建て、長家が占めるのも本市の特徴である。

売却や賃貸に出ている限りは、最低限の物件管理が行われる可能性があるが、市場に出ていない空き家は、管理がいきとどかず腐朽、破損が進み、周囲に危険を及ぼす可能性が高まる恐れがある。

京都ならではの条例

京都市では、昭和48年ごろから住宅総数が世帯総数を上回り、それに伴い空き家率も右肩上がりで上昇している。危険建築物の通報も平成18年度の約50件から平成25年度には３倍の約150件に増加しており、危険建築物の８割は空き家である。

平成22年に埼玉県所沢市で、こうした管理不全空き家の適正管理を目的とした条例が定められて以降、各地で条例が制定されているが、その多くが管理不全となった空き家の除却を目的としている。

京都市では、京都のまちの歴史・文化の象徴である京町家が多いといった都市特性を踏まえ、空き家の適正管理のみならず、空き家の発生の予防や活用等、空き家対策を総合的に進めることを目的とした条例としている。

名称も空き家の活用に積極的に取り組むことがわかるような条例とした。条文に空き家の活用等を総合的に推進することを本市の責務として掲げ、空き家の所有者には、空き家を活用し、適正に管理することを求めている（第４条、第５条）。

適正管理については、空き家所有者に対し、助言、指導、勧告と段階的な指導と、これに応じない場合は、命令を行うことができる（第14条、第15条）。

また、緊急安全措置や開放窓の閉鎖や草刈りなど軽微な措置を本市自ら行うことができるといった即時執行規定（第17条、第18条）を盛り込んでおり、条例施行後、落下の危険のある瓦を除却する等の措置を複数件講じてきたところである。

他都市に例のない施策を展開

平成26年４月の条例施行に伴い、都市計画局に「まち再生・創造推進室」を設置し、様々な施策に取り組んでいる。

具体的には、地域や高齢者の集まりに司法書士が出向き、遺産分割や相続登記について説明を行う「おしかけ講座」や不動産事業者が空き家所有者の相談に応じる「地域の空き家相談員制度」の創設、自治連合会等がまちづくり活動として空き家に関する取組を行う際に、活動費の支援や空き家相談員を派遣する「地域連携型空き家流通促進事業」の実施などである。

これら以外にも、市場に出ていない戸建て空き家を賃貸や売却に出していただくことを条件に、修繕・模様替え、家財の撤去費用の一部について助成を行う「空き家活用・流通支援等補助金」の創設等、他都市に例のない施策を展開している。

今後の課題

人口減少時代にあって、今後ますます空き家の増加が見込まれる。

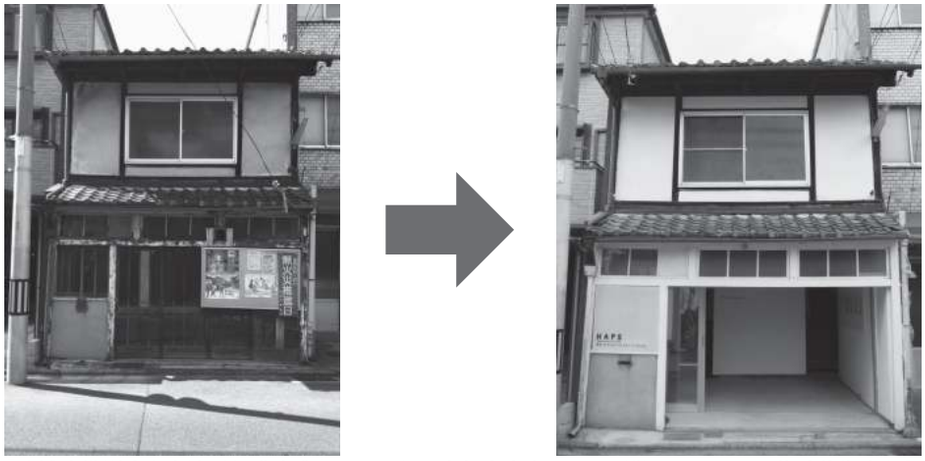
空き家は所有者個人の問題にとどまることなく、地域課題として、現在、350を超える自治体で空き家対策条例が制定され、住民に義務を課したり、様々な権利が行政に付与された。しかし、権利が与えられた同時に、行政には責任を果たすことが求められることを決して忘れてはならない。今後、条例を駆使して、目的を達成する必要がある。

また、自治体で取り組む空き家対策に限界があることも明らかである。

速やかに空き家所有者を特定するための固定資産税情報の活用、空き家が放置される要因の一つといわれる固定資産税の住宅用地特例等、国レベルにおいて、必要な制度の整備が行われるよう働きかけることも自治体には求められる。　（てらさわ　まさと）

●寺澤昌人

1964年生まれ。龍谷大学経営学部卒業。1986年京都市役所入庁



「地域連携型空き家流通促進事業」に取り組む京都市東山区の六原学区において，若手芸術家などの居住・制作・発表の場づくり事業を行う「東山アーティスツ・プレイスメント・サービス実行委員会（HAPS）」が空き家を事務所として活用

新しい水災害防護設備「neo RiSe」の紹介

―無動力／人為操作不要の水災害防護設備―

仲保京一
日立造船株式会社 機械・インフラ事業本部
防災ビジネスユニット フラップゲート部長

はじめに

近年、水災害の強大化ならびに頻発化が顕著となっており、全国各地で浸水被害が報告されている。このような中、当社では既往の水門技術をベースとした新しいタイプの水災害防護設備「neo RiSe（ネオライズ）」を開発・実用化した。本稿ではその特長や適用例について紹介する。

水災害防護設備のあるべき姿

東日本大震災では、東北地方を中心に甚大な被害に見舞われた。この地震は昼間に発生しており、津波来襲までに比較的逃げる時間があったにも関わらず、人間の本能の一つである正常性バイアスや、十分な情報伝達ができなかった等の理由により、避難行動に遅れが生じた。一方で津波の危険を認識しながら、水門・陸閘の閉鎖のために海に向かった多くの方が被災されたことも、今後の防災・減災を考える上で大きな反省点になるであろう。既にお気付きの読者もいると思うが、上記事例は特に津波に限った話ではなく、その他多くの水災害（高潮、洪水、ゲリラ豪雨）にも共通の教訓を与えている。これらを踏まえ、本来あるべき水災害防護設備に求められる要求性能を**図1**に整理する。当該設備においては、まず①人命最優先（操作員も被災しない）であり、②不意に来襲する水災害発生時に（停電や操作員が現場に急行できなくても）確実に機能することを満足し、③日常の生活や産業活動の支障とならず、④長期にわたり故障しにくく、維持管理の負担が過大とならないこと等の性能をバランスよく満たすことが求められる。

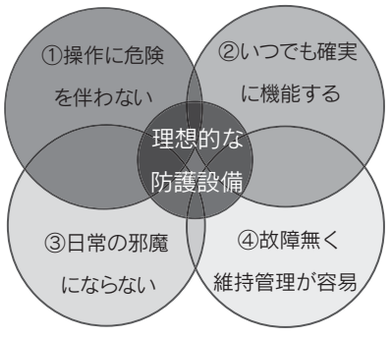


図1　水災害防護設備のあるべき姿

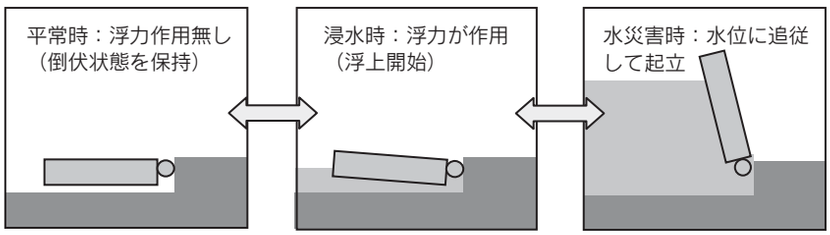


図2　neo RiSeの作動原理

neo RiSeの作動原理と特長

neo RiSeの作動原理を**図2**に示す。本設備は、扉体に作用する浮力により止水壁（扉体）を起立させる仕組みとなっており、浸水時には人為操作を必要とせず、自動的に浮上起立して背後域への浸水を防ぐ。既存ビルのエントランスに本設備を設置した事例を**図3**に示す。常時、扉体は路面に倒伏しており通行の妨げとならず、扉体上には自然石を配置することで、景観的にも違和感ない収まりとしている。また、設備駆動のための動力源やセンサー、電子部品等を一切使用していないことから、突発的な故障は極めて発生しにくく、維持管理の負担を小さくできる。本設備は河川水門で実績のある浮体式起伏ゲートをベースとしているが、陸上設備への適用に際し、扉体厚を薄く（扉高の1/10程度）することで上載荷重（走行車両）に対する頑強さと軽さを両立し、カウンタウエイトの活用により周囲の人の安全性確保（穏やかな作動）と起立完了時の衝撃緩和の改善をはかっている。紙面の都合上、ここでは詳細を省略するが、興味のある方は当社HPを参照されたい。

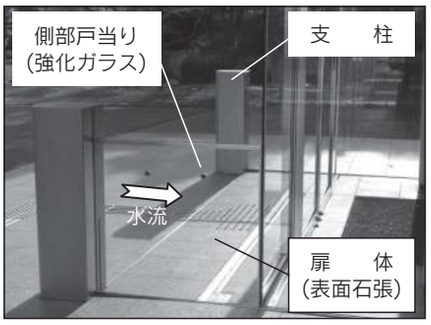


図3　neo RiSe設置事例

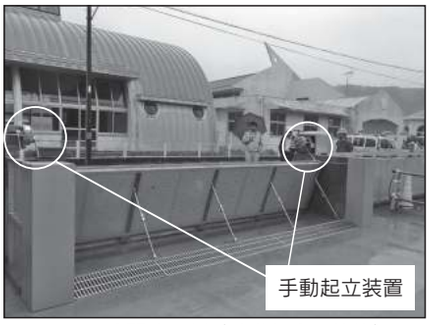


図4　陸閘適用例（手動起立の状態）

適用例と留意事項

2009年10月、neo RiSeは“動力のみならず人による操作も無くしたい”というある顧客の声をきっかけに開発が開始された。その後、種々の研究開発や技術PR活動を行う中で、多くのご要望を頂いたことで、現時点において次に示す用途への適用を実現している。

○ビルや地下街出入口向けの浸水防止設備
○陸閘等の土木構造物（**図4**参照）
○空調ダクトからの浸水防護設備

本設備は、“自然に逆らわない”をコンセプトとし、極めてシンプルな設計を実現しているが、設備計画時には以下の点に留意が必要である。

・浸水時に扉体に確実に浮力が作用するよう、格納ピット内への導水を計画する。
・平常時に扉体が誤って浮上するのを防ぐため、格納ピット内に雨水が滞留しないよう排水設備を計画する。
・設備設置後は、導・排水部に詰まりが生じないよう維持管理を行う。
・高潮時の事前操作や、定期点検時における動作確認のための開閉装置を設ける場合は、本設備本来の自然浮上を阻害することが無いよう計画を行う。

おわりに

本稿では、自然の力で作動することを特徴とするneo RiSeを紹介した。本設備単独で全ての水災害を防げるものではないが、今後整備が進められる防護設備に活用されることで、安全・安心社会の構築に微力ながらも貢献できれば幸いである。

（なかやす　きょういち）

●仲保京一
1993年4月に日立造船入社。水門設計に従事。2002年にフラップゲート式可動防波堤技術開発に着手。2013年10月より現職。

69

再読　関西近代建築
モダンエイジの建築遺産

都ホテル佳水園
（現・ウェスティン都ホテル京都　佳水園）

山形　政昭

所在地／京都市東山区粟田口華頂町
設計／村野・森建築事務所
施工／大林組及び中村外二工務店
竣工／昭和３４年
構造／鉄筋コンクリート造および木造2階建
規模／地上2階、地下1階
種別／ホテル

都ホテルは京都を代表する名門ホテルとして明治33年に創業されている（前身の吉水園の開設は明治23年）。以来、三条蹴上の地で逐次増築を重ねて発展し今日に至っている。

そして近年、2002年春には経営母体の再編により名をウェスティン都ホテル京都と改め、メインロビーのインテリアなどリニューアルされているが、ホテル建築の大要は設計者村野藤吾の建築が良く継承されているところである。ここでは昭和34年に建てられた和風別館佳水園を中心に再見することとした。

■村野による都ホテルの建築と佳水園

村野が都ホテルの建築に関わり始めたのは昭和９年頃といわれ、最初の建築は昭和11年に竣工した５号館（後の８号館）である。地階をもつ２階建てであったが、旧本館背後の高地に建ち、日本瓦の切妻屋根を重ねた塔屋の造形は独自な意匠で注目された。この重なり合う屋根の作例は戦後における志摩観光ホテル（第１期、昭和26年）などへとつながるものだった。そして都ホテルは戦後に至り、昭和32年より着手された９階建ての新本館の建築を中心とした整備計画があり、それに関連して設計された和風別館佳水園が昭和34年６月に着工、12月（35年１月の記録もある）に竣工した。

敷地とされたホテル南東の山裾の地は、かつて大正末に清浦奎吾伯爵が当地に設けた別荘「喜寿庵」が所在したところである。南に開けた庭園は小川治兵衛の長男小川白楊（保太郎）によるもので、天然の岩盤を生かし疎水の水を岩山頂上部に引き入れ、急峻な小滝のような流を形成したものであった。その庭園を一方に取り込み、建物跡地の緩やかな傾斜地を敷地とする佳水園が計画され、白砂に苔地を配した庭を囲むように本館と「雪」「月」「花」と名付けた客室棟の４棟の建物を配置し、玄関ホールおよび広間そして20組の客室を備えた佳水園が建てられた。

今回、久方ぶりに見学に向かった。佳水園へはホテル客室棟７階南の廊下より一旦戸外に出て、眼前に広がる花頂山の緑を見ながら渡り廊下を行く。吹き放しの廊下は軽快な鉄骨造で、かつての野趣ある数寄屋風だった当時のものは改修されており、少しばかり不安を感じたが、その先に特色のある門屋が変わらずに待ち受けていた。切妻茅葺屋根の伝統的数寄屋風でありながら、柱位置を前後にずらし、戸口を斜めに向けて開くなど、大胆かつ周到な構成であり、不思議な魅力をもつ門屋である。門前に立つと、かなり以前の訪問だったが、その時の記憶と、村野和風といわれる代表的な建築の一つに対面した緊張感が蘇ってきた。園内に入ると、ひょうたん型をデザインした印象的な中庭と、それを囲む建物全景が目に入る。‥‥緩勾配の銅板葺屋根が重なり低く伸びる軒線、雨落ち溝の屈曲する直線等々、本園独自の別世界を形成している。‥‥さすがに見事だという感激とともに、ホテルによって常時にわたりエネルギーを注ぎ維持されていることが分かる。

本館は鉄筋コンクリート造の地階をもつ木造２階建て、庭つづきに深い土庇を備えた玄関ホール、２階広間に導く階段と、サービス関係諸室を収めている。茶室の構成を近代的



①南庭より見る佳水園（平成26年　筆者撮影　以下＊）



②佳水園（『都ホテル四季』注記）



③本館　哲学の庭



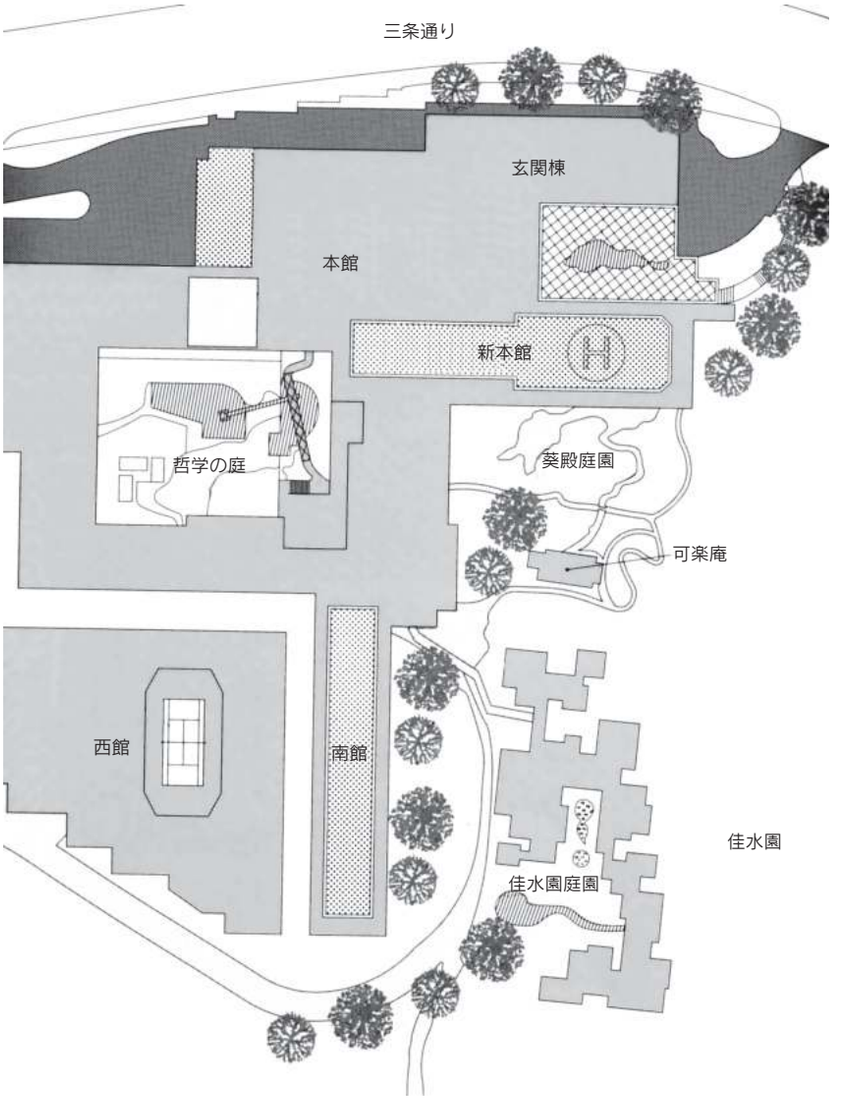
④ホール　東面



⑤月　2階客室



⑥玄関車寄せ

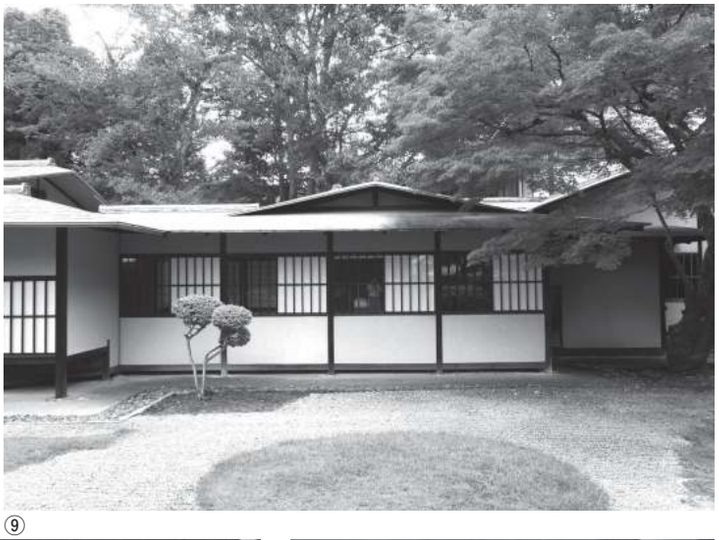


⑦ホテル配置図

注記　写真②～⑥及び図⑦の出典は『都ホテル四季』株式会社都ホテル、平成 6 年出版。
（写真撮影　水野克比古）



⑧



⑨



⑩



⑪



⑫



⑬



⑭



⑮



⑯

⑧茅葺門　正面＊
⑨中庭に沿う廊下　西面＊
⑩ホール　東面、天井は杉板底目張＊
⑪ホール　西面の棚及び衝立障子＊
⑫玄関ポーチまわり＊
⑬佳水園本館　西面＊
⑭客室＊
⑮南館前の渡り廊下＊
⑯三条通り側外観、右手より西館、本館、新本館がつづく＊

に展開したといえる建築で、様々な障子建具や棚の意匠に村野和風特有の表現がなされている。ホールにおいて最も印象的なのは、庭と地つづきのように低い床と、空間を軽やかに分ける欄間付のガラス建具の繊細さである。要所には村野による独自のデザインの椅子が配置されており、腰掛けると座式のように低く、落ち着く。ホールの奥には階上とつなぐ折れ曲がり階段があり、吹き抜けをもつ計画の近代性と木製手摺の柔らかい造形には目を見張る。

ホールの空間は中庭を巡る廊下に流れ出し、客室に向かう。夫々の客室には玄関、踏み込み、浴室、十畳余りの客室と広縁などを収めており、同じ客室平面形は無い配置となっている。この計画の特色は、カーペットを敷き詰めた廊下を行き、客室玄関で靴を脱ぐ方式により、夫々の玄関において洋式と和式が接続していることである。客室の概要は、杉磨き丸太の床柱、杉板底目張りの天井、腰付き障子などによる瀟洒な数寄屋造り。年月を経て、木は艶のある深みを出している。木の使用といえば縁甲板の板壁、木の浴槽の浴室、洗面室にも及び、今も健在であった。灯具の設備もホテル客室としては少なく限定的で、紙障子の意匠を生かし陰影を宿す空間は珍しいといえよう。佳水園はホテルの洋と自立した和が周到に計画された和風別館として生きつづけている。

■竣工時の評価

この竣工に際しては『新建築』昭和35年７月号誌上でも詳しく報じられ、浜口隆一による「佳水園《典雅》の造形化」そして明石乃武の「過去から今日に及ぶ美しさ」の論評が載せられている。そこで浜口は「数寄屋を現代風にアレンジしたものとして、おそらくこれは最高の作品の一つだろう。現代数寄屋といわれるものにありがちな、脂っこい生臭いところがまったく感じられない。「典雅」という言葉が造形化されたら、こんなのをいうのだろう。‥‥この建物には日本的なもの、とくにその優しさの一面が、極めて高い純度で保たれている」とし、新時代における現代数奇屋の佳作として称賛している。そして木造和風の巧みな手法に加えて、深い屋根の妻面を折り曲げた箕甲に使われているＩ型の鉄骨と、本館地階の鉄筋コンクリートの打ち放しに着目するなど、新しい材料、構法による表現に注目している。

また明石は2.5寸勾配をとる銅板葺屋根の低さ、そして庭と地つづきのような床の低さ、素地の木材や土壁に対する感覚とスケール感に注目し「伝統的手法の中にある過去から今日におよぶ美しさを引きだしたそのデザインと無駄のない日本的な視覚秩序がこの作品を貫いている」と記している。

簡潔にして的確な指摘であり、佳水園はこうした特色ある村野の数寄屋建築として名声を博してきた。

■村野の和風建築観より

知られるように、村野自身はこうした作品を伝統的な数寄屋建築と捉えていない、という趣旨の発言をしばしば行なっている。その一つに篠原一男との対談（『新建築』昭和41年５月号）があり、次のように述べている。

「‥‥佳水園にしても、私はあまり和風を意識しないでやっているのです。あの格子にしても垂木にしても、日本的というよりもむしろ洋風だと私は思っています。あの場合は庇を薄く見せたかったため、垂木の間隔もずっと広くしているのです。昔からのものとはまったく違うはずです。その場所、その環境、その機能に応じて表現を異にするだけであって、手法そのもの、ものの考え方はやはり同じではないですか。」

そして壁面の使い方とそこに落ちる陰影について、村野も注目していたというスパニッシュ建築との共通性、あるいは相違点について次のように述べている。

「面のなかに影を求めるということですね、そこからくる柔らかさといいますか。そういうようなものや、線の細さ、面の薄さとかいうようなこと、そういうものを日本的と感じられるのでしょうが、私自身とくに意識したことはありません。」

こうした言葉のうちに村野が和風建築に臨む際の視点としていたことが理解出来るように思う。ホテルの一角に位置する佳水園は、外国人の利用など多用途であり、かつ上質の和室としての特質を求められた建物である。それに対する村野の応答が所謂数寄屋造りの常道に留まらない闊達な創作なのであった。

‥‥その後、氏の和風建築には多くの名作を数えるが、昭和50年代に至り、なだ万山茶花荘、そして恵庵、秀明などホテルに設けられた和風別館をつづいて残している。それらにおいては竹網代による光天井、杉板目透かしとした光天井の手法、小壁や欄間に施された大胆な意匠等、一層独自な表現に向かうが、一方では村野が和風の鉄則とした5.8尺の内法高、天井も定数より低めにとられている。

そうした村野和風の展開を考えると、確か、玄関ホールおよび廊下の天井高は８尺、中庭に面する開口部内法高も和の基準より高く設計されていた佳水園の建築は、伝統を敢えて意識することなく、今日的な和の表現を積極的に試みた新機軸なのであった。

■その後の都ホテル

佳水園につづく昭和35年末にコの字形８階建ての新本館（現、本館）が竣工する。薄茶色タイル壁面に整然とポツ窓を開けた三条通りに面する北壁面と、深いデッキそして連続する個性的な小庇とルーバーを付した西壁面は今も変わらずホテルのイメージを担っている。そして加えて特色といえるのが屋上を覆い波打つような折板の銅板葺屋根と、コの字形に囲われた中庭（哲学の庭）で大胆な図形的構成の回遊式中庭で、この客室棟の中心となっている。

こうして見ると、同時期における和風別館佳水園と高層棟の新本館は、当然とはいえ近代性と創作性における共通性が見出せるのである。新本館に関連して建築された部分に、旧本館の玄関に続いて西に拡張された２層吹抜けのメインロビーと西玄関があった。その玄関棟上部の、３階デッキに設置された花弁のようなガラスの小ホール（サーキュレーターホール）も話題となったところだった。

昭和43年には佳水園の西に面して地上８階建ての南館が建ち、環境は変わったが、銅板葺の築地塀を連ねることで佳水園への小路を確保している。

つづく大きな増築は、新本館のさらに西に計画された瑞穂殿を始めとする宴会室棟の新館（現、西館）で昭和60年に着工された。この設計期間の昭和59年秋に村野が急逝したことで昭和63年に竣工した現在の西館は氏の遺作となったことで知られている。

その後、ホテル創立100周年を期しての整備事業として、旧本館を始めとする戦前期の建築を更新した新本館が平成４年に新築されている。設計は村野・森建築事務所によるものであり、一部に11階建ての棟を加えて、三条通りに面する正面など昭和30年当時より積み重ねられてきた「都ホテル」の伝統的イメージが継承されている。

参考資料
・『新建築』第35巻昭和35年７月号
・『村野藤吾　和風建築作品詳細図集・２』住宅建築別冊・27、昭和61年12月
・西村征一郎「都ホテル佳水園－継承・持続の姿勢」『村野藤吾建築設計図展カタログ ８』平成18年
・拙稿「都ホテル」『村野藤吾建築図面集　第６巻』平成４年

（やまがた　まさあき／大阪芸術大学建築学科教授）

香川 貴範　—TAKANORI KAGAWA—



SPACESPACE事務所にて

1974年　大阪府生まれ
1998年　東京工業大学工学部建築学科卒業
2000年　東京工業大学大学院修士課程修了
2000〜06年　株式会社坂倉建築研究所
2006年　SPACESPACE設立
現在、摂南大学・神戸芸術工科大学非常勤講師

著書：
The way of being together（共著・2013年・Spacetime）

主な建築作品：
2006年　ロングトールハウス
2008年　グリーンヒル
2010年　地面と屋根上の家
2010年　磯山調剤薬局
2011年　Dアパートメント
2011年　BankART LIFE3 新・港村 ブックショップ
2012年　庭の形

主な受賞：
2002年　邑楽町役場庁舎 住民参加型設計提案競技 佳作
2006年　塩尻市大門中央通地区 設計者選定競技 佳作
2008年　住宅セレクションVol.2「家の風景・風景の家」塚本賞
2008年　ぐんま総合情報センター 設計提案競技 佳作
2008年　くまもとアートポリス 熊本駅西口駅前広場設計競技 佳作
2011年　三重県建築賞 入選／磯山調剤薬局
2011年　JCD DESIGN AWARD 2011 銀賞／磯山調剤薬局
2012年　第58回大阪建築コンクール 渡辺節賞／Dアパートメント
2012年　SAIE SELECTION 2012 2nd prize／地面と屋根上の家
2012年　Design for Asia Award 2012 Bronze Award／磯山調剤薬局
2013年　20+10+X World Architecture Community Awards 14th Cycle／winner／地面と屋根上の家
2013年　平成25年 日本建築士会連合会賞 奨励賞／地面と屋根上の家

聞き手　駒井陽次（Style Agency/PARK Lab.）
写真撮影　河合止揚

「社会システムへの新しい関り方持ったデザインを発明するべく」

これは、香川氏がSPACESPACE（スペーススペース）や自らを紹介する際に使用しているセンテンスである。どういうデザインを意味するのだろう？と考えながら、天神橋筋商店街から路地に入り、香川氏の事務所に向かった。雑居ビルのテナントを１階事務所、２階倉庫、３階住居へとリノベーションしており、仕上げをそぎ落とした事務所は、荒っぽい中にも繊細さを感じるものであった。

方法を問う

香川氏は、建築の質やディテールなどへの過剰な執着は、建築という閉じた世界でのこだわりに過ぎない場合が多々有り、そこに限界を感じていた。だからこそ、建築を生み出す時に、『方法を問う。』必要があるという。

建築を支える環境を見つめ直す

自然、都市、情報という３つの環境が、様々な水準で絡み合い、建築を支えている。それらの環境を見つめ直す事が、今、建築をつくることにつながる。香川氏は、そう語る。

賃貸マンションである［Dアパートメント］の設計プロセスから、その事が理解できた。30㎡程度の単身者用集合住宅は、通常１住戸４m×８m程の平面となるが、［Dアパートメント］では、１住戸を２m×16mの平面とし、片側が「広い」通路のような空間となっている。また、16mの奥には寝室や水廻りを配置し、壁を立てるのではなく、奥が見えなくなるような形に折り曲げることでプライバシーが確保されている。狭いバルコニーの室外機置場兼物干スペースというような慣習的な使い方にも疑問を持ち、狭いながらもブリッジや物見台という+αの機能を付加させ、活かされたバルコニーも生み出している。

この平面プランは、単身者用の新たなプランバリエーションの創出だけでなく、当初から不動産賃貸の検索サイトを意識していたという。同規模の単身用プランが数多く並んでいる中でも、プランが特徴的であり、一目で分かる。また、プランが細長く、折れ曲がっていることから、東西南北のすべてが外部に面しており、バルコニーもあることで、ほとんどの検索条件にヒットする。

賃貸マンションは、自然環境、都市環境だけでなく、大きな影響を受けるのが市場に出た時の情報環境であることを再認識させられた。情報環境を見る事により、建築に大きな影響を与えているのである。

新しい技術が建築をかえる

環境技術をつかって、それまで見えなかったものをデザインしている。と香川氏は目を輝かせた。古くから南北に２つ窓を設ければ、風が通ると言われているが、場所や環境により風は異なる。その風を見る事ができれば、デザインは必然的に変わると香川氏はいう。今では、ライティングや温熱環境のシミュレーションを自ら行い、デザインに取り込んでいる。

その一例が、夫婦と２人の子供のための住宅である［地面と屋根上の家］である。１階広間にある内部に浴室が配置されたコンクリートの丘は、冬季に１階南側上部の大窓から取り込んだ太陽熱を蓄積する。夜間に、熱を室内に放出しすることにより暖房の役割を果たしている。夏は、太陽光が床に当たらないように、開口の内側に電動ルーバーを設け、温まった空気を煙突効果で、上に抜けるようデザインされている。

今後も技術は進歩していくが、新たな技術に追いつき、その可能性をみてみたい。そう香川氏は、先を見つめる。

今回のインタビューにおいて、今ある社会システムや将来の社会システムを見据え、建築が創り出す方法を見出し、常に挑戦している香川氏の姿を窺い知ることができた。その見出した方法を経ることにより、デザインが“発見”されるのだろう。

最後に、事務所の前で、SPACESPACEでのパートナーであり、香川氏の奥様である岸上氏にお会いすることができた。これからも、この２人から生み出される“発見”に期待したい。

お知らせ information

①阪神・淡路大震災20年展 記憶の遠近術 ～篠山紀信、横尾忠則を撮る

写真家 篠山紀信の撮影により、美術家 横尾忠則と彼に影響を与えた人々とが共有した時間に焦点をあてた写真集『記憶の遠近術』。同書は横尾と、彼にとってのアイドル的な人々との2ショットによる写真集として構想され、1968年に撮影が開始された。遠近を強調したモデルの配置や人体が織りなすフォルムの強調は、同時期の篠山の作品《The Birth》(1968年) などにも共通している。両者が多忙を極めるなか撮影は一時中断するが、1970年、横尾の郷里である兵庫県西脇市を舞台に撮影が再開。上京以来10数年ぶりに帰郷した横尾にとって、この撮影旅行は自らの原点を見つめなおす機会となり、その作品はより内面や精神世界へと傾倒しはじめる。時を同じくして、篠山の写真表現もより自然体のスナップショットへと変化していく。これらの写真は1992年、写真集『記憶の遠近術』として出版される。それは篠山の写真による「横尾忠則伝」とでもいうべきものとなっている。本展では、同書に収録された写真から約70点を厳選し、その後に撮影された数点を加えて構成。篠山と横尾の両者にとって重要な転換点であった'60年代末から'70年代半ばにかけて撮影された貴重な写真の数々を紹介する。

期　間　2015年1月4日(日)まで
　　10：00～18：00
　　金・土曜日は20：00まで
　　(入場は閉館30分前まで)
休館日　月曜日、12/31～1/1
会　場　横尾忠則現代美術館
　　兵庫県神戸市灘区原田通3-8-30
　　TEL.078-855-5607 (総合案内)
観覧料　一般700円、大学生550円、
　　高校生・65歳以上350円、
　　中学生以下無料



《美輪（丸山）明宏》1968年

②フィオナ・タン まなざしの詩学

フィオナ・タンは、1966年、中国系インドネシア人の父とオーストラリア人の母のもとにインドネシアで生まれ、オーストラリアで育った。現在はオランダのアムステルダムを拠点に活躍している映像作家。初期の代表作《興味深い時代を生きますように》(1997) は、インドネシアにおける反中国人暴動によって離散した自身の一族を追ったドキュメンタリー・フィルム。この作品は、現代の民族間の問題をも含んだ文化的多元性を象徴的に示しているという点で高く評価された。この作品を足がかりとして、タンは、人間の存在が時間や場所とどのように関わっていくのかという簡明ながらも根源的ともいえるテーマを表現するようになる。近年において、初期作品で試みたアイデンティティの探求から、そのアイデンティティを作り上げる記憶へとテーマを推移させる。本展は、タンの初期から近年までの代表作17点によって、彼女が追求してきたテーマの変遷をたどろうとするもの。タンの作り出す映像世界を通じて、人類が積み重ねてきた文化的記憶と共に個々の人間の中に形成される様々な感情が、見事に形象化されていることを実感される。

期　間　12月20日(土)～2015年3月22日(日)
　　10：00～17：00　金曜日は19：00まで
　　(入場は閉館30分前まで)
休館日　月曜日 (祝日の場合は開館、翌日休館)、12/29～1/3
会　場　国立国際美術館　地下3階展示室
　　大阪市北区中之島4-2-55
　　TEL.06-6447-4680
観覧料　一般900円、大学生500円
　　高校生以下・18歳未満無料

■関連イベント

フィオナ・タン アーティスト・トーク
日　時　2014年12月21日(日) 14：00～
場　所　国立国際美術館　地下1階講堂
参加費　無料　逐次通訳付　定員130名
　　(当日10：00から整理券を配布)

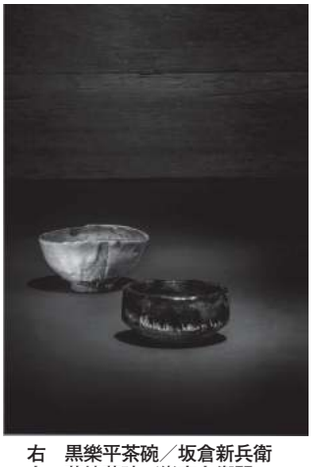


フィオナ・タン《インヴェントリー》2012年
作家蔵　HD・ヴィデオ インスタレーション
Courtesy of the artist and Frith Street Gallery, London; Wako Works of Art, Tokyo

③吉左衛門X 新兵衛の樂 吉左衛門の萩

第6回目となる「吉左衛門X」では萩焼・十五代坂倉新兵衛氏と樂焼・十五代樂吉左衛門氏とのクロストーク・コラボレーション展を開催する。樂焼と萩焼はどちらも400年あまりの伝統を有し、茶の湯の分野に大きな足跡を残してきた。しかし、二つの茶陶は全く異なる方法により制作されている。今回、坂倉氏は樂焼に、樂氏は萩焼に挑戦。それぞれ、相手方の製作法を用いて制作する。二人の作家の異なる制作を通して、相互にその本質が浮かび上がる。

期　間　2015年3月29日(日)まで
9：30～17：00（入館は16：30まで）
休館日　月曜日（祝日の場合は開館、翌日休館）、12/29～1/2
会　場　佐川美術館　樂吉左衛門館
滋賀県守山市水保町北川2891
TEL.077-585-7800
観覧料　一般1,000円、高大生600円、
中学生以下無料（ただし保護者の同伴が必要）



右　黒樂平茶碗／坂倉新兵衛
左　萩焼茶碗／樂吉左衛門

④開館20周年記念 「上村松園・松篁・淳之展」 ～松伯美術館20年の歩み～

平成6年（1994）に開館した松伯美術館は今年開館20周年を迎えた。上村家からの寄贈による収蔵作品は大切に保管されてきた松園、松篁、淳之の日本画作品と下絵や素描などで、なかでも大量の下絵や素描からは制作の過程や情熱が伝わり、美を生み出す為に一筋に生きた画家の生き様を強く感じとることが出来る。大作に合わせて設計された天井の高い展示空間で芸術作品が持つ永遠のエネルギーに包まれ、癒される時間を味わうことができる。本展では開館当時のレイアウトを一部再現して、松伯美術館所蔵の代表的な作品を紹介し、懐かしいポスターや、若手日本画家育成の為に実施してきた公募展「花鳥画展」の資料を展示して、20年を振り返る。奈良市学園前の閑静な住宅地に所在し、敷地内の大渕池に面した旧佐伯邸には茶室もあり、広大な庭園では四季折々の自然美も楽しむことができる。多くの方々に愛される美術館をめざして新たな一歩を踏み出す記念展。

期　間　12月9日(火)～2015年2月1日(日)
10：00～17：00（入館は16：00まで）
休館日　月曜日（祝日の場合は開館、翌日休館）、12/27～1/5
会　場　松伯美術館
奈良市登美ヶ丘2-1-4
TEL.0742-41-6666
観覧料　一般（大高生含む）820円、
中小生410円

■館長　上村淳之によるギャラリートーク
日　時　2015年1月10日(土) 14：00～



上村松園「娘」大正15年（1926）松伯美術館蔵

⑤竹中大工道具館開館30周年記念巡回展 「日中韓　棟梁の技と心」

紫禁城（中国）や景福宮（韓国）などの宮殿建築。壮大なその姿は豪華絢爛。ドラマや音楽などの影響もあり、中国・韓国の文化に対する幅広い関心の高まりもみられる一方で、中国・韓国の建築文化を支える職人の姿やその「ものづくりの精神」を知る機会はほとんどない。本展では、日中韓の各国を代表する三人の棟梁たちが手がけた迫力の建築模型や大工道具、設計図などが海を渡って一堂に会し、それぞれの「腕の見せどころ」を際立たせる。また、棟梁のことばを織り交ぜながら、日中韓に脈々と受け継がれてきた棟梁たちの精神にも迫り、三か国の棟梁の技と心が交流する場を創出する。

期　間　12月28日(日)まで
9：30～16：30（入館は16：00まで）
休館日　月曜日（祝日の場合は開館、翌日休館）
会　場　竹中大工道具館
神戸市中央区熊内町7-5-1
TEL.078-242-0216
入館料　一般500円、大高生300円、
中学生以下無料、65歳以上200円
※常設展観覧料を含む



〔韓国〕景福宮勤政殿

⑥東京駅開業百年記念 東京駅100年の記憶

2014年12月、東京駅は開業100周年を迎える。日本近代の歴史とともに歩んできた東京駅は、関東大震災、原敬首相の暗殺、東京大空襲といった歴史上の出来事とともに、出会いと別れの場として、また生活の一コマとして、多くの人々の記憶に残る存在である。本展では近代建築史や絵画、写真、文学など、さまざまな視点からこの1世紀にわたる東京駅の記憶に光を当て、その文化的な意義を再検証する。

期　間　12月13日(土)～2015年3月1日(日)
10：00～18：00 金曜日（1/2を除く）は20：00まで（入館は閉館30分前まで）
休館日　月曜日（1/12を除く）、12/29～1/1、1/13
会　場　東京ステーションギャラリー
東京都千代田区丸の内1-9-1
TEL.03-3212-2485
観覧料　一般900円、高大生700円、
中学生以下無料



後藤慶二《辰野金吾博士 作品集成絵図》1916年
辰野家蔵

本欄掲載の①～⑥の美術館等の招待券ご希望の方は、電話等で申し込み後、招待券送付用の切手（82円）を日本建築協会事務局までお送りください。

建築と社会
第95集総目録

2014
（平成26年）

一般社団法人　日本建築協会

挨拶

●年頭のことば
2014年を迎えて／香西喜八郎 …… 1
●本年の抱負
常設委員会／米井寛・児玉　謙・西　博康・山形政昭 …… 1

特集号

エリアマネジメントの新展開に向けて …… 1
融合（フュージョン）する空間 ～新たなる試み～ …… 2
東海支部特集 …… 3
小特集●ABENO REBORN …… 3
第20回会員作品“私の空間作法” …… 4
オフィスビル設備の変遷とこれから …… 5
オフィスのこれから …… 6
第61回青年技術者 …… 7
建築と時間 …… 8
省エネ・低炭素のこれまでとこれから …… 9
大阪・上町台地・あべのハルカス …… 10
複雑・高度化する建築とその技術について …… 10
でっかいものはすごいぞ …… 11
安井建築設計事務所90周年 …… 12

作品作風

●官公庁舎
設楽町役場（図書館・子どもセンター） …… 3
　建　築　主：設楽町
　設計・監理：伊藤建築設計事務所
　施　　工：吉川・太平特定建設工事共同企業体
　施工協力：揖斐川工業（構造木工事）
　　トーエネック（設備工事）
●学校
東栄町立東栄小学校 …… 3
　建　築　主：東栄町
　設計・監理：伊藤建築設計事務所
　施　　工：管理棟・教室棟：三河・村雲特定建設工事共同企業体（三河建設工業・村雲工務店JV）
　　屋内運動場棟：松井・田中特定建設工事共同企業体（松井建拓・田中組JV）
　　運動場整備・外構・関連附帯：田中組
神戸海星女子学院中学校・高等学校 …… 8
　設計・監理：竹中工務店
　施　　工：竹中工務店
●医療・保健・福祉施設
東海市立大堀保育園 …… 3
東海市南部子育て支援センター
　建　築　主：東海市
　設計・監理：伊藤建築設計事務所
　施　　工：建築工事：徳倉建設
　　電気設備工事：菊本電気工事
　　給排水衛生設備工事：東福
　　空調設備工事：三和テクノ
　　外構工事：シンキ・コーポレーション
　施工協力：型枠工事：丸茂建設
　　内装工事：HRC内装
　　造作・木製建具・家具工事：末永製作所
　　可動間仕切・ブラインド工事：ジャパンインテリアシステム

号

特別養護老人ホーム　松寿苑 …… 3
　建　築　主：社会福祉法人　松寿会
　設計・監理：東畑建築事務所名古屋事務所
　施　　工：前田建設工業・前田産業JV
庄原赤十字病院 …… 4
　建　築　主：日本赤十字社
　設計・監理：安井建築設計事務所
　施　　工：清水建設
淡路市立一宮保育所 …… 6
　建　築　主：淡路市
　設計・監理：多田設計事務所
　施　　工：常盤興業㈱
関西医科大学 …… 6
　建　築　主：学校法人　関西医科大学
　設計・監理：清水建設㈱一級建築士事務所
　施　　工：清水建設㈱
大阪府立精神医療センター …… 8
　事　業　主：地方独立行政法人　大阪府立病院機構
　設計・監理：安井建築設計事務所
　施　　工：戸田建設
玉島中央病院 …… 9
　事　業　主：医療法人社団新風会　玉島中央病院
　設計・監理：山陽・安井設計共同体
　施　　工：荒木組
●銀行建築
浜松信用金庫きらりタウン支店 …… 3
　建　築　主：浜松信用金庫
　設計・監理：日建設計
　施　　工：木内建設
三重銀行白子支店 …… 3
　建　築　主：三重銀行
　設計・監理：伊藤建築設計事務所
　施　　工：大和ハウス工業　四日市支店（建築躯体工事）
　　イケダアクト（建築内装工事、衛生工事）
　施工協力：釜屋硝子建材（硝子工事）、高橋サッシ工業（金属工事）
　　中部高圧コンクリート（杭工事）、ノザワ商事（組積工事）
　　ミヤムラ（屋根工事・金属建具工事）
知多信用金庫豊浜支店 …… 3
　建　築　主：知多信用金庫
　設計・監理：伊藤建築設計事務所
　施　　工：七番組
蒲郡信用金庫牟呂支店 …… 3
　建　築　主：蒲郡信用金庫
　設計・監理：大林組名古屋支店一級建築士事務所
　施　　工：大林組名古屋支店
●集合住宅
ジオタワー天六 …… 3
　建　築　主：阪急不動産㈱
　　阪急電鉄㈱
　設計・監理：大林組大阪本店一級建築士事務所
　施　　工：大林組
ザ・香里園レジデンス …… 9
　建　築　主：香里園駅東地区市街地再開発組合
　設計・施工：竹中工務店
　監　　理：RIA
●オフィスビル・研究施設
TANIXビル …… 3
　建　築　主：谷口石油㈱
　設計・監理：竹中工務店
　施　　工：竹中工務店・大宗建設共同企業体
アステラス製薬 加島事業場 厚生棟 …… 5
　建　築　主：アステラス製薬㈱
　設計・監理：清水建設㈱関西事業本部一級建築士事務所
　施　　工：清水建設㈱
●ホテル
京湯元　ハトヤ瑞鳳閣 …… 11
　建　築　主：㈱ハトヤ観光
　設計・監理：竹中工務店
　施　　工：竹中工務店
●商業施設
BRANCH神戸学園都市 …… 3
　建　築　主：大和リース㈱
　設計・監理：昭和設計
　施　　工：鴻池組
イオンタウン名西 …… 3
　建　築　主：イオンタウン㈱
　基本設計・設計監修：㈱東畑建築事務所名古屋事務所
　実施設計：㈱塩浜工業名古屋一級建築士事務所
　施　　工：㈱塩浜工業
天王寺MIO …… 3
　事　業　主：天王寺SC開発㈱
　設　　計：㈱安井建築設計事務所
　施　　工：㈱奥村組
あべのハルカス …… 3
　事　業　主：近畿日本鉄道㈱
　設　　計：㈱竹中工務店
　外観デザイン：竹中工務店＋ペリ・クラーク・ペリ・アーキテクツ
　施　　工：竹中工務店・奥村組・大林組
　　大日本土木・錢高組共同企業体
●その他
トヨタ自動車 多治見サービスセンター研修棟 …… 3

号

　建　築　主：トヨタ自動車㈱
　設計・監理：大林組
　施　　工：大林組
天然温泉 竜泉寺の湯 横濱鶴ケ峰店 …… 3
　建　築　主：オークランド観光開発㈱
　設計・監理：福田泰造建築事務所
　施　　工：大成建設 横浜支店
　　トゴス（岩盤浴工事）
　　暖王通商
　　（岩盤浴・露天浴場通路含む床暖房設備工事）
あらた名古屋支店江南センター …… 3
　建　築　主：㈱あらた
　設計・監理：東畑建築事務所名古屋事務所
　施　　工：清水建設
オークマ本社工場　Dream Site 1
（ドリームサイト　ワン） …… 3
　建　築　主：オークマ㈱
　設計・監理：㈱伊藤建築設計事務所
　施　　工：日本国土開発㈱名古屋支店
　施工協力：㈱トーエネック（電気設備工事）
　　市原産業㈱（衛生設備工事）
　　東洋熱工業㈱（空調設備工事）
阿倍野歩道橋 …… 3
　事　業　主：大阪市
　設　　計：㈱昭和設計・中央復建コンサルタンツ㈱
　施　　工：大日本土木㈱・片山ストラテック㈱
旧桜宮公会堂 …… 7
　建　築　主：㈱ノバレーゼ
　設計・監理：竹中工務店
　施　　工：竹中工務店

gallery

いごこちを創る（奥 林太郎）豊田充広 …… 1
Factory →Offi ce（濱田　猛）井上雅祐 …… 2
ブランディングの向こうに或るもの
（亀井　晋・木戸康仁）西田佳代 …… 3
KITUMI BABY CHAIR（キツミ・ベビーチェア）
（栗田 一行）鞆野淳司 …… 4
大阪観覧線PJ（魚谷剛紀）加嶋章博 …… 5
漆 喰　塗り・伝える ー金沢城・石川門ー
（藤田三喜）芳谷晴彦 …… 6
藁葺き泥小屋（畑中久美子）鳥居久人 …… 7
くらしをつなぐ住まい　NEXT21「住み継ぎの家」の
設計を通して（所　千夏）倉渕奈千子 …… 8
街角の椅子職人（田中泰嘉）増田敬彦 …… 9
斑鳩の家（中山大介）菊池浩輔 …… 10
豊岡1925（才本謙二）澤田純一 …… 11
木造伝統建築の耐震補強（奥田辰雄）居内章夫 …… 12

エリアマネジメントの新展開に向けて

総論　都市再生の手法としてのエリアマネジメント
～BIDの導入による都市計画再構築への展望～／
嘉名光市 …… 1
各論1　「新しい公共」への挑戦
～グランフロント大阪におけるエリアマネジメント～／
廣野研一 …… 1
各論2　梅田地区エリアマネジメント実践連絡会の
取り組みについて／松村弘三 …… 1
各論3　「中之島まちみらい協議会」の取り組み／
森澤五郎 …… 1
各論4　大阪ビジネスパークのリ・ブランディング戦略
～スマートシティの実現～／鈴木義康 …… 1
各論5　一歩、一歩のまちづくり／坂本圀昭 …… 1
各論6　京都市におけるエリアマネジメントの
取組について／岡田耕介 …… 1
各論7　エリアマネジメントによる高質な都市空間の
創造 ～大阪版BID制度設計に向けて～／
大阪市都市計画局都市計画課 …… 1
編集後記／鈴木克彦・田中直人・紅谷昇平・吉村英祐・高橋和也・三宅次郎・守井　辰 …… 1

融合（フュージョン）する空間～新たなる試み～

総論　フュージョンする空間～公共空間の多様化
～社交場としての能楽堂の再生～／服部滋樹 …… 2
各論1　風景という融合（フュージョン）／花村周寛 …… 2
各論2　団地リノベーションスタンダードへの挑戦
～MUJI×UR～／長谷川晋一 …… 2
各論3　HOTEL ANTEROOM KYOTO／ANTEROOM
APARTMENT OSAKA アート＆カルチャーを愉しむホテル＆アパートメント ～集まって暮らすという愉しみ～／
中原典人 …… 2
各論4　創造都市とワークプレイス ～異分野・異文化の人たちが出会い創発する場、Creative Lounge MOV～／
齋藤敦子 …… 2
各論5　主観の行方 ～NEWLANDが出来るまで～／
山本和豊 …… 2

号

各論6　インタビュー　中川政七商店／中川　淳 … 2
編集後記／塚口眞佐子・酒井雅男・黒栁　亮・間渕一博・森岡拓也・川合隆之・ペリー史子・谷垣浩一 … 2

東海支部特集

●東海支部会員作品2014（作品作風欄既載）…… 3
●Tokai Sketch Book…… 3
●静岡の建築文化にみる遺伝子 …… 3
遠州の7人の賢人／杉野　丞…… 3
舞台芸術の振興 ～自治体初の文化政策的取り組み～／静岡県文化・観光部文化学術局文化政策課 …… 3
富士山世界文化遺産－その建築的特徴－／建部恭宣 …… 3
ブルーノ・タウトと熱海／中井正勝 …… 3
支部主催建築見学会を回想して　ブルーノ・タウトの遺産－その建築的特徴－／福田泰造 …… 3
●東海の建築：架構 …… 3
浮遊するスロープと24m円形空間　岐阜県立希望が丘学園及び岐阜希望が丘特別支援学校／篠原佳則、築谷朋也、田口貴史、野辺昭造、松本健太郎、井上幸祐…… 3
「自然と向き合い音楽を学ぶ」環境をつくる構造計画　愛知県立芸術大学音楽学部校舎／岡田宏介・杉浦盛基…… 3
「超・低ライズ」で自然と調和するキールトラス架構・膜構造屋根　やわらぎ 森のスタジアム／長谷川　寛・本多英行・浅野三男・蔦壁潤一郎 …… 3
土俵と観客席を覆う大架構　神宮相撲場上屋／竹田昌弘・吉田悠佑…… 3

小特集●ABENO REBORN

作品　阿倍野歩道橋（作品作風欄既載）…… 3
作品　天王寺MIO（作品作風欄既載）…… 3
作品　あべのハルカス（作品作風欄既載）…… 3
阿倍野地区のまちづくり／佐藤道彦 …… 3
一日が、街が、アクティビティが、阿倍野からはじまる“はじまりの「a」／久保岳・三木正行・坪村健二・森彩… 3
天王寺MIOのリニューアル「商業施設のメディアファサード活用・巨大ウォールアートの誕生／守安聡司・設楽貞樹・安達哲仁 …… 3
あべのハルカス 高さ300m。超高層複合ビルの企画経緯と都市再生貢献によるまちの活性化／橋岡佳令 …… 3

第20回会員作品“私の空間作法”

Roll With It…／水谷俊博+武蔵野大学水谷研究所 … 4
EDGE HOUSE Ⅳ／森村政悦…… 4
デッキのある中庭を中心に風景を楽しむ／吉村篤一＋建築環境研究所 …… 4
木陰の下に拡がる地域空間／新居照和&ヴァサンティ … 4
回遊する住まい／岸　一 …… 4
20年めのリニューアル／中尾勝悦 …… 4
都市生活の自由／早崎伸一＋平居　直＋平尾和洋… 4
生谷家住宅主屋 －現代の「会所」に蘇生／長瀬博一… 4
地形のリニューアル／田中啓文 …… 4
ガンダムの家／瀬戸本淳 …… 4

オフィスビル設備の変遷とこれから

総論　オフィスビルの変遷とこれから／宮崎ひろ志… 5
各論1　大阪ガスビルディングにみる空調熱源の変遷／山田祐三 …… 5
各論2　オフィスビルにおけるエレベーターの変遷／橋詰裕基 …… 5
各論3　オフィスビルにおける照明設備の変遷／片山就司 …… 5
各論4　オフィスビルトイレ空間の進化と衛生器具の変遷／島田崇康 …… 5
各論5　配電設備の変遷／野田宜男 …… 5
各論6　ワークスタイルの変遷、電話武装からモバイル武装へ／小林佳和…… 5
各論7　情報機器の発達の変遷と未来 －人に寄り添う情報機器へ－／飯田一朗・柳沼義典 …… 5
各論8　オフィスビルの消火防災設備の変遷とこれから／室崎益輝 …… 5
編集後記／岩城憲治・梶井宏修・北野勝也・夏井重行・赤澤正治・欅田輝生・福谷　周・宮崎ひろ志・野崎正二・橋本直樹・桝井貴廣・村上幸三郎 …… 5

オフィスのこれから

総論　オフィスのこれから／仲　隆介 …… 6
各論1　一人ひとりの力を引き出すオフィス／山田雄介… 6
各論2　未来の顧客に開くオフィス～価値協創の場へ～／齋藤敦子 …… 6

号

各論3　働き方と健康／八木佳子…… 6
各論4　オフィスにおける環境対策／伊藤　健 …… 6
各論5　未来の働き方を支える道具 ～文具・工具・電具～／齋藤敦子…… 6
各論6　これからのオフィスの水まわり ～トイレ空間の役割～／石原雄太…… 6
各論7　これからのオフィスにおける内装材とその役割／佐藤弘幸…… 6
事例紹介　トイレをもっと快適に。女性目線で提案するトイレ空間／アイカ工業㈱ …… 6
事例紹介　今、その空間で大地震に耐えられますか？「高耐震間仕切G」のご紹介／㈱イトーキ …… 6
事例紹介　手作りで“自分たちらしい”快適な空間を創造する／原田徹朗…… 6
レポート　「アートビル」を訪ねて －大阪パソナグループビルー／片山和代 …… 6
編集後記／米井　寛・阪上雅也・山田雄介・藤井　昇・冨田浩一・岡崎良雄…… 6

第61回青年技術者

■設計・計画部門－
上野山貴嗣／東海関電ビルディング、山辺広域行政事務組合消防本部天理消防署 …… 7
大平卓磨／コマツリフト堺支店、ミルボン中央研究所… 7
岡田惇史／WARM CITY（サンクトペテルブルグ、ロシア）、K CITY（クラスノヤルスク、ロシア）、NOVINKI（ニジニノブゴロド、ロシア）、BOTANIC GARDEN（モスクワ、ロシア）…… 7
北川拓哉／勤医協中央病院 …… 7
杉山和也／東邦ガス株式会社　西尾サービスセンター、富源商事株式会社　建材部、矢崎総業株式会社　名古屋支店、JSR株式会社　四日市工場本館…… 7
曽我部暁人／みなとみらいグランドセントラルタワー… 7
廣富　純／佛教教育学園　佛教大学　紫野キャンパス新1号館（高層棟）、社会福祉法人　あまーち　拠点施設 …… 7
逸見篤俊／ヤマトビルyamatoBldg、オークラヤ麹町ビルokuraya kojimachi Bldg…… 7
堀　沙樹／教育分野活動としての取組み、東大谷高等学校泉ヶ丘キャンパス、武庫川女子大学　図書館改修、武庫川女子大学　看護科学館（予定） …… 7
若江直生／京都産業大学　雄飛館、関西外国語大学インターナショナル・コミュニケーション・センター、京阪神ビルディング　京阪神西心斎橋ビル …… 7
粕谷貴司／スマートビルからスマートシティへ～建築における情報エンジニアリング新領域の開拓～ …… 7
■構造部門－
足立幸多朗／新潟市消防局・中央消防署庁舎～災害拠点として機能する免震構造～ …… 7
久保山寛之／大規模複合超高層オフィスビルの構造設計／東京スクエアガーデン、新しい制震装置を活用した超高層オフィスビルの構造設計／（仮称）清和梅田計画 …… 7
蔵野昌浩／有効面積2000㎡の無柱空間を実現したオフィスビルの構造設計、過大入力を考慮した免震建物の構造設計 …… 7
下西智也／ツインタワー形状の大規模免震病院 …… 7
高山直行／限られた建築ボリュームを最大限に活用したお客様ニーズを実現する病院の設計 …… 7
■設備部門－
泉　孝典／神戸製鋼所本社ビルにおける環境配慮型技術の導入と運用評価…… 7
堤美沙子／K展示館 ～公開承認施設として機能する設計への挑戦～、K寺院～各種騒音検討と本堂大空間の気流検討～ …… 7
中下一成／医療施設と商業施設における環境と融合する設備計画…… 7
中村友久／河内長野ガス本社・防災支援施設～eco-BCPのつくり込みとISO5001取得に向けた協力、B総合病院～補助金事業への協力と病室換気制御の導入検討 …… 7
西山敏史／大規模電算ビルにおける非常用発電機増設工事 ～建物機能を維持しながらの施工計画と実施～ … 7
藤井拓郎／新千歳空港国際ターミナルビル　気候や施設特性を考慮した省エネルギーへの取組み …… 7
■施工部門－
綛田良樹／現場流PDCAのすすめ …… 7
佐藤有希／省スペース型ユニットフロア工法の開発 … 7
空久保光／複雑な架構を有する鉄骨工事施工効率向上の取り組み…… 7
長谷洋司／RC積層工法による集合住宅の合理化施工の計画と実施 ～3日サイクルへの挑戦 …… 7

号

建築と時間

総論　建築と時間／内藤　廣…… 8
各論1　建築の論に時間を問う／岸田省吾 …… 8
各論2　日本建築という永遠の現在／土居義岳…… 8
各論3　25年 100年 1000年／中谷礼仁 …… 8
各論4　短命建築の教訓　つくり手の自己満足で建物は残らない／瀬川　滋…… 8
各論5　テート・モダンに学ぶ過去と未来をつなぐことの意味／松隈　洋…… 8
各論6　人と人とをつなぐもの ～未来に続く場所へ～／陶器浩一 …… 8
各論7　「おもてなし」と「もてなし」／東　利恵 … 8
編集後記／渡部　剛・神戸嘉也・下坂浩和・大西広朗・静　茂夫・三谷帯介・矢野展寛・米山剛史・野田隆史 …… 8

省エネ・低炭素のこれまでとこれから

総論　住宅・建築物の省エネ施策の最新動向／宮森　剛…… 9
各論1　低炭素な住まいとまちづくりが描く、社会イノベーションの可能性／崎田裕子 …… 9
各論2　都市エネルギー最終需要モデルを用いた温室効果ガス削減予測／下田吉之…… 9
各論3　地球環境未来都市のモデルづくりとエネルギーのマネジメント／佐土原聡…… 9
各論4　伝統的木造住宅の温熱性能と省エネ／篠　節子 …… 9
各論5　ゼロエネルギーライフ（ZEL）の実現に向けて～地域の工務店の取組～／小山貴史 …… 9
各論6　低炭素社会の構築を目指して ～川西市中央北地区低炭素まちづくり計画～／北野啓介 …… 9
各論7　けいはんなエコシティ次世代エネルギー・社会システム実証プロジェクトの概要／二宮　清 …… 9
編集後記／井上久明・岡本 亮二・河野　学・田中幸夫・前田俊文・吉岡　忠 …… 9

大阪・上町台地・あべのハルカス

グラビア …… 10
総論　ターミナル盛り場のモダニズム大鐵百貨店から、あべのハルカスまで／橋爪紳也 …… 10
総論　あべのハルカスによる、阿倍野の街づくり／中之坊健介…… 10
論文　竹中工務店
上町台地とあべのハルカスーアースダイビング私論ー／原田哲夫…… 10
キタ、ミナミ、そしてアベノ／寺田高久 …… 10
ランドマークの接地点／牛戸陽治 …… 10
「透明」なパサージュの可能性／鈴木雅史 …… 10
都市公園と将棋盤／中村雅崇…… 10
四天王寺と超高層ー古の知恵、最新の技術ー／九嶋壮一郎 …… 10
あるランナーが見たハルカス／宮島照久…… 10
Column/コラム 生まれ変わる通天閣／西崎隆氏 …… 10
図面・概要…… 10

複雑・高度化する建築とその技術について

総論　複雑化する設計・施工とBIM／金子智弥 …… 10
各論1　大林組のBIM推進展開 ～変化する社会構造への適応～／中沢英子…… 10
各論2　海外のBIMと生産性向上への取り組み／テクラ株式会社 …… 10
各論3－1　杉板浮造り曲面ホワイトコンクリート打ち放し／髙木俊輔…… 10
各論3－2　杉板浮造り曲面型枠の施工 ～新宿瑠璃光院白蓮華堂型枠工事～／福田秀樹…… 10
各論4　KAPシステムによる複雑鉄骨のモデル化と新生産方式への展望／熊谷和彦 …… 10
各論5　PCカーテンウォール ～複雑化する外装～／佐々木哲也…… 10
各論6　複雑化する建物外壁へのアクセス ～メンテナンス時のゴンドラ活用～／井石康洋 …… 10
編集後記／桜井和男・後藤尉彦・荻巣友貴・髙橋秀一・藤丸啓一・中野敬史…… 10

でっかいものはすごいぞ

総論1　かたちとサイズ力感論ふたたび／長瀬　正… 11
総論2　空想世界の巨大建造物／柳田理科雄 …… 11
各論1　「太陽の塔」－岡本太郎の最高傑作ー／奈良利男…… 11
各論2　復興のシンボル「神戸鉄人28号モニュメント」／野島秀郎 …… 11

号

各論３　子どもたちに夢と元気を届ける －「おいしい風景」ビッグミルチができるまで－／山下敏郎……11
各論４　世界一のスライドドア ～ギネスに登録～／國分裕一 ……11
各論５　どのような巨大なものでも輸送／藤田直己…11
各論６　Unlimited－人はなぜ大きな作品を作るのか／佐々木奈美子 ……11
編集後記／伊藤栄治・岡田健・岸本光平・司馬勢也・瀧野敦夫・角田耕一・橋本宗明・宮久保秀樹 ……11

安井建築設計事務所90周年

■最近の作品から ……12
１．西条市庁舎新館 ……12
２．堺地方合同庁舎 ……12
３．東海関電ビルディング ……12
４．阿倍野A1地区第二種市街地再開発事業A2棟「あべのキューズタウン」……12
５．大阪ステーションシティ・サウスゲートビルディング（アクティ大阪増築）……12
６．九州新幹線 新鳥栖駅 ……12
７．東京国際空港（羽田）国際線旅客ターミナル増築 ……12
８．アステムOWLセンター ……12
９．市民交流プラザふくちやま「ききょう」……12
10．山本能楽堂リニューアル ……12
11．立命館大学びわこ・くさつキャンパス トリシア …12
12．和歌山大学観光学部校舎 ……12
13．近畿大学新食堂棟　BLOSSOM CAFÉ ……12
14．大阪府立精神医療センター ……12
15．兵庫県立淡路医療センター ……12
16．JR久留米駅前第一地区第一種市街地再開発事業「ザ・ライオンズ久留米ウェリスタワー」 ……12
17．hu+gMUSEUM（ハグミュージアム）……12
■建築家三代の系譜 ……12
・建築と社会の関係を見つめつづけて／石田潤一郎…12
・安井武雄 事務所創設と様式創造　佐野正一 事務所継承そして発展　佐野吉彦 新たなる展開 ……12
■記念対談 ……12
人をつないで都市が変わるーアート、建築、コミュニティー／佐野吉彦×森 司 ……12
■U-35の視点 ……12
・医療施設づくりへの想い／山下哲郎・中原岳夫・山本善宏・新井匠・三宅伸幸・古川恵里・唐沢文茜 …12
・新しい学校づくりのアプローチとは／横山俊祐・影林督論・清原健史・上野山貴嗣・原康隆・宮永賛紀・瀬崎康平 ……12
・構造デザインとは／大氏正嗣・安田拓矢・宮武慎一・尾杉友浩・渡邊祥・馬場勇輝・寺田絵美・足立幸多朗・松本裕之……12
・20年、30年先も心地よい環境を目指す／近本智行・福谷周・三宅弘祥・石﨑紫乃・和泉光紀・北川雅大・河内悠磨……12
■安井流まちとの関わり方 ……12

法令コーナー

歴史的建築物の活用 －京都市歴史的建築物の保存及び活用に関する条例－／門川信一郎 …… 1
天井脱落対策を推進／前田　亮 …… 2
昇降機の地震対策について／山本聡志…… 3
奈良県の近代化遺産 －近代化遺産総合調査報告－／矢谷　早…… 4
御堂筋沿道建築物デザイン誘導　御堂筋デザインガイドライン　－Ver.1－／大倉成生 …… 5
顕在化した課題への対応を重点に －第４次神戸市建築物安全安心実施計画策定－／森田　統…… 6
環境配慮型容積ボーナス制度を導入／藤村雅典…… 7
歴史的資源を活かした魅力あるまちづくり －斑鳩町歴史的風致維持向上計画－／柳井孝一朗…… 8
古民家を地域資源に再生 －兵庫県古民家再生促進支援事業－／岡本憲幸…… 9
建築基準法等運用を統一 ～近畿建築行政会議が建築基準法共通取扱い集を策定～／松本俊哉……10
歴史的建築物の保存・活用の促進 －京都市歴史的建築物の保存及び活用に関する条例－／奥山陽二 ……11
空き家対策を総合的に推進 －京都市空き家の活用、適正管理等に関する条例－／寺澤昌人 ……12

構造の頁

超高強度鋼材と２段階ブレーキダンパーを用いた無損傷架構 大林組技術研究所オープンラボ２／岡田郁夫… 1
フラットバーとガラスブロックによる透明なハイブリッド構造体／爰野将児…… 3

号

企業イメージを発信する薄板構造の設計 －新日鐵住金㈱技術開発本部（尼崎）守衛所－／朝日智生 …… 5
大地震を経験した鉄骨造建物の耐震性／難波尚 … 7
神戸旧居留地に建つ歴史的建造物の耐震改修 －神戸商船三井ビル－／見上知広 …… 9
森に浮かぶ寄棟屋根「ダブルアーチ」架構 －生まれ変わった竹中大工道具館－／増田寛之 ……11

設備の頁

建築物の省エネ基準の改正／丹羽勝巳…… 2
トップランナー変圧器 第二次判断基準／齋藤博一 … 4
光源の色温度が心理面に及ぼす影響／宮本雅子 … 6
大阪府立大学の新世代植物工場／小倉東一・福田弘和 …… 8
【エコポンプ】とトップランナーモータ／山田千恵……10
新しい水災害防護設備「neo RiSe」の紹介―無動力／人為操作不要の水災害防護設備―／仲保京一 ……12

新製品レヴュー

付加価値商品によるハイクオリティーな住空間のご提案 アーキテリアシャッター スカイフォールド／スガツネ工業㈱…… 2
双固定子電動機始動で防災設備のイニシャルコストの低減を／㈱サタケ …… 6
「美しさに触れてほしい」アーキズムシリーズ 2014－2016／㈱ユニオン …… 6

再読　関西近代建築 ―モダンエイジの建築遺産―

倉敷アイビースクエア／橋寺知子 …… 1
国鉄関西線奈良駅（現・JR旧奈良駅舎）／山形政昭… 2
大阪瓦斯ビルディング／平井直樹・石田潤一郎 …… 3
大阪聖母女学院／酒井一光 …… 4
住友倉庫川口支店／和田康由 …… 5
真宗大谷派難波別院（南御堂）／植松清志 …… 6
枚岡市庁舎（現・東大阪市旭町庁舎）／橋本健治 … 7
滋賀県庁舎／桐浴邦夫 …… 8
新住友ビル（現・住友ビルディング）／安達英俊 …… 9
関西大学　千里山図書館・専門図書館／橋寺知子…10
千里阪急ホテル／笠原一人 ……11
都ホテル佳水園（現・ウェスティン都ホテル京都　佳水園）／山形政昭……12

関西の建築界／群像

多田正治、遠藤正二郎／真鍋　翼 …… 1
髙砂正弘／吉永規夫 …… 2
菅正太郎／藤原芳寿 …… 3
森下　修／中村圭祐…… 4
西野康造／黒川祐樹 …… 5
生山雅英／野口　伸 …… 6
柳々堂／三矢大祐…… 7
荻野寿也／岡村吉展 …… 8
竹口健太郎・山本麻子／清原健史 …… 9
木村博昭／中川　卓……10
市川かおり／神田泰宏 ……11
香川貴範／駒井陽次 ……12

Member's Forum

『写真マンガでわかる 住宅メンテナンスのツボ』出版記念講演会／山田　修…… 1
U-35委員会企画 1st action「建築と木材」活動報告見学会＆交流会…… 2
第37回プロのノウハウ講座『設計・監理・施工者のための建築品質トラブル予防のツボ』出版記念講演会／上原正行…… 5
U-35委員会企画2nd action「建築と拡場」活動報告講演会＆交流会…… 9

information

１月～12月掲載

入賞発表

●工高生デザインコンクール
第59回工高生デザインコンクール
設計課題／クラブハウス …… 1
●第13回読者と選ぶ「建築と社会」賞入賞発表
【作品部門】
中之島フェスティバルタワー／江副敏史 …… 7
旧ジェームス邸／有田　博・中村圭祐・松隈　章 … 7
IDEC本社・技術研究センター／小松啓一・大平直子… 7

号

上村工業　新中央研究所／
中村文紀・倉橋尉仁・下田康晴 …… 7
【論考部門】
人口減少、高齢化時代の集約型都市圏構造～京都府丹後地域を事例に～／矢作　弘 …… 7
伊勢神宮と式年遷宮／飯田喜四郎…… 7
建築を見る写真家のまなざし／村井　修 …… 7
●第45回　平成25年度　中部建築賞受賞作品発表
【一般部門】
入賞　田園オフィス／AUAU建築研究所 …… 4
入賞　一宮市尾張一宮駅前ビル／山下設計 …… 4
入賞　八事交番／八事山興正寺参拝者駐車場／興正寺公園／三菱地所 …… 4
入賞　北沢建築工場／三澤文子Ms建築設計事務所／MSD 稲山正弘ホルツストラ…… 4
入賞　高志の国文学館／シーラカンスアンドアソシエイツ …… 4
入選　dnb／中渡瀬拡司 …… 4
入選　アロン化成ものづくりセンター／森下建築総研… 4
【住宅部門】
入賞　光の郭／エムエースタイル建築計画 …… 4
入賞　工場から家／裕建築計画…… 4
入賞　覚王山の住宅／ワーク・キューブ …… 4
入賞　緑縁の栖／エムエースタイル建築計画 …… 4
入選　稲沢の住宅　STAGE（S）／clublab …… 4
入選　林の中に住む／丸山晴之建築事務所…… 4

会告

若き創造者たちへ「第61回青年技術者顕彰」へのおさそい、第30回茶室見学会 久田家 半床庵、あべのハルカス見学会（予告）、第11回学生のための現場見学会「NHK新京都放送会館」、日本建築協会中国支部主催建築工事実務講習会 …… 1
若き創造者たちへ「第61回青年技術者顕彰」へのおさそい、第11回学生のための現場見学会「NHK新京都放送会館」、出版委員会企画第37回〈プロのノウハウ〉講座『設計・監理・施工者のための建築品質トラブル予防のツボ』出版記念講演、民間（旧四会）連合協定工事請負契約約款販売のお知らせ、第13回 読者と選ぶ「建築と社会」賞のためのアンケート回答募集、あべのハルカス見学会 …… 2
お知らせ、第13回読者とえらぶ「建築と社会」賞のためのアンケート回答募集、若き創造者たちへ「第61回青年技術者顕彰」へのおさそい、グランフロント大阪ナレッジキャピタル見学会、出版委員会企画第37回＜プロのノウハウ＞講座『設計・監理・施工者のための建築品質トラブル防止のツボ』出版記念講演 …… 3
第60回工高生デザインコンクール（設計課題：私の家）、グランフロント大阪ナレッジキャピタル見学会 …… 4
平成26年度定時総会、講演会と会員交流懇親会、第60回工高生デザインコンクール（設計課題：私の家） … 5
平成26年度定時総会、講演会と会員交流懇親会、佐野正一名誉会長計報および叙位受章のお知らせ、佐野正一氏のご逝去の報に接して／香西喜八郎、佐野正一を悼むー誇り高き近代主義者／石田潤一郎、黄綬褒章受章のお知らせ、第12回学生のための現場見学会「龍谷大学深草キャンパス新１号館（仮称）」、U-35委員会企画　2nd action「建築と拡場」、講演会＆交流会 グランフロント大阪見学会 …… 6
定時総会議決のお知らせ、通常理事会議決のお知らせ、臨時理事会議決のお知らせ、定時評議員会議決のお知らせ、平成25年度事業報告、平成25年度決算報告、平成26年度事業計画、平成26年度収支予算、平成26年度正味財産増減予算、平成26年度日本建築協会役員会務分掌、平成26年度日本建築協会評議員、平成26年度日本建築協会支部長、NHK新京都放送会館見学会、東海支部主催建築家ヴォ・チョン・ギア氏の建築とベトナム歴史建築の旅 …… 7
NHK新京都放送会館見学会、稲盛記念会館見学会 … 8
日本建築協会ホームページリニューアル、稲盛記念会館見学会…… 9
第21回会員作品特集号“私の空間作法”、「続ええとこ」そぞろ歩く御堂筋提案コンクール作品募集 ……10
第21回会員作品特集号“私の空間作法”、「続ええとこ」そぞろ歩く御堂筋提案コンクール作品募集、第13回学生のための見学会「川島織物セルコン本社工場見学会」、平成26年度建築工事実務講習会（本部・東海支部）、第60回工高生デザインコンクール入選者発表ー設計課題：私の家ー、2014年建築関係団体合同忘年懇親会、2015年建築関係15団体合同新年交礼会 ……11
「続ええとこ」そぞろ歩く御堂筋提案コンクール作品募集、平成26年度建築工事実務講習会（本部・東海支部）……12

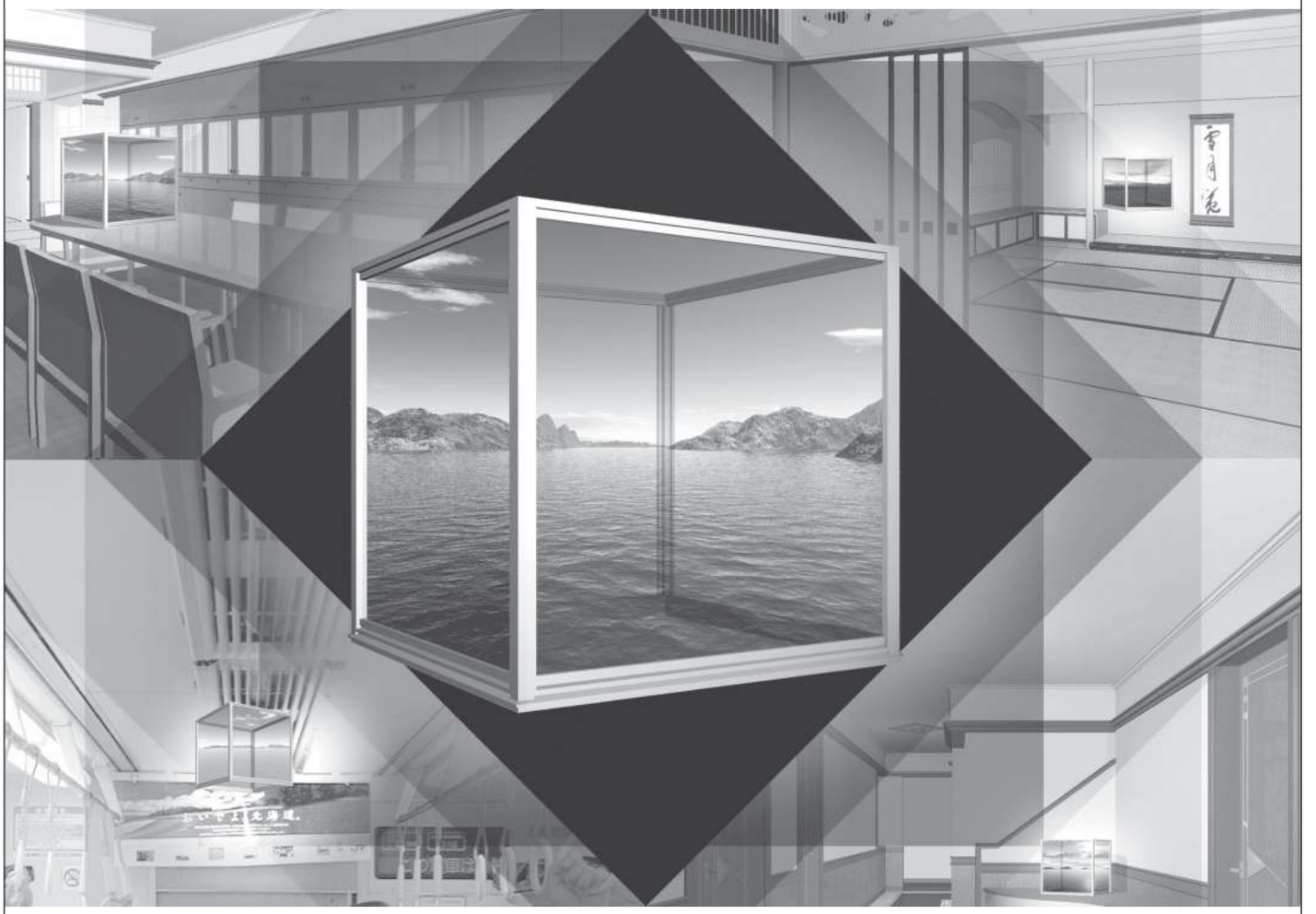
特集：安井建築設計事務所90周年

協賛広告目次

㈱竹中工務店……（表紙2面掲載）
㈱大林組……（表紙4面掲載）
㈱新井組……68
カナフレックスコーポレーション㈱……69
大光電機㈱……70
戸田建設㈱……71
日本フリット㈱……72
㈱淺沼組……73
大阪ガス㈱……73
九鉄工業㈱……74
㈱熊谷組……74
コイズミ照明㈱……75
五洋建設㈱……75
新コスモス電機㈱……76
ダイキン工業㈱……76
大和リース㈱……77
寺岡オート・ドアシステム㈱……77
㈱トーエネック……78
ナブコシステム㈱……78
㈱西原衛生工業所……79
日本電設工業㈱……79
日本エンバイロケミカルズ㈱……80
㈱日本電気化学工業所……80
能美防災㈱……81
㈱平田タイル……81
㈱フジタ……82
フジモリ産業㈱……82
㈱マルゼン……83
三井住友建設㈱……83
㈱免制震ディバイス……84
ヤンマーエネルギーシステム㈱……84
㈱ユニオン……85
アイカ工業㈱……85
旭化成建材㈱……85
㈱安藤大理石……86
伊丹産業設備㈱……86
エア・ウォーター防災㈱……86
㈱エービーシー商会……86
エコムテック㈱……87
㈱エステック……87
荏原冷熱システム㈱……87
㈱小笠原……87
奥アンツーカ㈱……88
オスモ&エーデル㈱……88
鹿島建設㈱……88
㈱川金コアテック……88
川崎設備工業㈱……89
㈱川島織物セルコン……89
キムラ硝子建材㈱……89
木村工機㈱……89
㈱九電工……90
㈱国代耐火工業所……90
㈱クマヒラ……90
クマリフト㈱……90
㈱ケイ・エス・デー……91
㈱建研……91
㈱ゴール……91
コクヨファニチャー㈱……91
㈱佐電工……92
三晃金属工業㈱……92
㈱三冷社……92
J.Pod&耐震工法協会……92
清水建設㈱……93
㈱上滝建設……93
㈱シンキ……93
新明和工業㈱……93
須賀工業㈱……94
住友電設㈱……94
西部電気建設㈱……94
㈱セントラルユニ……94
㈱ダイキアクシス……95
大成建設㈱……95
大日本塗料㈱……95
太陽セメント工業㈱……95
立川ブラインド工業㈱……96
ツルガスパンクリート㈱……96
㈱天童木工……96
東工シャッター㈱……96
東芝キヤリア㈱……97
TOTO㈱……97
東邦レオ㈱……97
東リ㈱……97
特許機器㈱……98
㈱巴コーポレーション……98
ナカ工業㈱……98
㈱ニチベイ……98
ニッタン㈱……99
日本コンクリート工業㈱……99
㈱日本シューター……99
日本ヒューム㈱……99
日本ファイリング㈱……100
日本板硝子ビルディングプロダクツ㈱……100
日本スピンドル製造㈱……100
日本BAC㈱……100
㈱ノザワ……101
パナソニックESエンジニアリング㈱……101
㈱ピーエス三菱……101
日立機材㈱……101
フクビ化学工業㈱……102
㈱藤木工務店……102
フジクリーン工業㈱……102
㈱ふじた……102
㈱フジマック……103
フタバ興業㈱……103
ブリヂストン化工品西日本㈱……103
文化シャッター㈱……103
ホーチキ㈱……104
前田建設工業㈱……104
松尾建設㈱……104
丸五基礎工業㈱……104
三谷セキサン㈱……105
三葉電機工業㈱……105
三菱電機住環境システムズ㈱……105
翠興産㈱……105
美和ロック㈱……106
㈱YAMAGIWA……106
㈱LIXIL……106
㈱LIXIL鈴木シャッター……106
リョービ㈱……107
ルノン㈱……107
㈱ロイヤルファニチャーコレクション……107
ロンシール工業㈱……107
YKK AP㈱……108

（順不同）

創ing Tomorrow



NEXTが見える、発想の窓。

人に、社会に、より身近な企業をめざして、
新井組は地域と調和した
心ふれあう環境づくりに取り組んでいます。
「創ing Tomorrow」
もっと豊かな明日の創造が私たちのテーマです。

ARAI GUMI

株式会社 新井組

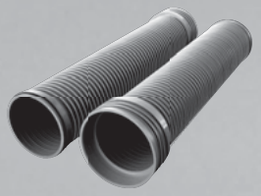
本　社／〒662-8502 兵庫県西宮市池田町12-20　TEL.(0798)26-3111
東京支店／〒105-0022 東京都港区海岸2-2-6 YS海岸ビル3F TEL.(03)6435-2501

都市をまるごと造り上げる。

そんな心意気で、私たちカナフレックスは日々働いています。
都市の地面化で、土地の集水・排水に大きな役割を担う【土木資材】。情報化社会の最前線の現場で生命線というべき電力線・通信線をネットワークする【電設資材】。建設・重軽工業・陸海空輸送・鉱業・農業など産業用から、自動車・家電製品など生活用まで、幅広い分野で活躍する【工業資材】。建物を構成する外壁や内壁、床面、家具に至るまで造ることができる【建設資材】。
これらの製品を研究開発・生産し都市造りに貢献しています。

【土木資材】

金属樹脂複合管
「カナヒュームA型 ワンタッチ耐震継手付」



【電設資材】

電力・通信ケーブル用
多条保護管
「カナレックスML」



ITハンドホール
「デカノック」



【工業資材】

サクション・デリバリーホース

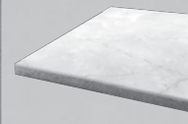


【建設資材】

断熱PCパネル



超軽量天然石複合パネル
「カナストーン」



インフラから建材まで、革新する。



CONSTRUCTION MATERIAL・PIPE＆HOSE

Kanaflex

カナフレックス コーポレーション 株式会社　大阪本社 / 〒530-6017 大阪市北区天満橋1-8-30（OAPタワー17F）TEL (06)6881-0776 FAX (06)6881-0769　http://www.kanaflex.co.jp

私が考える
間接照明の
癒しの全てを
あなたに





間接の女王のノウハウ満載で
アイデアが拡がる

カタログ総頁数 約180ページ、
間接照明ノウハウ 約100ページのボリュームで
お届けします!

間接照明の女王
家元 あき
(TACT 大阪)

INDIRECT LIGHT LINE UP



ダブルライン
吹抜け空間に最適のハイパワータイプ



まくちゃん
器具に幕板がついた画期的な薄型間接



かまぼこライン
光が広がる高拡散タイプ



デコライン
シンプルな形状はコーニス間接に最適



ひゃくまる君
開口寸法100mmの省スペースでも美しく伸びる光



ミニライン
空間にアクセントをそえる適度な明るさ



さんかくライン
サイド間接など演出照明に最適



スイングライン
灯具が可動する間接照明

大光電機株式会社
光環境営業部/Tel.(06)6711-2828　Fax.(06)6711-2829
〒544-0031 大阪市生野区鶴橋5-2-10

DAIKO
http://www.lighting-daiko.co.jp

人がつくる。人でつくる。

ここで過ごす人々の姿を、
ここからはじまるしあわせをイメージしながら。

アイデアでつくろう。情熱でつくろう。
さまざまな人の想いをつないでつくろう。
アタマとココロを使って
人間にしかできないものづくりを目指して。

人がつくる。人でつくる。
それが戸田建設のやりかたです。

戸田建設



www.toda.co.jp　本社 〒104-8388 東京都中央区京橋1-7-1 ☎03-3535-1354

for the Best Quality　for the Earth Environment
ISO 9001・14001認証取得

“一生モノ”の品質、ホーロー壁装材『エマウォール』



タカラスタンダード 宇都宮支店
設計・監理（株）安井建築設計事務所
（この社屋の壁面にはエマウォールを使用しています。）

5つの性能で暮らしを快適にする
高品位ホーロー

美しい　長持ち　清潔
安全　便利

ご相談は全国約170カ所のタカラショールームで！



幅広いラインナップで快適な水まわり空間をご提案します。

タカラスタンダード グループ **日本フリット株式会社**

ホーロー壁装材『エマウォール』	内装用面材『ハイセラール』	各種ガラスフリット
駅舎・公共施設・社屋等の内外装	黒板・ホワイトボード	電子材料用フリット・ホーロー用フリット
サイン・トイレブース	手術室内装・トンネル内装板	セラミック用フリット　など

日本フリット株式会社　〒475-0823 愛知県半田市港町4-5-5　TEL:0569-23-0466　http://www.frit.co.jp/

株式会社 淺沼組



人・都市（まち）・自然のシンフォニー
奏でる旋律は未来です。

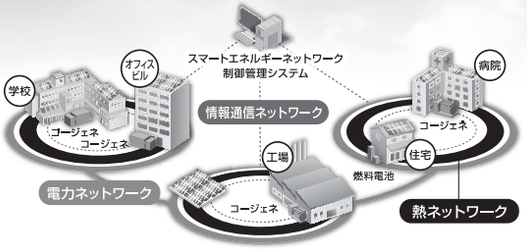
Asanuma

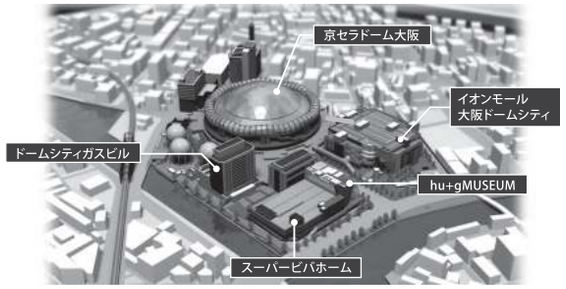
本社・大阪本店　〒543-8688　大阪市天王寺区東高津町12番6号　TEL. 06-6768-5222（代表）
（平成27年1月より下記住所へ移転します）
〒556-0017　大阪市浪速区湊町一丁目2番3号（マルイト難波ビル）　TEL. 06-6585-5500（代表）
東京本店　〒160-0007　東京都新宿区荒木町5番地　TEL. 03-5269-3111（代表）

Design Your Energy 夢ある明日を
大阪ガス

つながるエネルギー、スマエネ。

hu＋gMUSEUMがオープンするドームシティエリアでは、再生可能エネルギーやガスコージェネレーションなどによる「スマートエネルギーネットワーク」で、電気や熱を分け合う、環境性の高い街づくりをしています。





このエリアでスマートエネルギーネットワークに取り組んでいます。



hug MUSEUM

「食と住まいの情報発信拠点」
ハグミュージアム
hu+gMUSEUM
京セラドーム大阪前に
2015年1月30日　グランドオープン！

あなたとともに　まちを造り　未来を創る



KYUTETSU

ISO 9001 14001

総合建設業

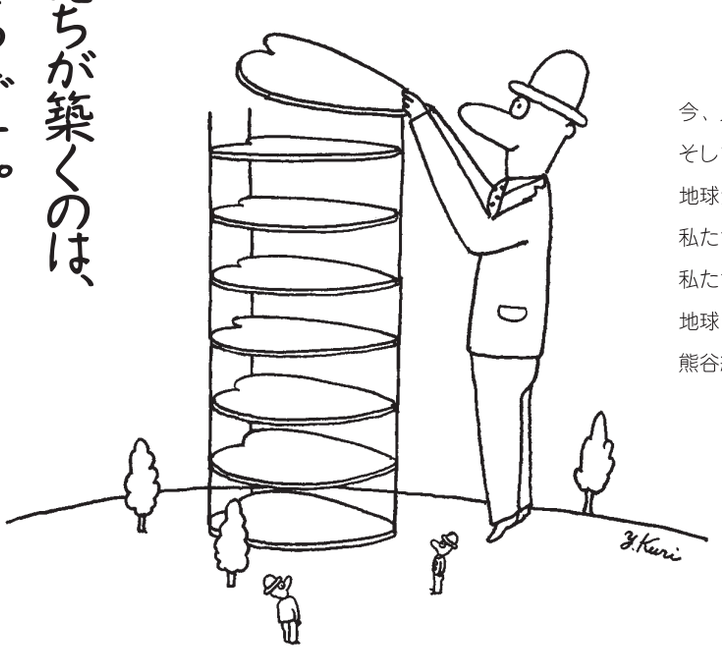
九鉄工業株式会社

代表取締役社長
甲斐　総治郎

■ 土木構造物、建築物及び軌道の設計、施工及び付帯サービス ■　http://www.kyutetsu.co.jp/

本　　社　北九州市門司区小森江3丁目12番10号　(TEL)093-371-1731(FAX)093-391-0544
福岡本社　福岡市博多区博多駅南6丁目3番1号　(TEL)092-475-6760(FAX)092-434-1537
支　　店　北九州·福岡·佐世保·熊本·鹿児島·大分

私たちが築くのは、〝こころ〟です。



今、人は地球について考えています。
そして、自然のことを想っています。
地球があって、緑にあふれ、人々が生活する。
私たちはそんな基本的なことから考えたい。
私たちのふるさと·
地球にやさしい技術の確立。
熊谷組の変わらぬテーマです。

――人と地球の未来を考える――

KUMAGAI　**熊谷組**

KOIZUMI



KLOS
交わる光
「魅せて惹きだす光」



芯のある光の実現と、より美しい色の再現。

New Products ｜ 意匠出願中 ｜ 特許出願中 ｜

cledy versa Optics reflector



独自開発のミキシングチャンバーレンズを搭載し、高演色Ra97、狭角配光10° を実現した
反射板タイプ “cledy versa Optics reflector” が登場。
アパレルショップや高感度の商業施設、生鮮食品のピックアップ等、空間や商品の魅力を惹きだす演出に適しています。

高い演色性

高演色Ra97を達成し、従来型LEDでは難しかった赤みも鮮明に再現。演色性が重視される商品や空間に対応します。

高精度な配光制御

独自開発のミキシングチャンバーレンズに加え、リフレクタの集光設計で芯のある配光を実現。配光角10° 20° 30° をご用意。



美しく自然な陰影

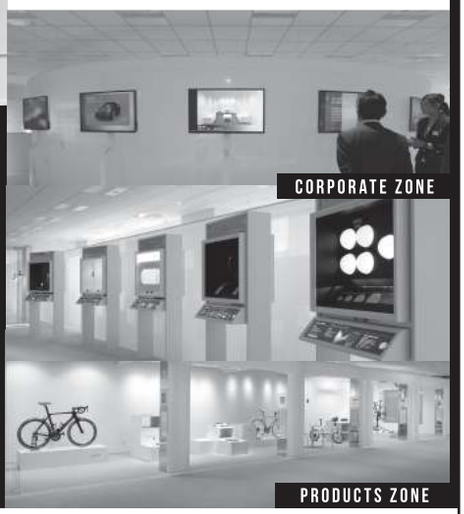
新型COBの採用で、従来型に比べて高効率化を実現。ハイパワーかつマルチシャドーを抑えた自然な陰影が得られます。

感性に訴える
創造の場。

ー うめきた・グランフロント大阪 タワーA 12階 ー

KLOS
KOIZUMI LIGHTING OPERATION STUDIO

LED照明提案型施設「KLOS」は、全長100mのブラインドと650mのデザインウォール(カーテン)で外光を制御し、施設全体で光のあり方を表現しています。
「光」を共通言語にあらゆる垣根を越えて、さまざまなヒト・コト・モノが 交わる(クロスする)場でありたいと考えています。
「KLOS」から放たれる新たな光をご体験ください。



コイズミ照明株式会社
本　　社　〒541-0051　大阪市中央区備後町3-3-7
東京支社　〒101-0025　東京都千代田区神田佐久間町3-12
http://www.koizumi-lt.co.jp/

ワクワク未来
創りたい



Mr.PENTA

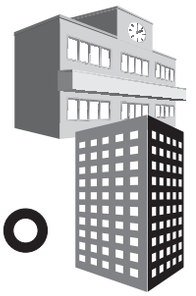
1896年、広島県呉市にて創業した当社は、
進取気鋭の精神と先端の建設技術をもって社会に貢献し、
社会とともに成長してきました。
新たなフィールドへ常に挑戦し続ける心は、
いまでも当社のＤＮＡに引き継がれています。
時代が変わっても変わらないチャレンジスピリットと、
時代の変化に応じた柔軟な自己革新力。
現状に甘んじることなく、一歩一歩着実に前に進む。
その先の向こうへ・・・五洋建設

その先の向こうへ
GOING FURTHER

五洋建設
PENTA-OCEAN CONSTRUCTION

東京都文京区後楽 2－2－8
http://www.penta-ocean.co.jp

教室・オフィスを もっと省エネ。



改正省エネ法対策に。



冷暖房による 電気代とCO2排出量を大幅カット。

中規模オフィス

年間 約20,000円　年間 約1,000kg

※広さ180㎡、在籍人数30名のオフィスを用いた当社実験による。

文部科学省・国土交通省認可
(一社)文教施設協会
推奨品

空気の汚れに応じて換気扇をコントロール

換気扇コントローラ ¥18,000(税別)〜

新コスモス電機株式会社
本 社 ■ 〒532-0036 大阪市淀川区三津屋中2−5−4

換気扇コントローラ　検索
http://www.new-cosmos.co.jp/kanki

DAIKIN

空 調 新 世 紀 、 は じ ま る

VRV X

2015.03 発売予定

NEW 背圧コントロール機構、中間インジェクション回路の採用で革新的省エネを実現し、
従来機と比べて消費電力量 約20%※1 削減。※1. 当社従来機 ビル用マルチ Ve-upⅣシリーズとの比較。

ゼロエネルギー時代を切り拓く新空調システム VRVシリーズ。

◎圧縮漏れによるロスを軽減した「新型圧縮機」搭載　◎実運転時の運転効率を高める「全自動省エネ冷媒制御」搭載

ダイキン工業株式会社 空調営業本部
本　社　〒530-8323 大阪市北区中崎西二丁目4番12号 梅田センタービル
東京支社　〒108-0075 東京都港区港南二丁目18番1号 JR品川イーストビル

ダイキン コンタクトセンター お客様総合窓口

最初に 186 をダイヤルしていただくと折り返しの連絡等がスムーズに行えます。
0120-88-1081…… 全国共通フリーダイヤル
http://www.daikincc.com…… ご相談対応ホームページ

Air Consulting DAIKIN ハートで応える プロの提案

大和リースの「ベストバランス建築」で学校教育施設の建築は、お任せください！！

国公立、私立を問わず、教育施設や、保育・児童施設には、安心・安全な機能が需要なファクターとなっております。
また、同時に耐震性や快適性等、建物に求められる品質は、年々高まっています。
大和リースは、創業以来の豊富な経験を活かし、お客様のニーズにお応えしてまいりました。
今後も、「ベストバランス建築」で安心・安全な施設づくりに努めてまいります。



■施工例（大学施設）

Daiwa Lease
大和ハウスグループ

大和リース株式会社　大阪本店
大阪市中央区備後町1-5-2 大和ハウス備後町ビル　〒541-0051
Tel 06-6229-7900　Fax 06-6229-7890
建設業許可番号:国土交通大臣許可(特-22)第5903号
宅地建物取引業者免許番号:国土交通大臣(7)第3836号
www.daiwalease.co.jp

お問い合わせは　大阪本店
Tel : 06-6229-7900
営業時間：9:00AM～6:00PM　土日祝定休
資料請求はホームページ　www.daiwalease.co.jp

NEXT AUTO DOOR TERAOKA

● 自動ドアのあらゆるニーズにプロがお応えいたします



デザイン対応



バリヤフリー対応



セキュリティ対応

技術と信頼で
明日の扉を開く寺岡オート・ドアシステム



TERAOKA　寺岡オートドアシステム株式会社

本社　☎　03-3493-3585（代）
http://www.teraoka-ads.co.jp/　info@teraoka-ads.co.jp

東京支店　☎　03-3493-3521（代）
大阪支店　☎　06-6372-6066（代）
名古屋支店　☎　052-911-2361（代）
横浜支店　☎　045-450-3355（代）



株式会社 トーエネック

本　　店　名古屋市中区栄 1-20-31　〒460-0008　TEL.052-221-1111
東京本部　東京都豊島区巣鴨 1-3-11　〒170-0002　TEL.03-5395-7111
大阪本部　大阪市淀川区新北野 3-8-2　〒532-0025　TEL.06-6305-2181　www.toenec.co.jp

70th おかげさまで70周年

多機能トイレ自動ドア用
HDS-4i 押しボタンスイッチ
HDS-4i Toilet Door Control Switch

押しボタンの発光による操作アシスト機能で
インテリジェントに進化した多機能トイレ用の 押しボタンスイッチです。
ユニバーサルデザインで ユーザーを優しくアシストします。

▶"わかり易さ"を追求
公共トイレ操作系JIS（JIS S 0026）に倣い、
目の不自由な方が触覚で認知しやすいように、ボタン部を周辺より突起させています。
点字はボタンの上部に表示しました。

▶"押し易さ"を追求
大径ボタンの採用で、体力的にハンディキャップがある方でも、
わずかな力でボタンを押すことができます。



ナブコ自動ドア　自動

東日本地区販売会社
ナブコシステム株式会社 ☎(03)3593-0181
http://www.nabcosystem.co.jp/

製造元
ナブテスコ株式会社
住環境カンパニー
http://nabco.nabtesco.com



株式会社 西原衛生工業所

東京都港区浜松町2-8-14 浜松町TSビル(本社)　TEL(03)6848-0480
本店/首都圏・大阪　支店/札幌・東北・横浜・名古屋・九州
事業内容/給排水衛生設備、冷暖房設備、消火設備の設計、施工
http://www.nishihara-eng.co.jp/



日本電設工業株式会社
本店：〒110-8706 東京都台東区池之端1-2-23
Tel.03-3822-8811　http://www.densetsuko.co.jp

日本電設工業グループ各社
NDKグループ

XYLADECOR 40th Anniversary

40年前、木材保護塗料として
生まれたキシラデコールは、
40年間、多くの方に信頼され、
今なお使われ続けている。





「キシラデコール」は高山市三町伝統的建造物群保存地区でも
町家の保護・保存のための木材保護塗料として採用されています。

屋外木部用 水性・造膜タイプ
キシラデコール コンゾラン®
JASS 18 M-307 を取得
木材色系の充実
優れた 柔軟性
優れた 通気性
優れた 密着性
高耐久性木材保護塗料
Xyladecor Consolan®
塗膜が長持ち＆防腐・防カビ・防虫効果、木材が明るく甦る。
3.5kg/14kg 缶
JASS18 M-307 適合品

屋内木部用 ステイン
キシラデコール インテリア ファイン Fine
水性
3.5kg,14kg
内外揃うキシラデコールカラー
屋外木部用キシラデコールと同系色で揃えられるカラーバリエーション。
こだわりの安全性
食品衛生法、学校環境衛生基準などに適合した、安全性の高い塗料です。微臭のため、室内の塗装に最適です。
ツヤ有り　キツヤ　ツヤ消し
キシラデコール インテリア ファイン トップコート Fine
木目を生かしたクリアー仕上げ。インテリアファインを美しく保護するトップコート。



多くの木造建築・施設での利用実績が品質の証し
Xyladecor®
8年連続 日経アーキテクチュア 建材・設備メーカーランキング 2013 木材保護塗料部門 1位
読者を対象に、建材・設備メーカーの製品採用意向等をアンケート調査 2013年11月25日号
木材保護塗料売上実績 業界No.1

製造販売　日本エンバイロケミカルズ株式会社　提携先：AkzoNobel
［お問い合わせ先］ 0120-124-123
大阪　〒550-0023 大阪市西区千代崎三丁目南2番37号 ドームシティガスビル FAX 06-4393-0054
東京　〒105-0014 東京都港区芝二丁目5番10号 芝公園NDビル3階 FAX 03-5444-9860
www.jechem.co.jp/ ［キシラデコールに関する情報満載！▶ www.xyladecor.jp ］

Nihon Anodizing Co., Ltd.

NACLの表面処理でアルミが変わる
100年建築に貢献する

・地球環境に優しいアルマイトをベースに
・・・塗装下地
－長期耐久性に優れた6～15μmの厚膜の
塗装下地用陽極酸化皮膜処理－



JR西鹿児島駅



丸の内トラストタワーN館

・ステンレスの光沢感をアルミで実現
・・・光輝仕上

・建材用硬質アルマイト処理



扇町キッズパーク

株式会社日本電気化学工業所
ISO認証取得・JIS認証取得　HP ： http://nacl. jp　E-mail ： sc@nacl. co. jp
本　社　大阪府豊中市蛍池西町2-7-26　TEL(06)6843－1235 FAX(06)6853－1632
東京事務所　東京都台東区蔵前2-6-7　TEL(03)3862－0978 FAX(03)3862－7098



身近なシーンから都市のインフラまで。

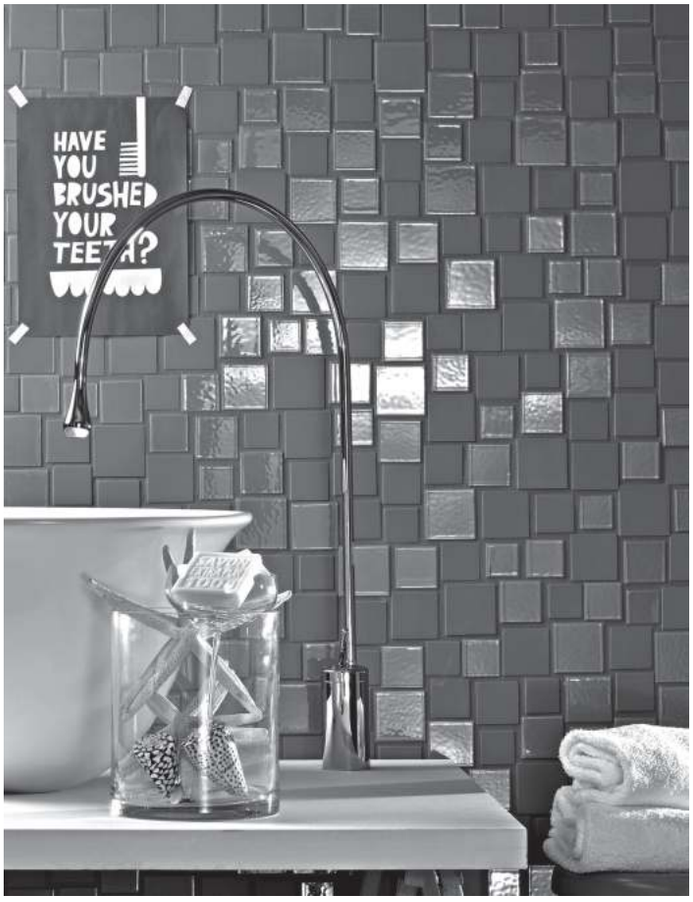
火災から大切な命と財産を守る。

防災のパイオニア

NOHMI 能美防災

本　　社：東京都千代田区九段南 4-7-3　☎03-3265-0211
中部支社：愛知県名古屋市北区御成通 3-1　☎052-915-2411
大阪支社：大阪府吹田市広芝町 7-13　☎06-6330-8661

URL http://www.nohmi.co.jp/



快適で環境に優しい住空間を専門の目で
トータルにご提案。

Hi-Ceramics
Color&Design
BISCUIT sunclay
Best Selection of Handmade Tile　FIRE & EARTH

■本社・ショールーム
〒550-0011 大阪市西区阿波座 1-1-10
TEL 06-6532-1280 / FAX 06-6532-1283
E-mail: development@hiratatile.co.jp

■東京・ショールーム
〒164-0012 東京都中野区本町 1-32-2 ハーモニータワー 1F
TEL 03-5308-1130 / FAX 03-5308-1131
E-mail: tokyo@hiratatile.co.jp

■住宅設備機器■住宅建材■タイル■オリジナルタイル
■タイル工事■住宅設備機器設置工事

株式会社平田タイル　仙台・東京・横浜・名古屋
京都・滋賀・大阪
神戸・姫路・岡山・広島

■企業サイト www.hiratatile.co.jp
■ブランドサイト www.hicera.jp / www.biscuittile.co.jp

FUJITA'S FUTURE

未来は大きな可能性に満ちた希望の世界です。過去は今を創り、
今は未来を創る原動力。フジタは、築き上げた総合力をもって、
次の時代に柔軟に対応していきます。建設を基盤とした豊かな
環境づくりへ。フジタは、いま、人と地域と自然がひとつにつながる、
“高”環境づくりを目指します。子供たちとその子供たちが
のびのびと生きていける快適な環境を創造するために。

たゆまず、未来をつくる。フジタ



FUJITA
Daiwa House Group®

www.fujita.co.jp

fujimori







Quality

品質マネジメントシステムの国際規格であるISO 9001の取得
におごることなく、さらなる品質強化に努めてまいります。

Product

厳しい品質管理のもと、モノ作りの大切さを追求した生産や効率
よい施工等、常に時代に即した創意工夫を心がけています。

Technology

永年蓄積してきた技術・ノウハウをベースに独自の開発・研究を
加えることで、業界をリードする新たな価値を創出します。











フジモリ産業株式会社

《本　　社》東京都品川区東五反田2-17-1（オーバルコートマークウエスト）
TEL.03-5789-2380
《大阪支店》大阪市中央区道修町4-4-10（KDX小林道修町ビル）
TEL.06-6228-3863
《営 業 所》札幌／東北／名古屋／九州　《工場》石岡工場

http://www.fujimori.co.jp

Maruzen
もっと美味しく、もっと省エネ・高機能！
食文化の発展とともに。フードサービス産業のベストパートナー。



厨房機器メーカーとして、豊かな食生活に貢献しています。

それは家族の楽しい食事タイムにとどまらず、
病院や福祉施設での健康回復のための食事、
さらには日本の将来を担う子供たちに対する食育等、
言い尽くせないほどさまざま。

これからもマルゼンは、
さまざまな調理シーンに対応する厨房機器を開発し
新しい時代の食文化の発展に貢献してまいります。



Super Steam
Excellent
スチームコンベクションオーブン「スーパースチーム」

株式会社マルゼン

厨房設計、無料で承ります。

ＥＣＯ＆クリーン。環境にやさしい厨房をご提案します！

大阪支店　TEL06-6538-6011　豊中営業所 TEL06-4865-9391　京都営業所 TEL075-671-5157
滋賀営業所　TEL077-583-1171　堺営業所　TEL072-257-8931　奈良営業所 TEL0742-27-1481
和歌山営業所 TEL073-474-3147　神戸営業所 TEL078-621-5371　姫路営業所 TEL079-234-8961

ほか、日本全国を網羅する全国90ケ所の営業所サービス体制で安心。

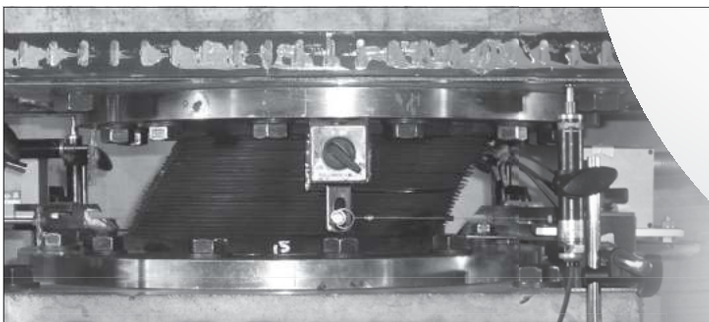
マルゼンのホームページで、
最新の厨房機器をチェック！
マルゼン　検索
www.maruzen-kitchen.co.jp

三井住友建設
http://www.smcon.co.jp/

未来の都市は、地球に優しい。



これからも、いつまでも、カタチを伝えていきます。
技術の進化とは自然への帰化。私たちは、最先端の技術力を活かし、人々と地球を優しく結びつけるものと考えます。私たちが提案する都市は今まで以上に人間らしく、そしてあたたかい。三井住友建設は未来を見つめています。



転がり免震装置

転がり抵抗の摩擦係数はおよそ5/1000、アイススケート並みです。



SnRB 錫プラグ入り積層ゴム
Tin Rubber Bearing
国土交通大臣認定番号（免震材料）MVBR-0323

CLB 直動転がり支承
Cross Linear Bearing
国土交通大臣認定番号（免震材料）MVBR-0372,0373,0374（十字型）
MVBR-0268,0269,0383（キ型、CLB-T）MVBR-0271,0272,0382（井型、CLB-F）

積層ゴム免震装置

装置構成材の組み合わせ自由度が高く、様々な設計条件に適合します。

●転がり免震装置
CLB　直動転がり支承
■積層ゴム免震装置
SnRB　錫プラグ入り積層ゴム
LRI　鉛プラグ入り積層ゴム
NRI　天然ゴム系積層ゴム
●すべり支承免震装置
SLR　弾性すべり系積層ゴム

ADC 免制震ディバイス社の 免震・制震装置
■慣性付き粘性制震装置
iRDT　慣性こま
◢粘性制震装置
RDT　減衰こま
VDW　粘性制震壁
◢粘性減衰装置
RDT　減衰こま

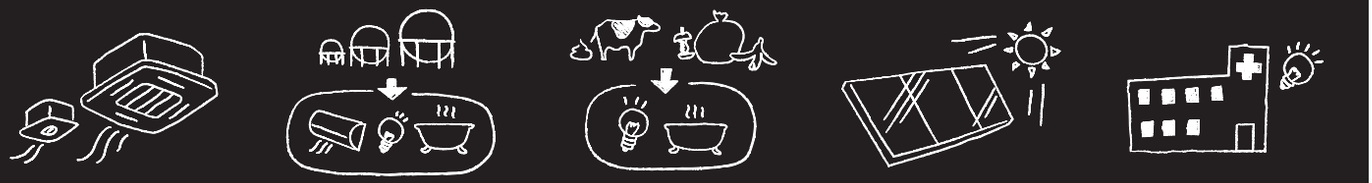
ADC
Aseismic Devices Co., Ltd.
株式会社　免制震ディバイス
http://www.adc21.co.jp
【本社】〒102-0075 東京都千代田区三番町6番26号
住友不動産三番町ビル5階 TEL:03-3221-3741
【技術センター】〒329-0432 栃木県下野市仁良川1726

YANMAR

ご存知ですか、ヤンマーはエネルギーもご提案します。

世界で初めてディーゼルエンジンの小形実用化に成功し、100 年近くにわたって燃料を大切に使う技術を培ってきたヤンマー。農業・漁業に貢献したいという創業時の強い想いは今、都市へ、暮らしへ、エネルギーの課題解決にも生かされています。

発電もヤンマー。
節電もヤンマー。



ピーク時の電力カットにぴったり
ガスヒートポンプエアコン

理想的な分散型エネルギーとして注目
コージェネレーションシステム

未利用のメタンガスを有効利用
バイオガス マイクロコージェネ

地球環境にとって究極の資源
太陽光発電システム

電源の確保が安全の確保
非常用発電システム

これからのエネルギーをトータルに考えると、ヤンマーのエネルギー・ベストミックスです。

ヤンマーエネルギーシステム株式会社

（本社）〒531-0076　大阪府大阪市北区大淀中5丁目12-39　TEL:06-6451-1263　FAX:06-6451-7955

札幌支店 TEL:011-809-2200　仙台支店 TEL:022-258-4366　東京支社 TEL:03-3517-5925　名古屋支店 TEL:052-979-5213
金沢支店 TEL:076-240-0715　大阪支社 TEL:06-4960-8121　広島支店 TEL:082-923-4476　高松支店 TEL:087-874-9115
福岡支店 TEL:092-441-0556　沖縄支店 TEL:098-898-3127

ホームページのご案内　http://www.yanmar.co.jp

非常口用ドアハンドル［パニックハンドル］

パニックハンドルは、通常時には施錠されており、扉の外部側からは侵入できない状態ですが、事故や災害など非常事態の避難時には内部側からプッシュバーを押すだけで簡単に開錠し素早く外に避難できる、防犯と避難確保の機能を兼ね備えている非常に優れた製品です。

UNION



建築文化を創造する
株式会社ユニオン
www.artunion.co.jp

本社・大阪支店　〒550-0015 大阪市西区南堀江2-13-22　tel 06-6532-3731
東京支店　〒135-0021 東京都江東区白河2-9-5　tel 03-3630-2811
名古屋営業所・ショールーム　〒454-0805 名古屋市中川区舟戸町3-20　tel 052-363-5221
アトリエユニオン大阪（ショールーム）　〒550-0015 大阪市西区南堀江2-13-22　tel 06-6532-8920
アトリエユニオン東京（ショールーム）　〒135-0021 東京都江東区白河2-9-5　tel 03-6689-2980

高い美意識とクラフトマンシップ —— デザイン、素材、仕上げに徹底的にこだわり、さまざまな製品を通して豊かな建築文化を創造します

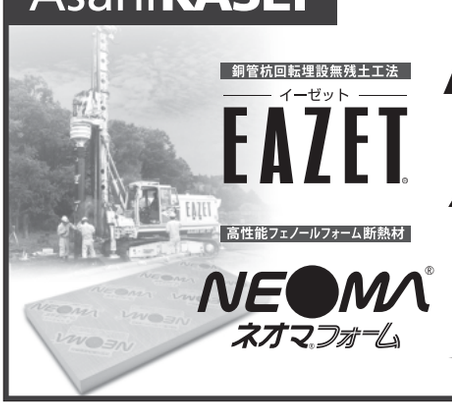


すべての機能は思いやりの発想から。
医療・介護施設で「アイカの技術」が活きています。

医療・介護施設にとって大切なもの、それは思いやりの発想です。アイカでは施設を利用する方々の視点で、利便性や清潔性、デザイン性にこだわった商品を豊富にラインアップ。2面開口で介助スペースが広がるL型納まり建具をはじめ、消臭・抗菌塗り壁材やメラミン化粧板、衝撃吸収フロア、手摺、機能建具など、思いやりをカタチにした多彩な商品で快適・安心な空間づくりをサポートします。医療・介護施設をもっと人にやさしい環境に。あなたの暮らしのそばで、アイカの技術が活きています。

アイカ工業株式会社
〒452-0917 愛知県清須市西堀江2288番地 TEL(052)409-8000(代表)
http://www.aica.co.jp

AsahiKASEI



銅管杭回転埋設無残土工法
イーゼット
EAZET

高性能フェノールフォーム断熱材
NEOMA ネオマフォーム

高摩擦力低排土工法
ATTコラム

露出型弾性固定柱脚工法
ベースパック

高耐久・低汚染塗料ALCパネル
アートミュール Artmule PREMIUM PANEL

明日の世界を想像し続ける。

何時の時代も世界の人々が“いのち”を育み、より豊かな“くらし”を実現できるよう、最善を尽くす事。
創業以来変わらぬ人類貢献への思いを胸に
次の時代へ大胆に応えていくために――。
私たちは、“きのうまで世界になかったものを”創造し続けます。
それが旭化成グループのスローガンです。

旭化成建材　大阪第一支店　大阪第二支店
〒530-8205 大阪市北区中之島3-3-23 中之島ダイビル
TEL：06-7636-3838　FAX：06-7636-3828

未来の建築石材を創造する

株式会社 安藤大理石

本　社　〒140-0013 東京都品川区南大井6-24-10 カドヤビル3F
TEL 03(3765)1114　FAX 03(3765)1117

札幌営業所　北海道札幌市白石区本通4丁目北6-5　フォレストコート301
〒003-0027　TEL 050(3525)1875　FAX 011(864)7580
東北営業所　宮城県仙台市青葉区柏木2-3-17　朝日プラザ柏木110
〒981-0933　TEL 022(343)1343　FAX 022(343)1341
大阪営業所　大阪府守口市竜田通2-5-8　アリーナ守口201
〒570-0025　TEL 06(4250)7733　FAX 06(4250)7711
生産事業部　〒503-2323 岐阜県安八郡神戸町西保120
岐阜営業所　TEL 0584(27)4343　FAX 0584(27)4341
中部営業所　TEL 0584(28)0712　FAX 0584(28)0713

地域社会の発展に広く深く貢献

ITAMI 伊丹産業設備株式会社

本　社：〒664-0836 伊丹市北本町2丁目255番地
TEL 072－777－0001　FAX 072－775－1185
営業所：東播・高槻・羽曳野・京都
URL http://www.itami-grp.co.jp/group/setsubi.html

医療空間の、今と未来を編む



手術室・ICU 設備など、高度医療分野を核とした
トータルコーディネート・各機器の保守・メンテナンスに至るまで
「ワンストップソリューション」をご提案いたします。

お客様のより近くで、より早く、ワンストップなご提案を行う「AM（アム）」だからできる
理想的な病院環境の新しいカタチがここにあります。

ONE STOP SOLUTION

エアウォータ防災株式会社
http://www.awb.co.jp

The Quality 品質はゆずらない

株式会社エービーシー商会

大阪営業所　〒540-0012 大阪市中央区谷町 2-6-4 谷町ビル2F
TEL. 06-6944-4900　FAX.06-6944-9663
大阪ショールーム　AM 10:00 ～ PM 6:00（土曜・日曜・祭日・年末年始休館）

ABC shokai
Architects' and Builders' Consultant

金属製建具工事





時代が求めるモノを 未来にのこすモノを
無から有に、想像を創造する技術集団。

エコムテック株式会社 ECOMTEC CORPORATION

本　　社/〒550-0003　大阪市西区京町堀2-2-1
TEL:06-6445-7400　FAX:06-6445-7410
京滋事務所/〒525-0034　滋賀県草津市草津3-13-63 T.T.Oビル4F
TEL:077-567-3120　FAX:077-567-3123
東京事務所/〒102-0082　東京都千代田区一番町6-1 ロイヤル一番町A-202号
TEL:03-3221-6415　FAX:03-3221-6416

全ての地盤改良工法の設計・施工～軟弱地盤対策・構造物の基礎支持・液状化対策～


エスミコラム工法


WILL工法


エポコラム工法

株式会社 エステック

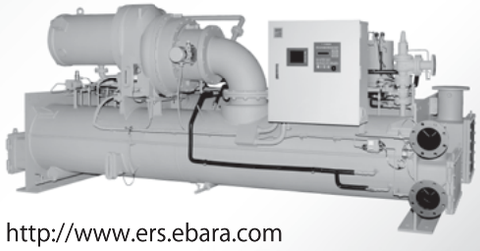
ホームページ
http://www.soc-estec.co.jp

■大阪本社　〒551-0021　大阪市大正区南恩加島7-1-55
TEL.06-6556-2058　FAX.06-6556-2069

■東京支店　〒104-0033　東京都中央区新川1-5-18
TEL.03-6222-2555　FAX.03-6222-2554

～低炭素化社会に向けて～　冷凍機と冷却塔のトータルエンジニアリング

＊主要取扱製品
ターボ冷凍機
吸収冷凍機
スクリュー冷凍機
開放型冷却塔
密閉型冷却塔





EBARA 荏原冷熱システム株式会社　http://www.ers.ebara.com

フリーユニットバス
株式会社 小笠原

本社　〒812-0016　福岡県福岡市博多区博多駅南 6 丁目 12 番 25 号
第二小笠原ビル
TEL(092)431-2751　FAX(092)472-5715

祝

創立９０周年 おめでとうございます

スポーツ施設づくりの
奥アンツーカ株式会社

世界で愛される信頼のブランド
OSMO & EDEL



日射エネルギーの80%をカット！（室内ブラインドの約3倍）

効果的な日射しのコントロールで、
夏涼しく冬暖かく

外付けブラインドシステム
warema
ヴァレーマ

夏の強い日射しを遮り涼しい空間をつくり、
冬は積極的に日射しを取り込み部屋を暖める
ドイツ生まれの外付けブラインド"ヴァレーマ"。
日本古来の「よしず」「すだれ」にも共通する
合理的な日除けのしくみです。
効果的な太陽光のコントロールで、
省エネ&快適なエコ生活を実現しませんか。


外からの視線を遮りながら、
室内からの景観を確保


1955年の創業以来、外付けブラインドのトップブランドとして省エネに貢献するヴァレーマ社の製品は世界で広く愛用されています

オスモ&エーデル株式会社 エーデル事業部 EDEL
本社：〒673-1111 兵庫県三木市吉川町上荒川748-6 TEL.(0794)72-1555 FAX.(0794)72-1711
●詳しくはWebで http://www.osmo-edel.jp/
ヴァレーマ 検索
OSMO 25th 2014 オスモ創業25周年

１００年をつくる会社

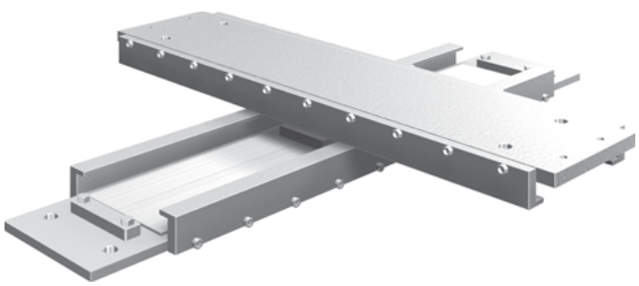
鹿島
KAJIMA CORPORATION

本　　社：東京都港区元赤坂1丁目3番1号
関西支店：大阪市中央区城見2丁目2番22号・マルイトOBPビル
　　電話06（6946）3311
http://www.kajima.co.jp/

安全・安心のテクノロジーで未来を拓く、
川金コアテックの「免・制震技術」

Tomorrow's Technology, Today.
Kawakin Holdings Group

・免震ダンパー (KYM)　・積層ゴム支承 (KNRH)
・剛すべり支承 (KMB)　・制振ダンパー (KYD)
・一般構造用すべり支承 (KMB)



Kawakin
株式会社 川金コアテック
本　　社　Tel.048(259)1161　Fax.048(259)1141
大阪支店　Tel.06(6374)3350　Fax.06(6375)2985

環境技術で、暮らしや街を、ささえたい。

”環境の豊かさ”
それが私たちのテーマです。
人を見つめ、オフィスを考え、都市空間を創造する川崎設備工業は、
いま、空調技術を通して二十一世紀の快適環境づくりにチャレンジしています。



空気と水のクリエイト
KAWASAKI 川崎設備工業株式会社 西部支社
〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原四丁目１番14号　TEL 06-6396-8400(代) FAX 06-6396-8405
執行役員 支社長　番　清彦

■事業内容／空調・衛生設備工事、電気工事、消防設備工事、他

エコマーク認定置敷ビニル床タイル



REFINEBACK EXA
リファインバックエグザ

CO2 −13% by RECYCLED BACKING
塩ビバッキング層のリサイクルによるCO2削減量※
＋
CO2 −8% with GREEN ENERGY
グリーン電力使用によるCO2削減量※

業界で初めて「グリーン・エネルギー・マーク」を採用。製造過程で発生する電力をグリーン電力で充当しています。CO2削減効果もあり、低炭素社会実現に貢献します。

株式会社川島織物セルコン
www.kawashimaselkon.co.jp
商品のお問い合わせはフロアカバリング商品部まで
03-5144-3853 9:00AM～5:00PM（土、日、祝日、特別休日を除く）

KIMURA GLASS　一歩一歩を大切に……。

安全・快適なガラス空間の創造を目指して
キムラは総合技術力でお応えします

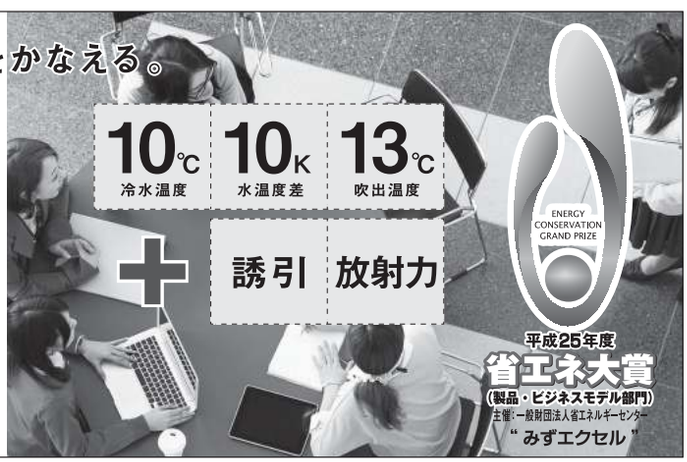
キムラ硝子建材株式会社
〒540-0037 大阪市中央区内平野町3丁目2番11号
TEL.06(6941)4181(代) FAX.06(6941)4183

省エネ性も、経済性も、快適性も。すべてをかなえる。

冷温水式 高効率空調システム
みずエクセル

「みずエクセル」は空調システムとしてはじめて、省エネ大賞に輝きました。
オフィスビル、大学キャンパス、病院などにおすすめです。

木村工機株式会社　大阪営業本部
〒542-0062 大阪市中央区上本町西5-3-5上六Fビル TEL(050)3733-9401



Make Next.
九電工

代表取締役社長　西　村　松　次

〒815-0081　福岡市南区那の川 1-23-35
☎（092）523-1691　FAX（092）524-3269

AGORA
国代耐火工業所
http：//www.agorabrix.co. jp

agoragene



営業本部：東京都港区麻布十番2-14-11　TEL.03-5484-9246
本　　社：岐阜県多治見市笠原町4022-35　TEL.0572-43-5915
大　　阪：大阪市中央区平野町4-6-16　TEL.06-6229-9246
名 古 屋：岐阜県多治見市笠原町4022-35　TEL.0572-43-5925
札　　幌：札幌市豊平区西岡4条14-12-20　TEL.011-555-6086

Smart&Security
SECURITY GATE　オフィスエントランスをスタイリッシュに演出しながら、厳正なセキュリティを実現します。
Kumahira
http://www.kumahira.co.jp/



ユニゲート　2009年グッドデザイン賞受賞
そっと空間にとけこむ、美しさも機能です。



モードゲート　2010年グッドデザイン賞受賞
さりげない存在感が、境界線をつくる。



ライトゲート　2011年グッドデザイン賞受賞
コンパクトだからどこにでも、安全だから誰にでも。



スターンゲート　2012年グッドデザイン賞受賞
限られたスペースにも、強固なセキュリティを。

株式会社クマヒラ　関西支社
〒541-0056　大阪市中央区久太郎町 1-9-23 TEL 06-6262-2221

●ショールームで実機をご覧いただけます
大阪ショールーム 06-6262-2221/ 東京日本橋ショールーム 03-3270-4381/ 広島ショールーム 082-248-1411



各種昇降機の
製造・販売・据付・保守
クマリフト

大阪本社／〒550-0003　大阪府大阪市西区京町堀 1-12-20
TEL：06-6445-6700　FAX：06-6445-6780
http://www.kumalift.co.jp/

電設資材の総合卸売業

KSD

株式会社 ケイ・エス・デー

本　　社　〒813-0034　福岡県福岡市東区多の津１丁目１番３号
福岡支店　　TEL(092)622-3755(代)・FAX(092)622-3758
大分支店　〒870-0924　大分県大分市牧２丁目１番11号
TEL(097)551-8911(代)・FAX(097)556-3759
熊本支店　〒861-8035　熊本県熊本市東区御領１丁目11番20号
TEL(096)380-3946(代)・FAX(096)389-0109
鹿児島支店　〒892-0875　鹿児島県鹿児島市川上町２７５０の１２
TEL(099)243-1222(代)・FAX(099)244-9555
東京事務所　〒105-6008　東京都港区虎ノ門４丁目３番１号城山トラストタワー8階(株)SDS内
TEL(03)3432-2407(代)・FAX(03)3432-2385

●プレキャスト・プレストレストコンクリート工事

株式会社 建研

大阪支店　〒532-0011 大阪市淀川区西中島五丁目８番３号　TEL 06−6308−8612　FAX 06−6308−8622
本　社　〒103-0012 東京都中央区堀留町一丁目４番８号　TEL 03−5651−8219　FAX 03−5651−8247
URL http://www.kenken-pc.com/

鍵違い ―――― 1,000兆2,800億通りの防犯力。

GOAL®
SINCE 1914

ディンプルキー・GV24リバーシブルピンシリンダー

GRAND V（グランブイ）シリンダー

キーチェンジが何回でもできるGV-UKS 2
システムを新搭載。





株式会社ゴール　URL...http://www.goal-lock.com
■本　社：〒532-0032 大阪市淀川区三津屋北2-16-6 ☎（06）6309-1271（代）FAX（06）6302-0561
■東京支店：☎（03）3452-6341（代）■大阪支店：☎（06）6308-5441（代）■富山支店：☎（076）434-3971
■営 業 所：札幌・仙台・名古屋・広島・高松・福岡　■工 場：佐賀・米子・徳島・大阪・台湾
ありがとうございます。おかげさまで2014年11月20日に創立100周年を迎えました。

KOKUYO
ひらめき・はかどり・ここちよさ

オフィス・施設用家具・建材の製造

コクヨファニチャー株式会社

お問い合わせ
TEL 0120-201594

〒537-8686　大阪府大阪市東成区大今里南６丁目１番１号



株式会社　佐　電　工
代表取締役社長　杉町慶治
本社　／　〒840－0815　佐賀市天神一丁目４番３号
TEL　0952（23）4144
URL　http://www.sadenko.co.jp

三晃金属工業は地球に優しい屋根を考えます

私たちは、屋根のトップメーカーとして環境を重視した「地球に優しい」屋根づくりに努力しています。顧客からみた快適な居住性はもちろんのこと、優れた耐久性や美しさ、更に施工のしやすさ等、屋根づくりにおけるトータルパフォーマンスが目標です。これからも創業以来培ってきた独自のノウハウを最大限に活かし、21世紀にふさわしい、新しい屋根の創造を目指します。

三晃金属工業株式会社
Sanko
金属屋根工事
防　水　工　事
改修・塗装工事
ソーラー工事

三晃金属工業株式会社　URL http://www.sankometal.co.jp/
本　社／〒108-0023　東京都港区芝浦4-13-23　MS芝浦ビル11F
■屋根営業本部　●営業推進部　TEL:03-5446-5606　●ソーラー屋根営業部　TEL:03-5446-5608
●改修・塗装営業部　TEL:03-5446-5607
■東京支店 TEL:03-5446-5610　■横浜支店 TEL:045-681-1235　■名古屋支店 TEL:052-323-8621　■大阪支店 TEL:06-6444-9011
■中国支店 TEL:082-264-7881　■九州支店 TEL:092-441-3551　■北海道支店 TEL:011-726-3551　■東北支店 TEL:022-217-6680

株式会社　三　冷　社

本　　社	〒103-0023 東京都中央区日本橋本町3丁目4番6号（ニューカワイビル）	TEL.03-3231-3966
東 京 支 社	〒130-0024 東京都墨田区菊川2丁目21番4号（四国菊川第一ビル）	TEL.03-5624-1070
西日本支社	〒550-0003 大阪府大阪市西区京町堀2丁目9番8号（野澤ビル）	TEL.06-6446-6101

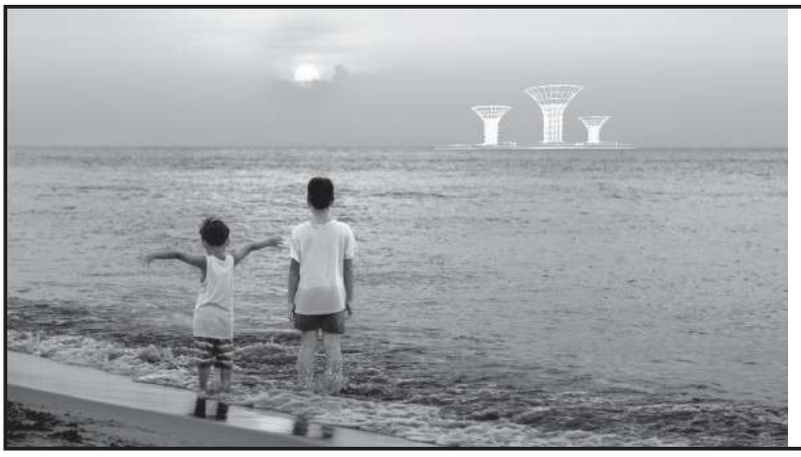
営業品目
□冷凍冷蔵、空気調和、給排水衛生設備
□設計、施工、アフターサービス業務
□食品加工施設における
・HACCP対応システム
・冷凍・冷蔵システム
・低温空調システム
・クリーン化システム
・省エネルギーシステム
・結露、カビなどの環境対策
・予防保全を考慮したメンテナンス


j.Pod 耐震シェルター




耐震リング R10・S10

j.Pod&耐震工法協会
〒540-0032　大阪市中央区天満橋京町 1-27 ファラン天満橋６F
TEL/FAX　06-6809-3143　http//www.jpod-eng.com



SHMZ

夢から未来を始めよう。

子どもたちに誇れるしごとを。

SHIMIZU CORPORATION
清水建設

シミズ・ドリーム　検索

技術と信頼で郷土発展に貢献する

JOTAKI　株式会社 上滝建設

代表取締役　上 瀧　隆

本社:佐賀県佐賀市今宿町2-5　TEL(0952)29-3111　FAX(0952)23-0195

時　代　の　扉　を　切　り　拓　く

金属製建具/設計・施工

株式会社　シンキ

〒530-0037　大阪市北区松ヶ枝町4-9

TEL　06-6353-1054　FAX　06-6353-1057



SMARTSolution

世界有数の地震国を支える
駐車設備であること。

エレベータ方式駐車設備「エレパーク®F」

ELEPARK F

新明和工業株式会社 パーキングシステム事業部

〒110-0005 東京都台東区上野7丁目12-14 ☎(03)3842-6101 FAX(03)3842-6102

札幌 ☎(011)643-4461 仙台 ☎(022)298-1810 東京 ☎(03)3842-6101 名古屋 ☎(052)678-3884

大阪 ☎(06)4803-0900 広島 ☎(082)285-5430 福岡 ☎(092)472-4070

ホームページアドレス：http://www.shinmaywa.co.jp/parking/



環境と未来の世代のために。

空気と水の環境エンジニア
SUGA
須賀工業株式会社
東京本社 03-5688-8100
大阪支社 06-6441-5171
URL http://www.suga-kogyo.co.jp/

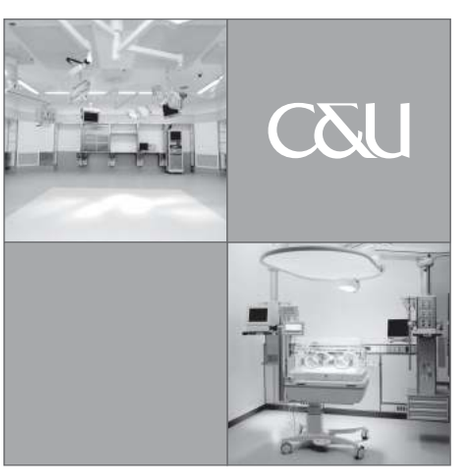
快適な環境づくりに確かな技術で貢献する

住友電設株式会社

〒550−8550　大阪市西区阿波座2−1−4　TEL 06(6537)3400
http://www.sem.co.jp

信頼と技術で社会に貢献する
http://www.seibu-d.com
Seibu
西部電気建設株式会社
代表取締役社長　阿曽　康彦

神戸本社　神戸市灘区都通4丁目1番１号　TEL.078-882-4051
大阪支店　大阪市中央区博労町1丁目3番17号　TEL.06-6260-7587
姫路支店　姫路市保城981番地の1　TEL.0792-24-3512

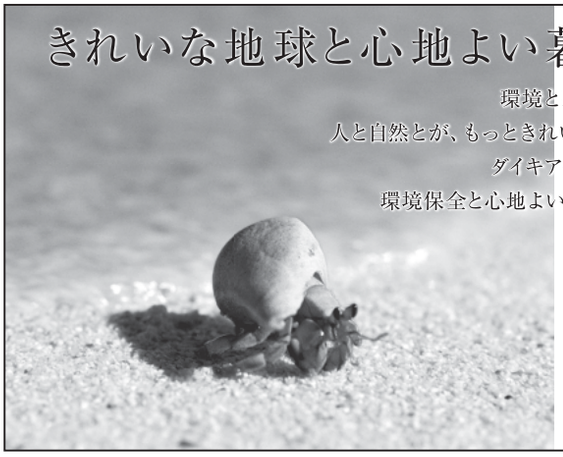


「いのち」を守る環境づくりのお手伝い これからも…
株式会社 セントラルユニ
http://www.central-uni.co.jp

本　社／〒101-0065　東京都千代田区西神田2-3-16
Tel(03)3556-1331 Fax(03)3556-1332

支社 / 東北・東京・名古屋・大阪・広島・九州　工場 / 小倉





きれいな地球と心地よい暮らしのために

環境と暮らしを見つめて続けて半世紀。
人と自然とが、もっときれいな水や空気でつながる明日へ。
ダイキアクシスは独自の発想力と情熱で
環境保全と心地よい暮らしの実現に貢献しています。

Daiki AXIS

株式会社 ダイキアクシス

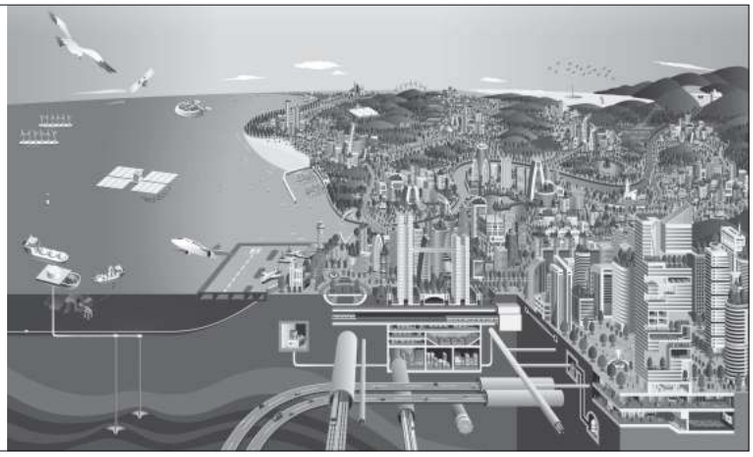
http://www.daiki-axis.com/［証券コード：4245］

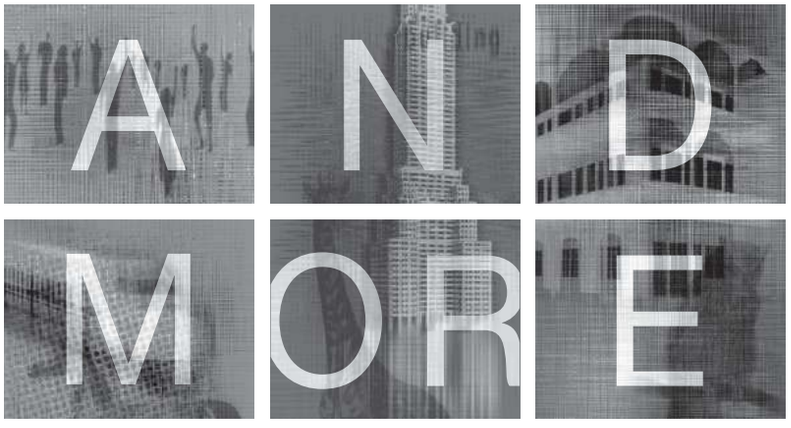
主な業務内容：□各種排水処理装置および飲料水製造装置の設計・製造・販売・施工・維持管理
□各種建設材料・住宅設備機器の販売・施工　□廃食用油を原料とするバイオディーゼル燃料の精製・プラント販売　□ボトルウォーターの製造・宅配　等

For a Lively World

地球がいきいき、人もいきいき。
大成建設がめざす未来です。

TAISEI 大成建設株式会社





「AND MORE〜もっとやさしく、さらに先へ〜」
をキーワードに夢と情熱をもって、
機能性・先進性に優れた環境対応形商品を開発し、
社会に貢献しています。

・・・彩りに優しさをそえて・・・
未来へつなぐ
DNT
DAI NIPPON TORYO

大日本塗料株式会社
〒554-0012 大阪市此花区西九条6-1-124
建築・構造物塗料事業部 建築塗料
大阪☎06-6466-6624 東京☎03-5710-4503
http://www.dnt.co.jp/
塗料相談室フリーコール0088-22-1641



新しい壁式構造
鉄筋コンクリート組積造（RM造）

HRM構工法

太陽エコブロックスグループ

太陽セメント工業株式会社

本　　社	〒553-0006	大阪市福島区吉野4-22-9	TEL 06-6466-6751　FAX 06-6466-6760
東京営業本部	〒101-0032	東京都千代田区岩本町1-13-5	TEL 03-5825-8771　FAX 03-5825-8772
関西営業本部	〒553-0006	大阪市福島区吉野4-22-9	TEL 06-6466-6751　FAX 06-6466-6760
中部営業所	〒486-0907	愛知県春日井市黒鉾町大久手32-1	TEL 0568-35-2888　FAX 0568-35-2855

http://www.taiyo-cement.co.jp

関連会社
太陽サーブ株式会社 / 株式会社エコブロックス

地球温暖化防止へのメッセージ

ecobloxx®
TAIYO CEMENT INDUSTRIAL CORP.



DENX



環境対策 省エネルギーブラインド

グラデーションブラインド®

［角度変化型ブラインド］

自然光をもっと活かして、オフィスの奥まで明るく。

グラデーションブラインドは、スラット（羽根）の角度が一枚ごとに変化しています。上部のスラットは、自然光をゆるい角度で部屋の奥まで導き、下部のスラットは急角度で天井に反射させて窓際を照らすので、窓面を眩しく感じさせることなく、自然光を室内に効率よく取り込むことができます。

立川ブラインド工業株式会社

本社 〒108-8334 東京都港区三田 3-1-12 Tel.03-5484-6100（大代表）

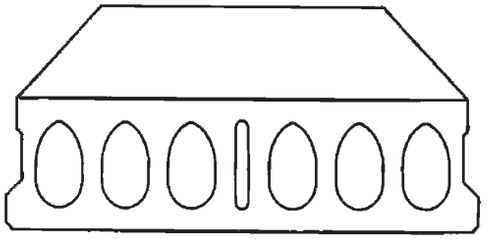
ショールーム

銀　座：〒104-0061 東京都中央区銀座 8-8-15 青柳ビル …… Tel.03-3571-1373
仙　台：〒980-0004 宮城県仙台市青葉区宮町 5-1-12 …… Tel.022-275-1311
金　沢：〒921-8015 石川県金沢市東力 4-181 …… Tel.076-291-1146
名古屋：〒451-0066 愛知県名古屋市西区児玉 3-4-4 3F …… Tel.052-532-5085
大　阪：〒531-0071 大阪府大阪市北区中津 2-3-5 2F …… Tel.06-6374-1813
高　松：〒760-0080 香川県高松市木太町六区 2662-1 …… Tel.087-837-2720

http://www.blind.co.jp

穴あきPC板のブランド製品

スパンクリート



〈用　途〉

外壁、内壁、防音壁
一般床、プラットフォーム、水路蓋
工場、倉庫、学校、病院、集合住宅用合成床

ツルガスパンクリート株式会社

〒531-0072 大阪市北区豊崎3-9-7（いずみビル）
TEL 06（6374）1245　FAX 06（6371）3823
URL http://tsuruga-span.co.jp/





休憩中の森林を利用した、地産地消の家具作りをサポートします。

先人たちが植えたスギやヒノキの多くは、長い間出番を与えられないままでいます。
それらの木々を少しでも活かし、優れた家具として里帰りさせる。
私たちはスギの間伐材を圧密し成形する、新しい技術を開発しました。



株式会社天童木工　大阪支店／ショールーム

〒550−0015　大阪市西区南堀江2−13−28
TEL 06-6531-4131　FAX 06-6531-4935　info@tendo-mokko.co.jp
詳細はホームページをご覧下さい　→　http://www.tendo-mokko.co.jp/

イスターカーテン

LONG
LIFE
DESIGN
2014





http://www.toko-ss.co.jp/
TOKO 東工シャッター株式会社

TOSHIBA
Carrier

空冷ヒートポンプ式熱源機
ユニバーサルスマートX（エックス）

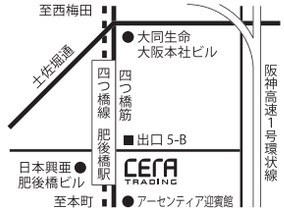


①世界最大容量インバータツインロータリー圧縮機採用によるヒートポンプ活用範囲の拡大
②ターボ冷凍機並みの冷却COP6．30※を空冷式にて実現
③最大6400馬力の超大規模物件にも対応する柔軟なシステム制御を実現

※:外気温度35℃、冷水入口/出口温度14/7℃、冷却能力85ｋWで運転した場合を示します。内蔵インバータポンプの消費電力は含みません。

東芝キヤリア株式会社　http://www.toshiba-carrier.co.jp

セラトレーディング 大阪支店 オープン！
展示スペースを併設しておりますので、ぜひ実際に見て、触れて、感じてください。



大阪展示スペース　New!
〒550-0002
大阪府大阪市西区江戸堀 1-5-16 肥後橋 MID ビル 1F
tel: 06-6225-3640
[開館時間] 10:00～12:00 13:00～17:00
[休館] 土·日·祝·夏期休暇·年末年始
※大阪市営地下鉄 四つ橋線 肥後橋駅 5-B 出口徒歩 1 分





セラトレーディングは TOTO のグループカンパニー。
「デザイン」「確かな品質」「安心のアフターメンテナンス」の３つを柱に、世界の上質な水まわり商品をご提案します。

セラトレーディング株式会社 本社　〒107-0062　東京都港区南青山 1-24-3 TOTO 乃木坂ビル 1F　tel: 03-3796-6151　http://www.cera.co.jp/

CERA TRADING

Solamie
屋上を、人の暮らしを潤す場所へ。



しあわせ環境クリエイター
東邦レオ株式会社　http://www.r-green.jp/solamie/



永く、強く、美しく。
NW
NO WAX

ワックスメンテナンス 0回
ワックスメンテナンス費 0円
ワックスメンテナンスが、ゼロへ
環境負荷を減らして、地球にやさしく
ワックス作業による不便がなくなり、快適に



SFフロアNW
5,300円/㎡(材料価格 税抜き価格)

ワックスメンテナンスが不要な床材「東リNWシリーズ」誕生！

ホスピュームNW
4,000円/㎡(材料価格 税抜き価格)

東リ株式会社　http://www.toli.co.jp/　西日本営業開発部：06-6943-1645　東日本営業開発部：03-5403-2067

振動を科学する会社 ―特許機器株式会社―

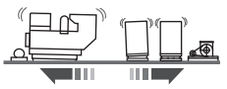
減震
"genshin" coherent technology for vibration control

特 長

- 大地震に備えた事業継続計画（BCP）をサポート
- 通常時は安定した防振性能を発揮
- 地震時は震度７クラスの地震力を震度5へ低減し機器の破損を軽減
- 国土交通省監修「建築設備耐震設計･施工指針」に準拠



減震対策効果
設備機器への影響を
震度5クラスに低減（早期復旧）



Oscillation Science for the Future
特許機器株式会社

第一営業部
東京　〒101-0031　東京都千代田区東神田 2-5-15　TEL（03）6831-0001
関西　〒660-0833　兵庫県尼崎市南初島町 10-133　TEL（06）6487-3202
中部　〒460-0003　名古屋市中区錦 2-10-13　TEL（052）220-0888
九州　〒812-0011　福岡市博多区博多駅前 3-2-8　TEL（092）474-2773

TOMOE CORPORATION

【 総合建設・立体構造・鉄塔・橋梁・鉄骨 】

株式会社 巴コーポレーション

代表取締役社長　深 沢　隆

本　　社　〒104-0054　東京都中央区勝どき4-5-17　TEL 03-3533-5311
大阪支店　〒530-0043　大阪府大阪市北区天満2-1-31　TEL 06-6352-5031
支店 ／ 東京・札幌・東北・宇都宮・名古屋・大阪・九州
工場 ／ 小山・札幌・苫小牧・十和田・千葉

URL：http://www.tomoe-corporation.co.jp

高品質高機能な建築金物で快適な空間構築に貢献します。



製品の詳細やCADデータは、ホームページをご覧ください
http://www.naka-kogyo.co.jp

やさしさと安心を　たしかな技術で支えます。
ナカ工業株式会社

お電話でのお問い合わせは西日本営業推進部まで
TEL 06-6886-8961



より上質に、さらに格調高く

―― ウッドブラインド「クレール」モデルチェンジ ――

1. 天然木の質感を自在にコーディネート。スラットカラーに新色登場。
2. 昇降コード穴をなくし遮蔽性を UP。「クレールグランツ」誕生。
3. 防炎性能＋耐水。ホテルに最適な「防炎・耐水タイプ」新登場。

N株式会社ニチベイ
http://www.nichi-bei.co.jp
関西支店／大阪市中央区北浜東 1-8
TEL.06-6949-3711

NITTAN

高度な防災システムを最適な形で



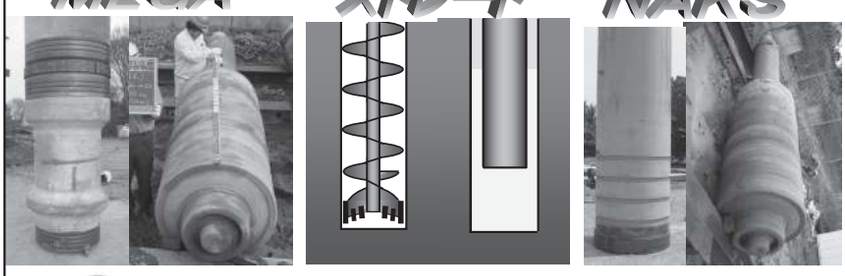
人のそばに、確かな防災テクノロジー。

ニッタンは、“防災”を快適な毎日の基本ととらえ、
小規模から大規模のオフィスビルをはじめ、公共施設、
住宅施設など、多彩なスペースの安全環境を高度な
防災テクノロジーで見守っています。

ニッタン株式会社

関西支社／〒530-0042 大阪市北区天満橋1-4-9 Tel.06-6354-2848
大津支店／〒520-0006 大津市滋賀里1-9-3 Tel.077-523-3249
京都支店／〒600-8008 京都市下京区四条通烏丸東入長刀鉾町20 Tel.075-213-5501
神戸支店／〒651-0083 神戸市中央区浜辺通2-1-30 Tel.078-241-3821
奈良営業所／〒630-8325 奈良市西木辻町200-62 Tel.0742-23-3664
和歌山営業所／〒640-8297 和歌山市西河岸町41-5 Tel.073-428-0145
ホームページ　http://www.nittan.com/

Hyper MEGA　Hyper ストレート　Hyper NAKS



日本コンクリート工業株式会社
NIPPON CONCRETE INDUSTRIES CO, LTD.

本　　社／〒108-0023 東京都港区芝浦4丁目6-14
（NC芝浦ﾋﾞﾙ） TEL03-3452-1081 FAX03-3452-1125
大阪支店／〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場4-11-28
（Daiwa南船場ﾋﾞﾙ） TEL06-4963-6911 FAX06-4963-6916
名古屋支店／〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南1-11-5
（ｴｽﾃｰﾄ名古屋ﾋﾞﾙ） TEL052-581-0666 FAX052-541-2530
福岡支店／〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東1-16-8
（ITﾋﾞﾙ） TEL092-411-2008 FAX092-411-2024
四国支店／〒760-0022 香川県高松市西内町4-6（神原ﾋﾞﾙ）
TEL087-897-2984 FAX087-897-2986



NSエアーシューターASN
緊急物品の高速・安全搬送



NSエアーキューブtype-E
低コストを実現した
高速三次元搬送

変える未来を！空気のちから

豊かな社会を実現する村田機械グループ

株式会社 日本シューター

■東京本社■〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台2-9　TEL03-3518-8600

■大阪支店■〒550-0011
大阪市西区阿波座2-2-18　TEL06-6532-4680

技術研究所（仙台）・仙台・名古屋・九州
http://www.nippon-shooter.co.jp

過去から未来へ

創業以来九十年
積み重ねた技術を礎にパイル、ヒューム管、プレキャスト製品のご提供を通じ
皆様の暮らしを守ってまいります。

NIPPON HUME
日本ヒューム株式会社
http://www.nipponhume.co.jp

本　社　〒105-0004 東京都港区新橋5-33-11　TEL:(03)3433-4111㈹
支　社　札幌(011)231-8141　東京(03)3433-4121　名古屋(052)253-9061
大阪(06)6479-2020　福岡(092)283-5155
営業所　旭川・苫小牧・函館・東北・千葉・北関東・府中・川崎・横浜
金沢・岐阜・三重・岡山・広島・高松・北九州・熊本

新しい図書館づくりのトータルプランをお届けします。



空間　広々とした　ゆっくりとくつろいだ　そしてふれあい



情報　豊富な　多様な　そして価値ある

よりよい保管システムを提供する
日本ファイリング

本社／〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2（新御茶ノ水アーバンヒル）　TEL (03)5294-3011
URL　http://www.nipponfiling.co.jp



JIS 適合商品（JIS R 3202）

美しさ、ありのままに。

オプティホワイトは鉄分の含有量を少なくすることで、
フロート板ガラスにみられる青みをおさえた高透過ガラスです。
内部空間と外部空間の視覚的な一体感をはかる建築物、
透明効果とあわせて構造体を露出させる建築物、
ショーウインドウや展示ケースなどへの用途にも美しく調和します。
オプティホワイトによってデザインの自由度が広がります。

高透過ガラス オプティホワイト。
OPTIWHITE™　日本板硝子株式会社
http://glass-wonderland.jp

「すこやかな成長に願いを込めて。そこは木のぬくもり漂う学びやです。」
そこに広がるのは自然のもつやさしさとぬくもり。木の優れた性質を最大限に生かしたスピンドルの木製学校間仕切。
天然木ならではの風合いが子供たちをあたたかく包みこむ、明るく豊かな学習環境を生みだします。

木製学校間仕切　SPW「大開口」



快適社会の軸になろう
NihonSpindle
日本スピンドル製造㈱　建材事業部

開口高さいっぱいの扉を左右に引分けるだけで簡単に教室がフルオープン。反り、曲がりの起こりにくい厳選された集成材を使用することによって扉は最大H寸法3000mmまで対応可能です。
東京 TEL03-5246-5615　関西 TEL06-6499-5830　中部 TEL052-957-7383
http://www.spindle.co.jp/　E-mail：info@spindle.co.jp

1,284 件　1,454,606RT.h の実績　平成 26 年 9 月末現在

アイスチラー氷蓄熱システム

B.A.C.®

日本BAC株式会社
本　　社／東京都世田谷区新町 2-27-4　☎(03) 5450-6161
大阪営業所／大阪市北区南森町 1-4-5　☎(06) 6315-6310
広島営業所／広島市中区上八丁堀 8-20　☎(082) 223-8998
九州営業所／福岡市博多区冷泉町 5-35　☎(092) 262-7691

ASLOC　　技能工不足に取り組むノザワの工法です。

「LS(Labor Saving)工法」
（レイバー　セイビング）
在来工法に比べて30%の省力効果



新発売

《主な特長》
■ 現場省力化による工期短縮
■ 工場プレ加工も対応
■ 現場作業環境改善（粉塵無し）
■ 優れた耐震性能・優れた水密性能
■ 意匠登録第1492070号

やすらぎと安心の創造

関西支店　不燃建材のリーダー　株式会社ノザワ

〒650-0035　神戸市中央区浪花町15番地
TEL078-391-1651
http://www.nozawa-kobe.co.jp

Panasonic

建物設備のトータル提案で、
ひと、建築空間、街の未来を創造します。

あしたの満足を、つくります。
SATISFIND

パナソニックESエンジニアリング株式会社　近畿支店
〒540-0001 大阪府大阪市中央区城見 2-1-61 OBP パナソニックタワー 9F　TEL(06)6910-0133

人と自然が調和する
豊かな環境づくりに
貢献する。

株式会社ピーエス三菱
P.S.Mitsubishi Construction Co.,Ltd.

URL:http://www.psmic.co.jp/
E-mail:webmaster@psmic.cp.jp

●PCaPC工法
●耐震補強工事（PCaPC外フレーム工法）
●ﾌﾟﾚｽﾄﾚｽﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄ工事の請負ならびに企画、設計、施工監理
●ﾌﾟﾚｽﾄﾚｽﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄ製品の設計、製造及び販売
●土木一式工事、建築一式工事の請負ならびに企画、設計、施工監理

本　　社　〒104-8215　東京都中央区晴海2-5-24　晴海ｾﾝﾀｰﾋﾞﾙ
TEL(03)6385-9111　FAX(03)3536-6927
大阪支店　〒530-6027　大阪市北区天満橋1-8-30　OAPﾀﾜｰ
TEL(06)6881-1170　FAX(06)6881-1176

フリーアクセスフロア・露出型固定柱脚工法のパイオニア　日立機材



ｳｯﾄﾞｺｱｽﾁｰﾙﾌﾛｱ　WSB500N



露出型固定柱脚工法
ﾊｲﾍﾞｰｽNEO工法



鉄骨ばり貫通孔補強工法
ﾊｲﾘﾝｸﾞⅡ工法

日立機材株式会社
（本社）内装営業部　TEL(03)3615－5431　FAX(03)3615－5408
（本社）構造営業部　TEL(03)3615－5432　FAX(03)3615－6081

本社 〒135-8363　東京都江東区東陽二丁目4番2号(新宮ﾋﾞﾙ)
http://www.hitachi-kizai.co.jp/
（関西支店）内装営業　TEL(06)6395－2154　FAX(06)6395－2102
（関西支店）構造営業　TEL(06)6395－2133　FAX(06)6395－2102

プラスッド PLUSWOOD デッキシリーズ



自然・安全・高機能

デッキ表面にビスやボルトが出ない安全設計に加え、火災時の安全性に配慮した自消性やコイン等の小さな物が目地から下に落ちない落下防止構造など、美しさと安全性を追求した人工木材屋外デッキです。保育園や学校、公共エリア、商業施設等に最適です。

人にやさしい安全構造 コイン落下防止 / 自己消火性 / メンテナンスフリー

販売・お問合わせは
リフォジュール株式会社
TEL.03-6890-0090
http://www.refojoule.co.jp

製造元
フクビ化学工業株式会社
http://www.fukuvi.co.jp

未来へ―安心を創る



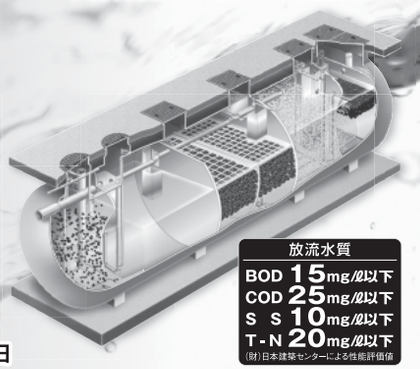
株式会社
藤木工務店

大阪本店	〒541-0051　大阪市中央区備後町1-7-10　TEL 06-4964-8701　http://www.fujiki.co.jp
本社・支店	大阪・東京・倉敷・四国・京都
営業所	横浜・埼玉・多摩・相模大野・静岡・名古屋・神戸・岡山・広島・徳島・愛媛・福岡

施工性の向上・メンテナンスの簡素化・環境に配慮した処理性能。三位一体でパワーアップ。

フジクリーンプラント
PCN型
嫌気ろ床担体流動循環ろ過方式

51人～180人槽　計画汚水量：2.55～36㎥/日



放流水質
BOD 15mg/ℓ以下
COD 25mg/ℓ以下
S S 10mg/ℓ以下
T-N 20mg/ℓ以下
(財)日本建築センターによる性能評価値

- レイアウトフリー設計
- 配管・動力機器を減らしたシンプル設備
- 清掃頻度は6カ月に1回以上
  点検頻度は3か月に1回以上

産業廃水処理ユニット、浄化槽用ブロワを取り揃えております。
お近くの弊社製品販売店及び営業所までお問い合わせください。

美しい水を守る
フジクリーン工業株式会社
本社営業部／名古屋市千種区今池四丁目1番4号 〒464-8613 ☎(052)733-0326
東京支店／☎(03)3288-4511　大阪支店／☎(06)6396-6166
支店・営業所／全国32ヶ所　http://www.fujiclean.co.jp/

ふる 旧き物を あたら 可惜しく

FUJITA

建築塗装工事・防水工事
株式会社 ふじた

〒841-0017　佐賀県鳥栖市田代大官町 395
TEL（094）82-3866(代)・FAX（0942）82-6464
http://www.fujita-tosou.jp/・E-mail:info@ fujita-tosou.jp

GOOD DESIGN AWARD 2014



冷温蔵配膳車

fujimak

つかう人に、環境・空間にもやさしく適応する
厨房設備機器を提供しています。

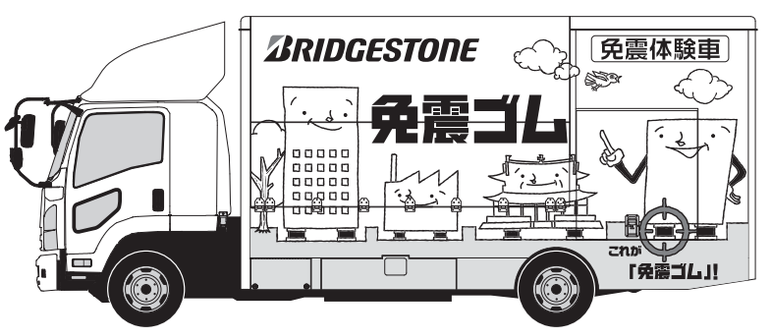
業務用厨房機器総合メーカー 株式会社フジマック
本社：東京都港区新橋 5-14-5 〒105-0004 ☎03-3434-7791　www.fujimak.co.jp/

シビアな徹底施工が建築物をがっちり守る
総合防水工事業

フタバ興業株式会社

本　　社　〒564-0044　大阪府吹田市南金田1丁目10番18号
TEL.06 (6385) 2781㈹　FAX.06 (6385) 2794

免震ゴムなら
ブリヂストン



免震ゴム
ブリヂストン化工品西日本株式会社
〒550-0013 大阪市西区新町2丁目4番2号（なにわ筋SIAビル）
TEL：06-6534-8700（代表）
URL：http://www.bridgestone-dpw.co.jp/

止水ドア
アクアード 片開きスチールタイプ



スチールドアのように軽い開閉でありながら、
水深3mまで対応可能な高い止水性能。
重く高価な水密ドアに比べ、
操作性・コストパフォーマンスに優れた
ハイスペックな止水ドア。
それが"アクアード"です。



文化シヤッター 株式会社　関西支店 営業開発部
大阪市中央区安土町1－7－20 新トヤマビル7F
TEL　06-6264-0618　FAX　06-6264-1818

BX 文化シヤッター

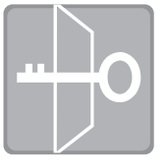
人々が安全に安心して過ごせる建物設備のパートナーとして


火災報知
システム


消　火
システム


トンネル防災
システム


情報通信
システム


出入管理
システム

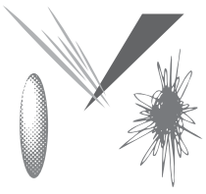

メンテナンス
&
リニューアル

ホーチキ株式会社　http://www.hochiki.co.jp

未来から信頼される建設会社へ。



前田建設
http://www.maeda.co.jp



認証取得
ＩＳＯ9001
ＩＳＯ14001

企業理念　常在　お客様貢献

松尾建設株式会社

代表取締役社長　松尾 哲吾

本　店　〒840-8666 佐賀市八幡小路1番10号 ＴＥＬ(0952)24-1181
本　社　〒810-8506 福岡市中央区薬院三丁目4番9号 ＴＥＬ(092)525-0111
東京本社　〒166-0003 杉並区高円寺南二丁目16番13号 ＴＥＬ(03)5378-2271
支　店　東京・名古屋・大阪・広島・山口・北九州・福岡・佐賀・長崎
熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄
ＵＲＬ　http://www.matsuo.gr.jp

新しい時代の基礎づくりのパートナー、～「縁の下の力持ち」として～

場所打コンクリート杭各種
2．2倍拡底杭（OMR/B）工法



五 丸五基礎工業株式会社
MARUGO FOUNDATION CORP.

■本社
〒541-0053　大阪市中央区本町1丁目8番12号（オーク堺筋本町ビル7階）
TEL：06-6264-0501㈹　FAX：06-6264-0535
URL：http://www.marugokiso.co.jp/　E-mail：home@marugokiso.co.jp

■支店・営業所・工作所
東京・名古屋・広島・福岡・沖縄(営)・高松(事)・仙台(事)・小野機材センター・茨城(工)

豊かな技術で未来を創造する

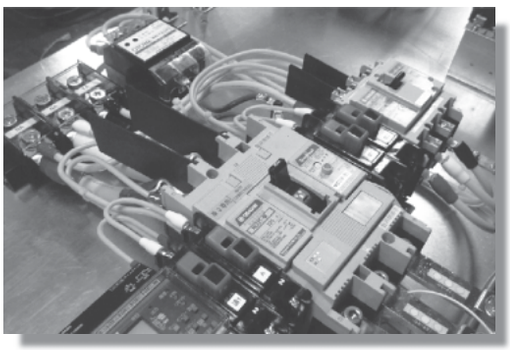
●パイル製品（Fc強度105N、123N）
Hi-SC、SC、DAM、SL、PHC、MS-ST、TPジョイント（無溶接杭）摩擦杭（BF）
●特認工法
Hybridニーディング工法（新高支持力工法 α=336～880）、
Hybridニーディング Ⅱ工法（新高支持力工法 α=350）、
SUPER DANK工法（新高支持力中掘工法 α=425）、
ニーディング、NEWニーディング、STニーディング工法、
DANK、STJ工法（中掘拡大根固め工法）、
BFK工法（異形摩擦杭認定工法）

Hybrid ニーディング 工法／施工

三谷セキサン株式会社

大阪支店　〒540-0031 大阪市中央区北浜東1-22（北浜東野村ビル5F）
☎大阪（06）6920-6611　FAX（06）6920-6622
福井本社　〒910-8571 福井県福井市豊島1丁目3-1（三谷ビル）
☎福井（0776）20-3333　FAX（0776）20-3306

事業所：東京（千葉、埼玉、横浜、茨城）・北陸（福井、金沢、富山、新潟）
札幌・仙台・名古屋（静岡）・大阪（京都）・広島（岡山）
高松（松山）・福岡（佐賀、熊本、鹿児島）
http://www.m-sekisan.co.jp/



礎→INNOVATION

日本配電制御システム工業会
優良工場認定

人が集う、暮らしを支える、物が創られる―。
現代社会のさまざまな場所の礎となるのが、配電制御システムです。
快適な暮らしが拡がり、産業が発展していく時代の進化に応え、
この礎を、あすへとINNOVATION（技術革新）すること。
それが、私たち三葉電機工業株式会社の仕事です。

MITSUBA
三葉電機工業株式会社
〒812-0892　福岡市博多区東那珂1-15-71
TEL.092-411-6161　FAX.092-411-6754
URL：http://www.mitsuba-net.co.jp/

MITSUBISHI ELECTRIC
Changes for the Better

その上の
三菱へ。



業界No.1※の高APFなど、すべてに
最高峰を目指したプレミアム・ビル空調。

家庭から宇宙まで、エコチェンジ。 eco Changes

グランマルチ

1 業界トップ※の高APF
2 外気温50℃までワイドに冷房運転可能
3 業界トップクラス※の低騒音

※2014年10月現在（当社調べ）。ビル用マルチエアコンにおいて。

あしたを、
暮らしやすく。
SMART QUALITY

〈お問い合わせはこちらへ〉 三菱電機住環境システムズ株式会社 関西支社　〒564-0063 大阪府吹田市江坂町２丁目７番８号　TEL:06-6310-5081

三菱電機株式会社

MIDORI PC
翠興産株式会社

PC工事 設計 施工

代表取締役社長　古　賀　義　明

本社工場　〒848-0121 伊万里市黒川町塩屋5番地33　TEL0955-27-1881㈹　FAX0955-27-1876
本社分室　〒840-8666 佐賀市八幡小路1番10号　TEL0952-40-0200㈹　FAX0952-40-0469
関西営業所　〒651-0083 神戸市中央区浜辺通4-1-23 三宮ベンチャービル903　TEL078-414-7888　FAX078-414-7011

Think Next Security

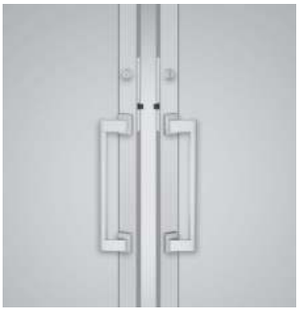
MIWA

日本の安心を守りたい。

新製品

プッシュプル型電気錠:APPT

錠ケースに内蔵されたスイッチで、通電時施錠・通電時解錠・アンチパニック機能の切替が行える電気錠です。



美和ロック株式会社　大阪支店　〒540-0037　大阪市中央区内平野町１－４－５
TEL:06-6733-3069　http://www.miwa-lock.co.jp/

yamagiwa

株式会社YAMAGIWA　関西支店　〒541-0053　大阪市中央区本町4-1-7　第二有楽ビル9階　TEL.06-7638-0080　www.yamagiwa.co.jp

ビル用アルミサッシ・カーテンウォール
ユニットバス、キッチン、洗面
トイレ設備商品

LIXIL
Link to Good Living

株式会社 LIXIL　ビル統括部 市場開発部
〒160-6111
東京都新宿区西新宿 8-17-1
住友不動産新宿グランドタワー 11F
TEL: 03-4332-6003
FAX: 03-4332-6041

ビル統括部 市場開発部 関西チーム
〒545-6031
大阪市阿倍野区阿倍野筋 1-1-43
あべのハルカス
TEL: 06-6733-0459
FAX: 06-6733-0474



ゲリラ豪雨や台風などによる浸水被害が起きる前に！
家屋・店舗・車庫等へ簡単に設置できる
簡易脱着タイプ防水板
アピアガード
オクダケ

速い！ パネルをオクダケだからいざという時安心
簡単！ 工具不要で誰でも簡単に設置が可能
軽い！ 三分割構造のアルミ製防水パネルだから薄くて軽量
コンパクト！ 専用バッグにコンパクト収納持ち運びも楽々

LIXIL
SUZUKI

安心と安全をお届けする
株式会社 LIXIL鈴木シャッター
関西統括支店　〒535-0022　大阪府大阪市旭区新森1-7-47

■ アピアガードに関するお問い合わせは…
TEL.06-6956-6225

LIXIL鈴木シャッター インターネットホームページ
http://www.lixil-suzuki.co.jp/

RYOBI
シンプルに 美しい調和へ


DOOR CLOSER


PIVOT HINGE

スペース・コンシャス —— 空間を意識する
進化しつづける建築空間を意識し、その中に美しく調和する
GEOPRO(ジオプロ)は、そうした視点から生まれました
高機能で高品質、そしてシンプルなデザイン
GEOPRO(ジオプロは、先進の空間に美しく調和します

DOOR CLOSER / PIVOT HINGE
GEOPRO
ジオプロ

リョービ株式会社　東京支社　〒114-8518　東京都北区豊島5-2-8　TEL:03-3927-5533
http://www.ryobi-group.co.jp

株式会社安井建築設計事務所様の創立90周年にあたり、謹んでお祝いを申し上げます。

お部屋の気になる臭いを吸着・分解する半永久サイクル消臭壁紙
空気を洗う壁紙®
そこに空気さえあれば、悪臭原因物質を吸着・分解し、
半永久的に消臭し続ける、空気洗浄壁紙です。

短時間での消臭実演が可能！
確かな消臭効果をご理解いただくために、短時間で消臭実験をいたします。
本物の消臭壁紙の機能をご体感ください。

たくさんの採用実績！
発売以来、全国各地数多くご採用いただいています。信頼の消臭性能は多くの実績で証明されています。是非ルノンホームページでご覧ください。
空気を洗う壁紙　採用実績　検索

ルノン株式会社　近畿中日本営業部　http://www.runon.co.jp
〒580-0006　大阪府松原市大堀1-5-8　TEL.072-330-2670　FAX.072-330-2671

私たちルノン株式会社は、NPO法人J.POSHのオフィシャルサポーターとして、日本乳がんピンクリボン運動を支援しています。
J.POSH 日本乳がんピンクリボン運動®

ROYAL FURNITURE COLLECTION
株式会社
ロイヤル ファニチャー コレクション
東京本社：〒105-0003　東京都港区西新橋1-21-4　若松ビル201
TEL：03-3593-3801　HP：www.royal-furniture.co.jp
FAX：03-3593-3802　e-mail：info@royal-furniture.co.jp
大阪事務所：大阪市北区中之島5-3-92-603
TEL：06-6225-0700


※写真はイメージです。
抗ウイルス性ビニル床シート
ロンプロテクト　業界初!!

室内全体を清潔空間に！　特許出願中
ウイルス・細菌をシャットアウト!
POINT 1 抗ウイルス・抗菌性能
すぐれた抗ウイルス効果。24時間後に98%の効果を確認。
POINT 2 ノーワックスメンテ
ワックスなしでもキレイが長持ち。清掃しやすく清潔な床シート。
POINT 3 TVOC
シックハウスなどの原因となるVOCを大幅削減。

ロンシール工業株式会社　マーケティング部
〒130-8570 東京都墨田区緑4-15-3　FAX.03-5600-1807
お問合せ　0120-941-607　http://www.lonseal.co.jp/



ご協賛いただきありがとうございました

日本建築協会 月間の動き 平成26年10月分

理事会

第５回常任理事会

10月22日（水） 16：00～18：00
日本建築協会会議室
出席者　香西会長ほか６名
議　事（１）26年度上半期収支予算執行状況
（２）11月の通常理事会、支部長会議
（３）創立100周記念事業の方向性
（４）その他

編集委員会

第７回編集・広告企画合同委員会

10月６日（月） 17：30～20：15
日本建築協会会議室
出席者　米井委員長ほか７名
議　事（１）11月号特集　でっかいものはすごいぞ
（２）12月号特集　安井建築設計事務所創立90周年
（３）１月号特集　フォーオールの時代に向けて
（４）２月号特集　プログラムが建築をつくる
（５）３月号特集　東海特集
（６）４月号特集　私の空間作法
（７）広告依頼先検討
（８）その他

第７回構造分科会

10月３日（金） 18：00～18：55
日本建築協会会議室
出席者　岸本幹事ほか３名
議　事（１）構造の頁の企画
（２）11月号特集の企画

第５回設備分科会

10月１日（水） 18：10～20：15
日本建築協会会議室
出席者　橋本幹事ほか８名
議　事（１）設備の頁の企画
（２）見学会の企画
（３）2015年の特集の企画

第４回施工材料分科会

10月21日（火） 17：30～18：00
日本建築協会会議室
出席者　桜井委員ほか３名
議　事（１）今後のスケジュールについて

事業委員会

第７回U-35小委員会

10月17日（金） 19：00～23：00
佐藤総合計画会議室
出席者　下田リーダーほか７名
議　事（１）3rd actionへ向けて
（２）その他

出版委員会

第６回出版委員会

10月16日（木） 18：00～19：10
日本建築協会会議室
出席者　西委員長ほか４名
議　事（１）進行中のテーマについて
（２）新テーマについて

教育委員会

第１回工高生教育小委員会

10月８日（水） 18：00～20：00
日本建築協会会議室
出席者　谷口副委員長ほか４名
議　事（１）第60回工高生デザインコンクール応募作品の予備審査
（２）審査会、表彰式の役割分担

第60回工高生デザインコンクール審査会

10月18日（土） 13：30～17：00
OMMビルギャラリー
出席者　審査員　上原徹審査員長ほか９名、工高生教育委員　谷口副委員長ほか４名
設計課題：「私の家」
審査結果／応募学校数24校
応募点数143点
最優秀賞１点、優秀賞２点、入選７点

第６回大阪府住まいづくり教育普及協議会

10月24日（金） 10：30～12：00
大阪府建築会館会議室
議　題（１）今後の出前講座実施について
（２）その他

100周年関連事業委員会

第64回群像（インタビュー）

10月24日（金） 15：00～17：30
出席者　駒井委員ほか１名
インタビュー　SPACESPACE
香川貴範

100周年記念事業準備委員会

第２回打合せ

10月15日（水） 18：00～19：30
日本建築協会会議室
出席者　設楽委員長ほか３名
議　事　100周年記念事業の方向性について

編集委員会（平成26年度）

■副会長
設楽　貞樹
本多　友常
■編集担当理事
西　博康
押味　至一
佐藤　榮一
杉本　浩
竹中　統一
松本　眞一
吉村　英祐
◎米井　寛
■副委員長
○勝山　太郎
■特集小委員会
■計画分科会
★計画系
飯田　匡
鈴木　克彦
△田中　直人
紅谷　昇平
松田奈緒子
三宅　次郎
守井　辰
吉村　英祐
★建築計画系
荒木　宏之
大西　広朗
神戸　嘉也
静　茂夫
下坂　浩和
野田　隆史
橋本　祐典
三谷　帯介
矢野　展寛
米山　剛史
△渡部　剛
★ｲﾝﾃﾘｱ･住宅
今井　充彦
川合　隆之
△黒栁　亮
酒井　雅男
塚口眞佐子
ペリー史子
間渕　一博
森岡　拓也
■構造分科会
伊藤　栄治
岡田　健
△岸本　光平
司馬　勢也
瀧野　敦夫
角田　耕一
橋本　宗明
松村　健
宮久保秀樹
向井　洋一
■設備分科会
赤澤　正治
北野　勝也
欅田　輝生
寺井　千佳
長澤　康弘
夏井　重行
野崎　正二
△橋本　直樹
桝井　貴廣
宮﨑ひろ志
村上幸三郎
山本　雅洋
■施工材料分科会
荻巣　友貴
後藤　尉彦
桜井　和男
髙橋　秀一
△中野　敬史
藤丸　啓一
吉田　正友
■法令分科会
井上　久明
△岡本　亮二
河野　学
田中　幸夫
前田　俊文
吉岡　忠
■作品作風小委員会
居内　章夫
池上　明
稲垣　和江
東井　嘉信
加嶋　章博
菊池　浩輔
倉橋　尉仁
倉渕奈千子
澤田　純一
鞆野　淳司
豊田　充広
鳥居　久人
▲西田　佳代
芳谷　晴彦
増田　敬彦
■広告企画小委員会
大谷　金由
小川　雄介
小山　昭
権代　晃
藤田　昌宏
▲前田　衛
山辻　直樹

◎委員長　○副委員長
▲小委員会委員長　△幹事
（順不同）

印　刷　２０１４年11月27日
発　行　２０１４年12月１日
発行人　一般社団法人日本建築協会
大阪市中央区大手前1-7-31
電　話　06-6946-6981
印刷所　㈱中島弘文堂印刷所
定　価　1230円（税込）

©「建築と社会」誌の記事の無断転載を禁じます。

（一社）日本建築協会から

ご入会のおさそい

建築に関連する各種の活動を行っている日本建築協会に、ご入会になりませんか！

会員は、建築関係の幅広い分野（設計事務所、ゼネコン、官公庁、教育・研究機関、メーカーなど）から個人や団体が参加し、活動しております。21世紀の建築界発展のために、またあなた自身が異業種の方々と交流され、社外ネットワーク形成に役立てていただくことも可能です。

※建築に興味をお持ちの方ならどなたでもご入会いただけます（資格は問いません）。

●会員の特典

★ユニークで新鮮な内容を誇る会誌「建築と社会」が毎月配付されます。
★話題の建築物、一般では未公開の施設等の見学会や建築関係の著名な講師の講演会・講習会に会員割引で優先的に参加できます。
★協会所蔵の貴重な図書・資料の閲覧等ができます。
★会誌「建築と社会」に建築作品、研究報告、レポート、ニュース等を投稿できます。
★青年技術者の顕彰に応募できます。
★協会の各種委員会活動に参画し、様々な情報交換・社外交流の場として利用できます。

●入会申し込み方法

当会ホームページ（http://www.aaj.or.jp）の入会申込み画面に記入送信するか、入会申込フォームをプリントアウトし、FAXまたは郵送にて、下記あてお送りください。

〒540-6591
大阪市中央区大手前1-7-31
OMMビル7階
（一社）日本建築協会
Eメールアドレス：soumu@aaj.or.jp
TEL：06-6946-6981　　FAX：06-6946-6984

会員の種別と会費

会員の種別			会　費
正会員	個人正会員	本部および支部地域	年額 14,400円
		上記以外の地域	年額 12,600円
	団体正会員		年額 25,000円／口
学生会員			年額　8,400円

電気工事・空調工事・水道衛生工事・消防施設工事
および機械器具設置工事の設計、監理、施工

ダイダン株式会社

本店・大阪本社　〒550-0002　大阪市西区江戸堀1丁目9番25号　電話 (06) 6441-8231
東京本社　〒102-0071　東京都千代田区富士見2丁目15番10号　電話 (03) 3261-8231
支社　名古屋・福岡
支店　札幌・仙台・新潟・さいたま・横浜・豊田・金沢・京都・神戸・天理・岡山・広島・高松・熊本
営業所　帯広・函館・青森・秋田・盛岡・福島・山形・前橋・宇都宮・土浦・千葉・長野・松本・静岡・刈谷・津・岐阜・富山・福井・和歌山・東近江・山口・松江・松山・高知・徳島・宮若・鳥栖・長崎・大分・宮崎・鹿児島・那覇
海外支店　シンガポール・ホンコン・マニラ（フィリピン）・ペタリンジャヤ（マレーシア）
技術研究所　〒354-0044　埼玉県入間郡三芳町大字北永井390番地　電話 (0492) 58-1511

お客様の抱える問題やニーズに
より速やかに、より丁寧に対応できるために

企画・デザイン、制作、製版、印刷

株式会社 中島弘文堂印刷所

本　社　〒537-0002 大阪市東成区深江南2丁目6番8号
TEL.06-6976-8761／FAX.06-6976-8765
東京事務所　〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町1丁目9番地ニュー御茶ノ水ビル601号
TEL.03-3526-5580／FAX.03-3526-5582
http://www.n-kobundo.co.jp/

地球環境を守り、100年建築に貢献する
NACL のアルミ表面処理
株式会社日本電気化学工業所
http://nacl.jp　E-mail:sc@nacl.co.jp
本部営業部　〒560-0036 大阪府豊中市蛍池西町2丁目7番26号 NACLﾋﾞﾙ2階
TEL (06)6843-1235(代) FAX (06)6853-1632
東京事務所　〒111-0051 東京都台東区蔵前2丁目6-7
TEL (03)3862-0978(代) FAX (03)3862-7098

コンクリートのひび割れ対策に

NETIS 登録済み
KT-040018-V

DENKA
DENKI KAGAKU KOGYO KABUSHIKI KAISHA

高性能膨張材

デンカパワーCSA

JIS A 6202
適合品

特　性

・乾燥収縮の低減
・自己収縮の低減
・水密性の向上(防水性)
・温度ひび割れの低減

主な用途例

・合成デッキスラブ
・土間スラブ
・RC 構造物
・自己充填コンクリート
・マスコンクリート　他

膨張材以外にも
・無収縮グラウト材
（タスコン）
・躯体防水材
（シャガード）
・ポリマーセメントモルタル
（RIS シリーズ）
など、各種混和材（剤）をラインナップしています。

●資料のご請求お問合わせは・・・

電気化学工業株式会社
近畿地区販売店

浜宗産業株式会社　本社
〒629-3101 京都府京丹後市網野町網野 126
TEL 0772-72-2220　FAX 0772-72-2888
舞鶴営業所・福知山営業所・豊岡営業所

小浦産業株式会社
〒550-0004 大阪府大阪市西区靭本町１丁目14番６号
TEL 06-6443-6181　FAX 06-6443-6270

時をつくる　こころで創る

子どもたちが大人になっていくように、
街も健やかに育っていくと、
そこで暮らすみんなに幸せが広がります。

わたしたち大林組は、
親が子どもたちに愛情を注ぐように、
こころを込めて、建物や街をつくっています。

みんなの未来を、夢のある時間で満たすために。



www.obayashi.co.jp

OBAYASHI 大林組

建築と社会　2014.12　Vol.95　No.1113　一般社団法人 日本建築協会　〒540-6591 大阪市中央区大手前 1-7-31　電話:06-6946-6981　FAX:06-6946-6984　http://www.aaj.or.jp　定価1,230円(税込)

雑誌　03379-12